

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">経過時間(時間)</p> </div> <p style="text-align: center;">300分 淡水タンクからの淡水の送水開始</p> <p>※1：大容量送水ポンプ(タイプ1)及びホースの保管場所は緊急エリア、緊急保管エリア、緊急保管エリア及び第4保管エリア、ホース延長回収車及び注水用ヘッジの保管場所は緊急エリア、第3保管エリア及び第4保管エリア          ※2：緊急時対策所から緊急保管エリアまでの移動を想定した移動時間(タイプ1)の移動時間として、第3保管エリアから淡水タンクまでの移動を想定した移動時間(タイプ1)の移動時間を考慮した作業時間を示した作業時間を見込んだ時間          ※3：大容量送水ポンプ(タイプ1)の起動時間を考慮した作業時間を示した作業時間を見込んだ時間          ※4：大容量送水ポンプ(タイプ1)の起動時間を考慮した作業時間を示した作業時間を見込んだ時間          ※5：注水用ヘッジの運用時間を示した作業時間を示した作業時間を見込んだ時間          ※6：注水用ヘッジの運用時間を示した作業時間を示した作業時間を見込んだ時間</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">女川2号炉との比較対象なし</div>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

第1.13-5 図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水タイムチャート

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.3図 A、B 2次系純水タンクからN.2、3次水タンクへの灌給 概略系統</p>	<p>第1.13-6図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 記載方針の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

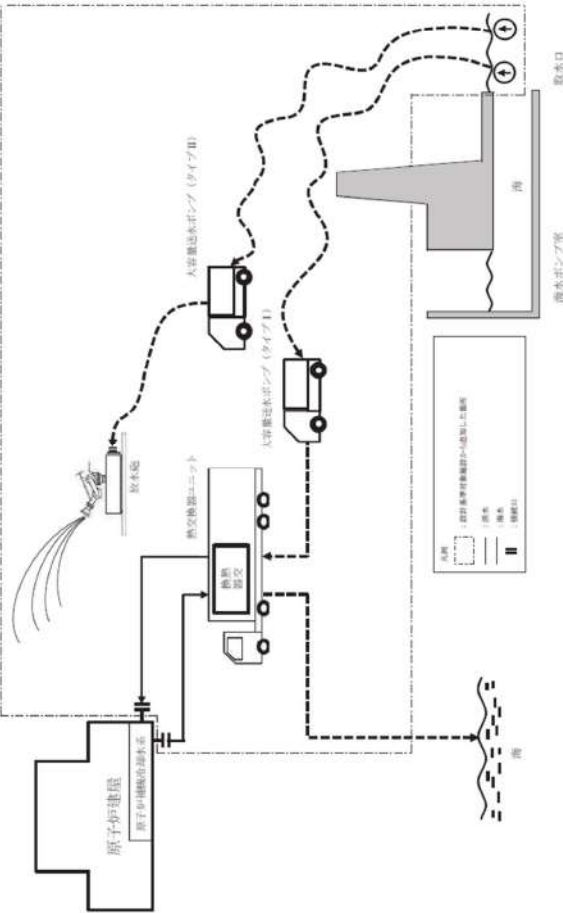
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.13-7 図 海を水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側モード））</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     女川2号炉との比較対象なし                 </div>
	<p>図1.13-8 図 海を水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>		

【女川】  
記載方針の相違  
（相違理由②）

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

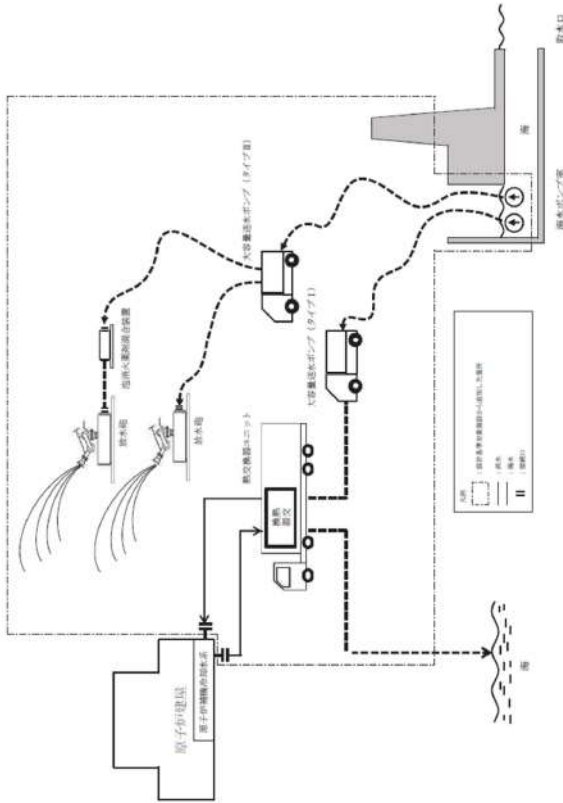
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第 1.13-9 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（1/2） （取水口から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-10図 海を水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種供給）概要図（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1.13-11 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（1/2） （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p> <p>①：大飯発電所3号炉の稼働時、及びホースの設置場所は第14号機室エリア、第15号機室エリア、第16号機室エリア及び第17号機室エリア ②：緊急時対応員A-C ③：重大事故等対応員B-F ④：大飯発電所3号炉の稼働時、及びホースの設置場所は第14号機室エリア、第15号機室エリア、第16号機室エリア及び第17号機室エリア ⑤：緊急時対応員A-C ⑥：重大事故等対応員B-F ⑦：大飯発電所3号炉の稼働時、及びホースの設置場所は第14号機室エリア、第15号機室エリア、第16号機室エリア及び第17号機室エリア ⑧：緊急時対応員A-C ⑨：重大事故等対応員B-F</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図1: 大容量送水ポンプ(タイプ1)及びホースの設置場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア及び第4保管エリア、ホース延長回収車の保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア</p> <p>※1: 緊急時前面から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間に見込まれた時間          ※2: 設計状況を考慮して想定した作業時間に見込まれた時間          ※3: 設計状況を考慮して想定した作業時間に見込まれた時間          ※4: 大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働時間として、第1保管エリアから第2保管エリアまでの移動時間に見込まれた時間          ※5: 大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働時間として、第1保管エリアから第3保管エリアまでの移動時間に見込まれた時間          ※6: 大容量送水ポンプ(タイプ1)の稼働時間として、第1保管エリアから第4保管エリアまでの移動時間に見込まれた時間          ※7: ホースの敷設準備を考慮して想定した作業時間に見込まれた時間          ※8: 熱交換器ユニットの設計を考慮して想定した作業時間に見込まれた時間</p> <p>第1.13-12図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>図11.13.6 図 No. 2 取水タンクから取水ピットへの供給 軽油系統</p> </div> <div style="width: 45%;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要目(注)</th> <th>経過時間(分)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">No. 1, 2 取水タンクから取水ピットへの供給</td> <td>No. 1, 2 取水タンクからの取水</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水ピットへの供給</td> <td>約15分</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">No. 3 取水タンクからの取水</td> <td>No. 3 取水タンクからの取水</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水ピットへの供給</td> <td>約15分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 既述経過時間には対応係員 巡回時間を含む。</p> <p>図11.13.7 図 No. 2 取水タンクから取水ピットへの供給 タイムチャート</p> </div> </div>	手順の項目	要目(注)	経過時間(分)	備考	No. 1, 2 取水タンクから取水ピットへの供給	No. 1, 2 取水タンクからの取水	0		取水ピットへの供給	約15分		No. 3 取水タンクからの取水	No. 3 取水タンクからの取水	0		取水ピットへの供給	約15分			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">             大飯3/4号炉との比較対象なし         </div>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p>
手順の項目	要目(注)	経過時間(分)	備考																		
No. 1, 2 取水タンクから取水ピットへの供給	No. 1, 2 取水タンクからの取水	0																			
	取水ピットへの供給	約15分																			
No. 3 取水タンクからの取水	No. 3 取水タンクからの取水	0																			
	取水ピットへの供給	約15分																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 629 1225" style="border: 2px solid black; height: 550px; width: 233px;"></div> <div data-bbox="645 352 674 911" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="680 448 710 1145" style="margin-top: 10px;">                     第1.13.8図 No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート                 </div>		<div data-bbox="1431 767 1944 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         大飯3/4号炉との比較対象なし                     </div>	<div data-bbox="2018 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                         【大飯】 設備の相違(相違理由③)                     </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13.13図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.2図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1769 359 1993 550"> <caption>凡例</caption> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>フインパワー弁</td></tr> <tr><td></td><td>遮止弁</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型ホース</td></tr> <tr><td></td><td>接続口</td></tr> <tr><td></td><td>設計基準事故対応設備から追加した箇所</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1411 997 1960 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>止圧装置可搬型ポンプ非接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補助給水ピット→燃料取替用水ピット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピットオーバーフローライン高水供給止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>		手動弁		電動弁		フインパワー弁		遮止弁		可搬型ホース		接続口		設計基準事故対応設備から追加した箇所	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	止圧装置可搬型ポンプ非接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	④	補助給水ピット→燃料取替用水ピット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤	燃料取替用水ピットオーバーフローライン高水供給止め弁	全開→全閉	⑥	燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>
	手動弁																																								
	電動弁																																								
	フインパワー弁																																								
	遮止弁																																								
	可搬型ホース																																								
	接続口																																								
	設計基準事故対応設備から追加した箇所																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
①	可搬型ホース	ホース接続																																							
②	可搬型ホース	ホース接続																																							
③	止圧装置可搬型ポンプ非接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																							
④	補助給水ピット→燃料取替用水ピット給水連絡ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																							
⑤	燃料取替用水ピットオーバーフローライン高水供給止め弁	全開→全閉																																							
⑥	燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																							
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																							

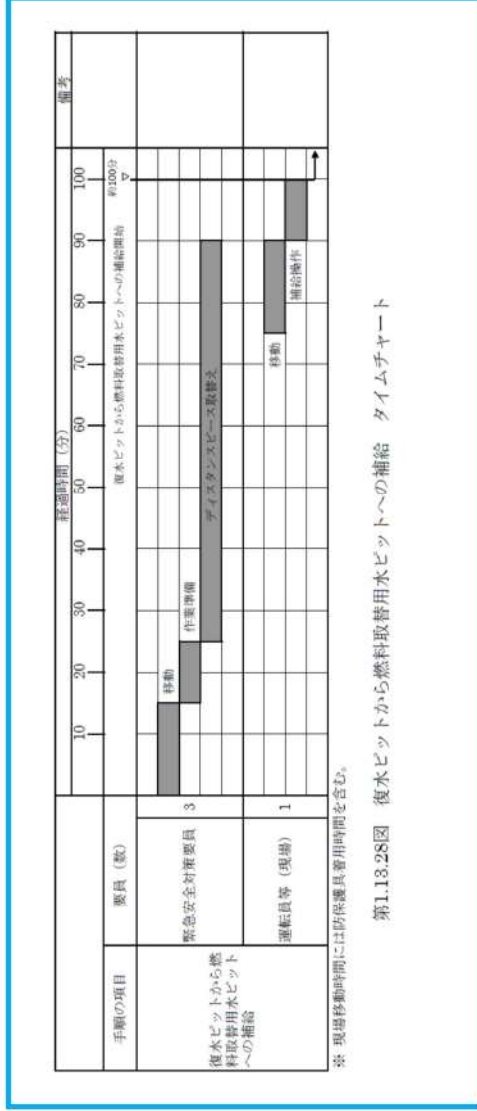


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

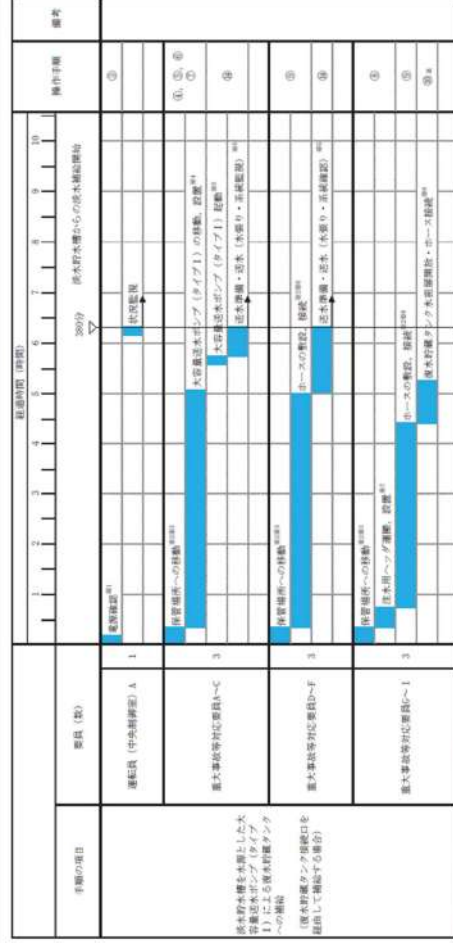
【比較のため、記載順序入替え】



※ 現場移動時間には防護用具着用時間を含む。

第1.13.28図 復水ビッドから燃料取替用水ビッドへの補給 タイムチャート

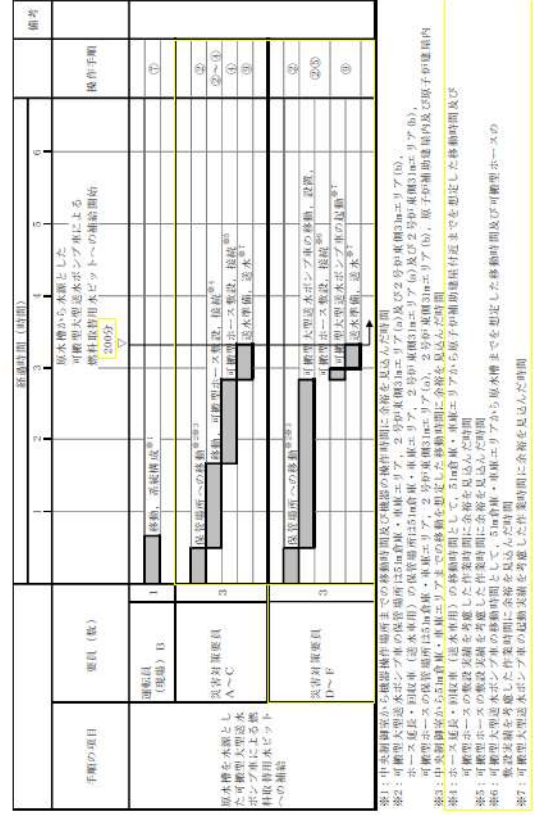
女川原子力発電所2号炉



※1: 中央制御室での作業準備に必要な作業時間  
 ※2: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※3: 緊急安全対策要員3名による作業準備時間  
 ※4: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※5: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※6: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※7: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※8: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※9: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間  
 ※10: 復水タンクから大容量タンクへの補給開始時間

第1.13-14図 復水タンクを水源とした大容量タンクへの補給タイムチャート (1/2)

泊発電所3号炉



※1: 日本原子力研究開発機構の作業時間に見合った時間  
 ※2: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※3: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※4: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※5: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※6: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※7: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※8: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※9: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間  
 ※10: 可搬型大型送水ポンプ車の復水タンクからの補給開始時間

第1.13.3図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビッドへの補給 タイムチャート

相違理由

- 【大飯】  
 設備の相違(相違理由⑥)
- 【大飯】  
 記載方針の相違(女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートに操作手順番号を載づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-15 図 淡水貯蔵タンク接続マンホールを理由として補給する場合</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

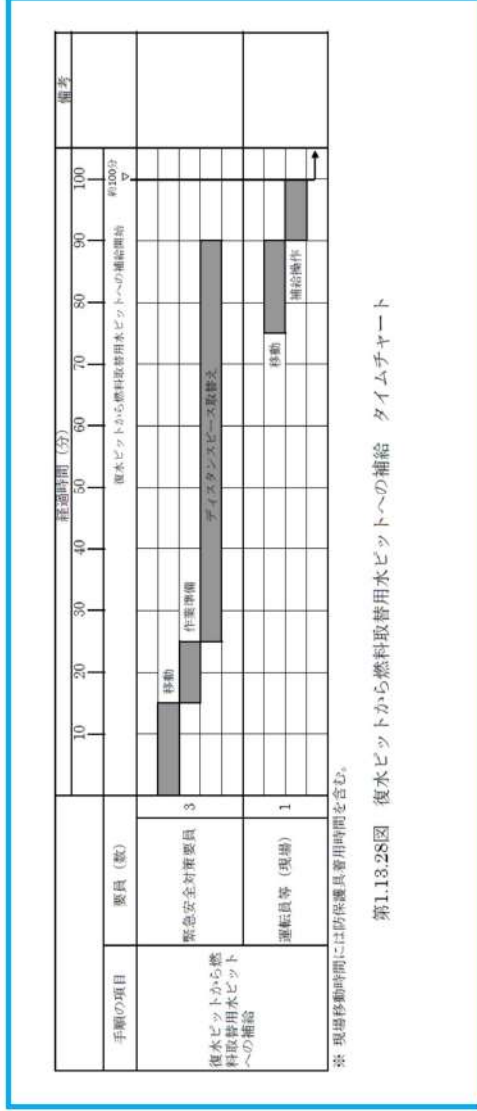
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第1.13.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-16図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p> <table border="1"> <caption>操作手順</caption> <tr> <td>①</td> <td>復水貯蔵タンク内水位の監視</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ろ過水タンク内水位の監視</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>ろ過水タンク内水位の監視</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>ろ過水タンク内水位の監視</td> </tr> </table>	①	復水貯蔵タンク内水位の監視	②	ろ過水タンク内水位の監視	③	ろ過水タンク内水位の監視	④	ろ過水タンク内水位の監視	<p>第1.13.4図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1"> <caption>凡例</caption> <tr> <td>○</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>⊖</td> <td>電動弁</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>ブイパワー弁</td> </tr> <tr> <td>+</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td>+</td> <td>可搬型ポンプ</td> </tr> <tr> <td>+</td> <td>接続口</td> </tr> <tr> <td>+</td> <td>設計基準事故対応施設 備から追加した箇所</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑫</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑬</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑭</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑮</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑯</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑰</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑱</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑲</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>⑳</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉑</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉒</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉓</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉔</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉕</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉖</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉗</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉘</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉙</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉚</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉛</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉜</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉝</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉞</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㉟</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊱</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊲</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊳</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊴</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊵</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊶</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊷</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊸</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊹</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊺</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊻</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊼</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊽</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊾</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>㊿</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑳ 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を其他する機能があることを示す。</p>	○	手動弁	⊖	電動弁	△	ブイパワー弁	+	逆止弁	+	可搬型ポンプ	+	接続口	+	設計基準事故対応施設 備から追加した箇所	操作手順	操作対象機器	設備の変化	①	可搬型ポンプ	ポンプ起動	②	可搬型ポンプ	ポンプ停止	③	可搬型ポンプ	ポンプ停止	④	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑤	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑥	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑦	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑧	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑨	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑩	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑪	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑫	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑬	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑭	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑮	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑯	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑰	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑱	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑲	可搬型ポンプ	ポンプ停止	⑳	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉑	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉒	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉓	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉔	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉕	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉖	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉗	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉘	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉙	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉚	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉛	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉜	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉝	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉞	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㉟	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊱	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊲	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊳	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊴	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊵	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊶	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊷	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊸	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊹	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊺	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊻	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊼	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊽	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊾	可搬型ポンプ	ポンプ停止	㊿	可搬型ポンプ	ポンプ停止	<p>【大飯】                  設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>
①	復水貯蔵タンク内水位の監視																																																																																																																																																																																	
②	ろ過水タンク内水位の監視																																																																																																																																																																																	
③	ろ過水タンク内水位の監視																																																																																																																																																																																	
④	ろ過水タンク内水位の監視																																																																																																																																																																																	
○	手動弁																																																																																																																																																																																	
⊖	電動弁																																																																																																																																																																																	
△	ブイパワー弁																																																																																																																																																																																	
+	逆止弁																																																																																																																																																																																	
+	可搬型ポンプ																																																																																																																																																																																	
+	接続口																																																																																																																																																																																	
+	設計基準事故対応施設 備から追加した箇所																																																																																																																																																																																	
操作手順	操作対象機器	設備の変化																																																																																																																																																																																
①	可搬型ポンプ	ポンプ起動																																																																																																																																																																																
②	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
③	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
④	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑤	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑥	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑦	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑧	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑨	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑩	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑪	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑫	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑬	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑭	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑮	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑯	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑰	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑱	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑲	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
⑳	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉑	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉒	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉓	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉔	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉕	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉖	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉗	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉘	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉙	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉚	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉛	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉜	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉝	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉞	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㉟	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊱	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊲	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊳	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊴	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊵	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊶	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊷	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊸	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊹	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊺	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊻	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊼	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊽	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊾	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																
㊿	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

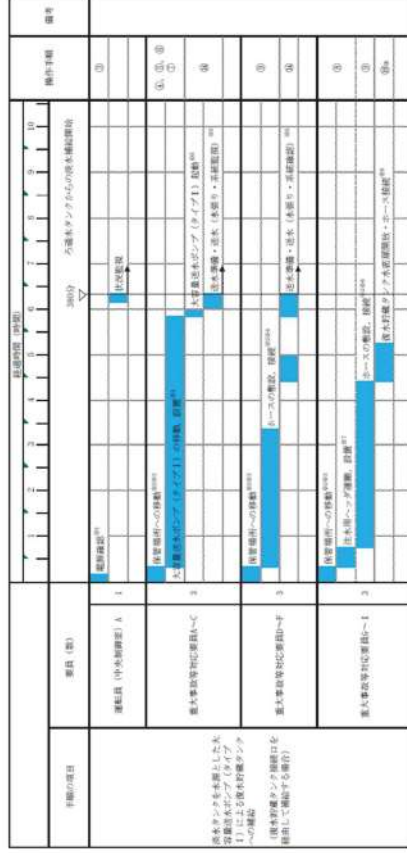
【比較のため、再掲】



第1.13.28図 復水ビレットから燃料取扱替用水ビレットへの補給 タイムチャート

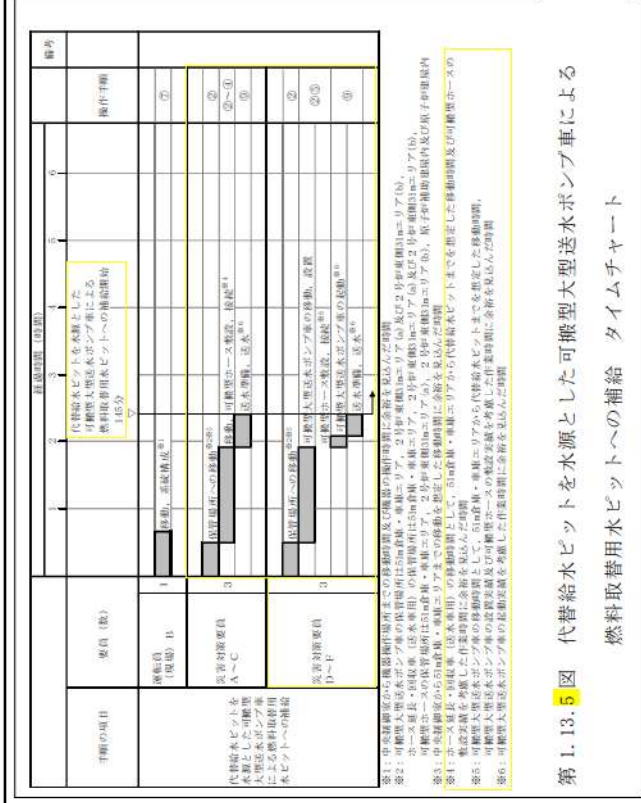
※ 現場移動時間には防護用具着用時間を含む。

女川原子力発電所2号炉



第 1.13-17図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）  
（復水貯蔵タンク接続口を經由して補給する場合）

泊発電所3号炉



第 1.13.5 図 代替給水ビレットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ビレットへの補給 タイムチャート

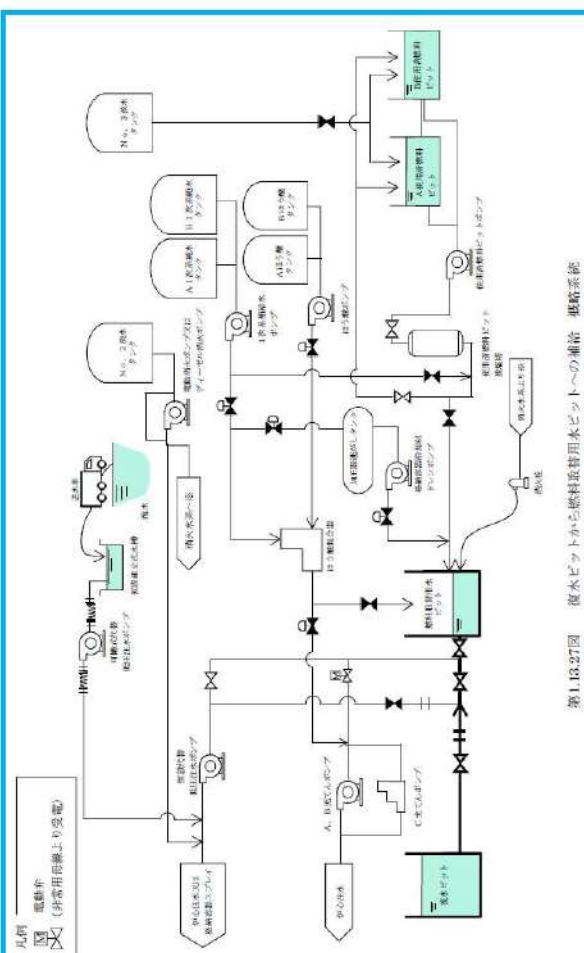
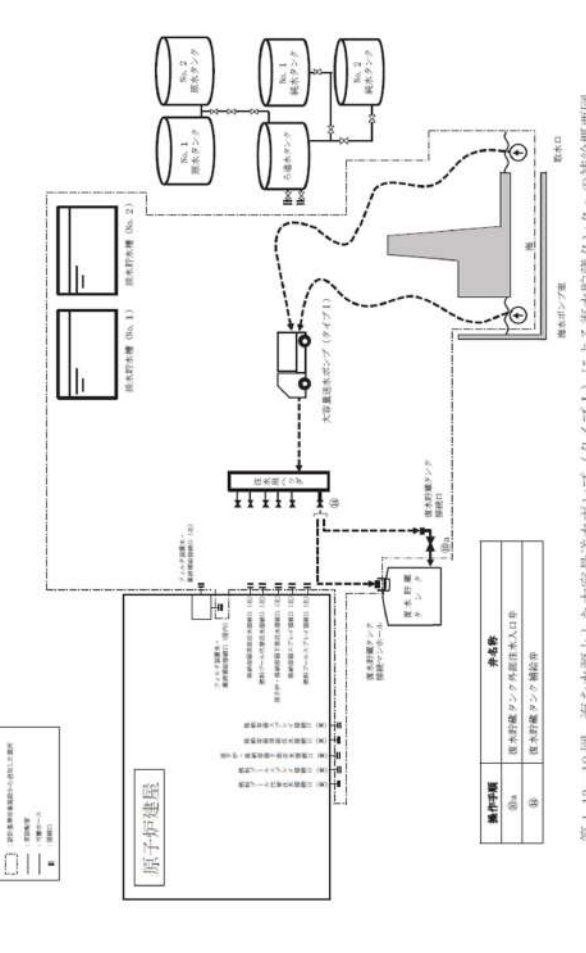
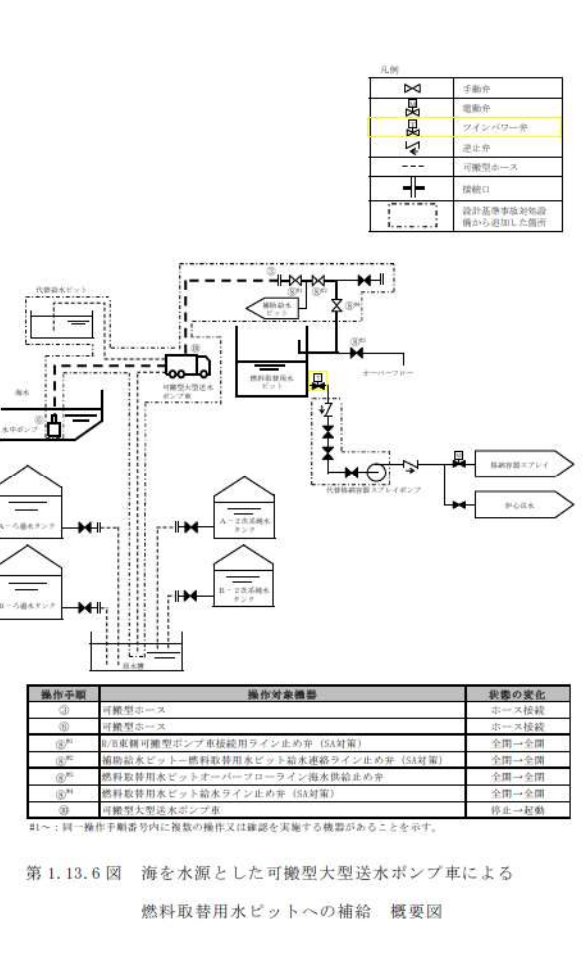
- 【大飯】  
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大飯】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加





灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13-19図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.6図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1005 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>圧力調整可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>補給給水ピット→燃料取替用水ピット給水管路ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料取替用水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	装置の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③	圧力調整可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	補給給水ピット→燃料取替用水ピット給水管路ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	燃料取替用水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開	⑥	燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を結びつけ</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	装置の変化																									
①	可搬型ホース	ホース接続																									
②	可搬型ホース	ホース接続																									
③	圧力調整可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
④	補給給水ピット→燃料取替用水ピット給水管路ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
⑤	燃料取替用水ピットオーバーフローライン海水供給止め弁	全閉→全開																									
⑥	燃料取替用水ピット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																									
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																									

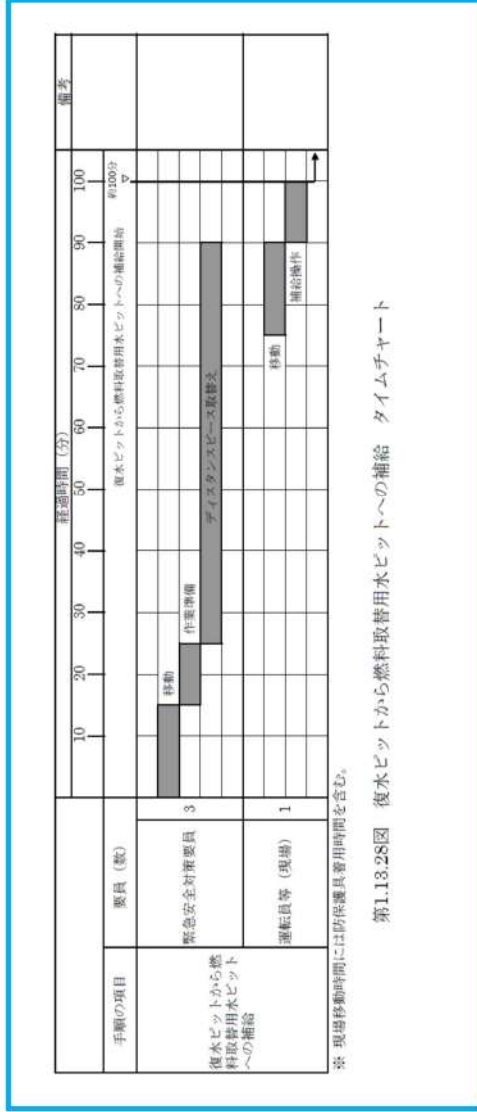


灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

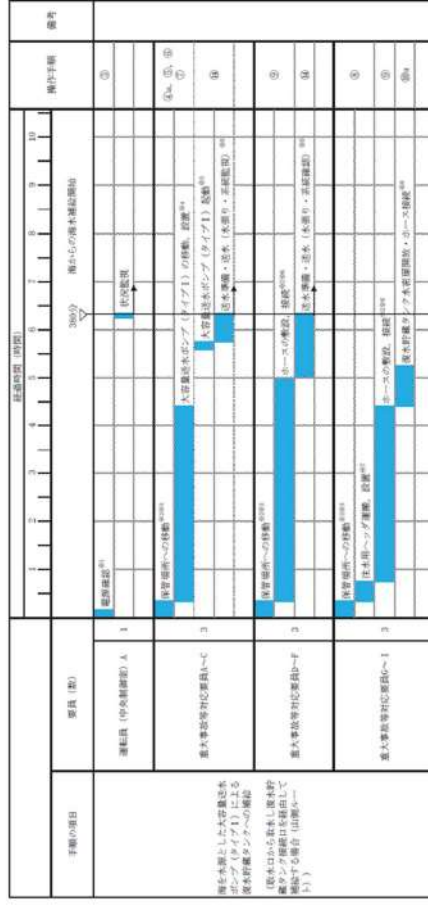
【比較のため、再掲】



第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

※ 現場移動時間には防護用具着用時間を含む。

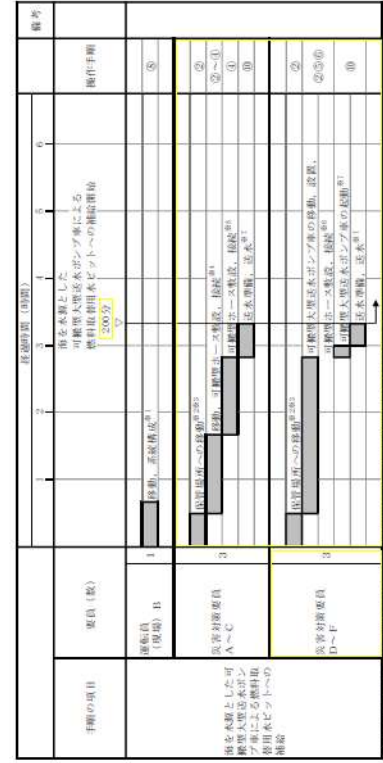
女川原子力発電所2号炉



第1.13-20図 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート(1/4)

(取水口から取水し復水貯蔵タンク接続口を経由して補給する場合(山側ルート))

泊発電所3号炉



第1.13.7図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

※1：中央制御室から燃料取替要員(燃料取替要員)の移動時間(10:00～10:05)は、燃料取替要員(燃料取替要員)の移動時間(10:00～10:05)と一致する。燃料取替要員(燃料取替要員)の移動時間(10:00～10:05)は、燃料取替要員(燃料取替要員)の移動時間(10:00～10:05)と一致する。

相違理由

- 【大飯】  
設備の相違(相違理由⑥)
- 【大飯】  
記載方針の相違(女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

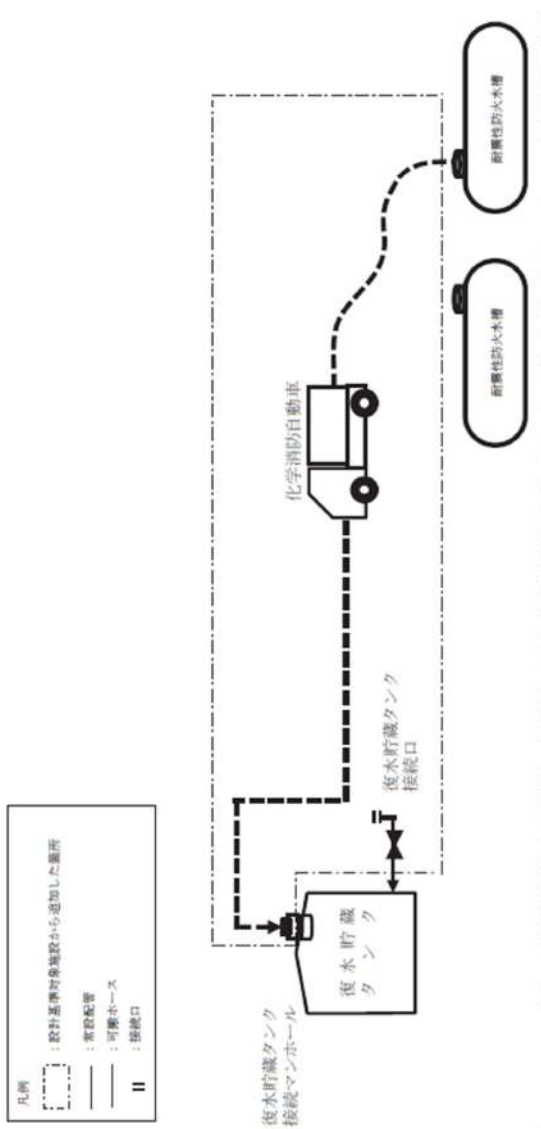
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第13-21図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（注4）                  （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合（山側ルート））</p>	<p>第13-22図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（注4）                  （取水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を経由して補給する場合）</p>	
	<p>第13-23図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（注4）                  （取水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを経由して補給する場合）</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-24図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>手順の項目</p> <p>耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給</p> <p>要員(数)</p> <p>運転員(中央制御室) A 1</p> <p>初期消火要員(消防車隊) A→E 5</p> <p>備考</p> <p>操作手順</p> <p>③</p> <p>④、⑤</p> <p>⑥</p>	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由①）</p>
	<p>55分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <p>55分 復水貯蔵タンクへの補給開始</p> <p>電源確認</p> <p>状況監視</p> <p>化学消防自動車の移動・設置</p> <p>消防車所への移動</p> <p>化学消防自動車の移動・設置</p> <p>コースの敷設・接続</p> <p>化学消防自動車の起動</p> <p>化学消防自動車の起動</p> <p>送水(水圧・流量調整)</p> <p>送水(水圧・流量調整)</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間          ※2：化学消防自動車の保管場所の保管エリア及び第4保管エリア          ※3：化学消防自動車の保管場所から第1保管エリアまでの移動を想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間          ※4：化学消防自動車は警報発生から第1保管エリアまでの移動距離として、第1保管エリアから耐震性防火水槽までを想定した移動時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間          ※5：コース敷設訓練の実績を考慮した作業時間と化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間          ※6：化学消防自動車放水訓練の実績を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>第1.13-25図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.24図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1411 1029 1960 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②</td> <td>消防ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>電動機駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ*</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 ※：どちらか一方を起動する。</p> <p>第1.13.8図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②	消防ホース	ホース接続	⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動		ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化													
②	消防ホース	ホース接続													
⑤	電動機駆動消火ポンプ*	停止→起動													
	ディーゼル駆動消火ポンプ*	停止→起動													



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.25図 N o. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p style="text-align: center;">※ 現場稼働時間には防犯カメラ着用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.9 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又は ディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピット への補給 タイムチャート</p> <p style="text-align: center;">※1：中央制御室から機器稼働場所までの稼働時間及び機器の操作時間に着目した時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムチャート と操作手順番号 を紐づけ</li> <li>・補足の充実</li> <li>・備考欄の追加</li> </ul> <p>【女川】記載内容 の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炉型の相違によ る対応手段の相 違</li> </ul>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p> <p>第1.13.18図 1次系純水タンクから燃料取替用水セットへの補給（加圧器過みしタンク経由） 概略図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1411 949 1937 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>28</sup></td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>29</sup></td> <td>E-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>30</sup></td> <td>A-使用済燃料ピット脱塩器入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>31</sup></td> <td>E-使用済燃料ピット脱塩器入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>32</sup></td> <td>使用済燃料ピット脱塩器浄化水戻り弁</td> <td>調整確認</td> </tr> <tr> <td>②<sup>33</sup></td> <td>A-使用済燃料ピット脱塩器沖洗弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>34</sup></td> <td>E-使用済燃料ピット脱塩器沖洗弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>35</sup></td> <td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>36</sup></td> <td>E-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>脱塩器補給水止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.10図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>28</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>29</sup>	E-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>30</sup>	A-使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開	② <sup>31</sup>	E-使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開	② <sup>32</sup>	使用済燃料ピット脱塩器浄化水戻り弁	調整確認	② <sup>33</sup>	A-使用済燃料ピット脱塩器沖洗弁	全閉→全開	② <sup>34</sup>	E-使用済燃料ピット脱塩器沖洗弁	全閉→全開	② <sup>35</sup>	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開	② <sup>36</sup>	E-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開	③	脱塩器補給水止弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結び</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
② <sup>28</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② <sup>29</sup>	E-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② <sup>30</sup>	A-使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開																																		
② <sup>31</sup>	E-使用済燃料ピット脱塩器入口弁	全閉→全開																																		
② <sup>32</sup>	使用済燃料ピット脱塩器浄化水戻り弁	調整確認																																		
② <sup>33</sup>	A-使用済燃料ピット脱塩器沖洗弁	全閉→全開																																		
② <sup>34</sup>	E-使用済燃料ピット脱塩器沖洗弁	全閉→全開																																		
② <sup>35</sup>	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開																																		
② <sup>36</sup>	E-SFPフィルタ出口燃料取替用水ピット水浄化回りライン切替弁	全閉→全開																																		
③	脱塩器補給水止弁	全閉→全開																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

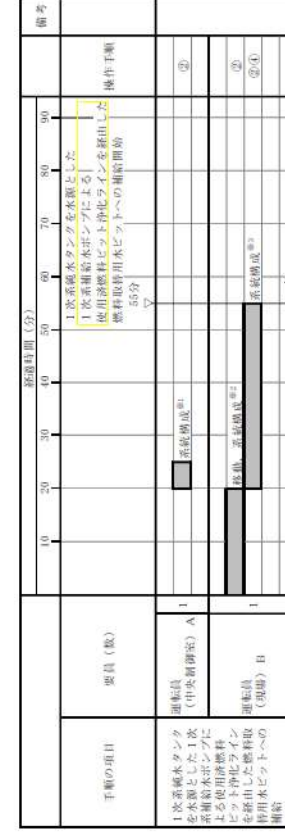
【比較のため、記載順序入替え】



※ 現場移動時間には作業員着脱時間を含む。

第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器速がしタンク経由） タイムチャート

泊3号炉との比較対象なし



※1：機器の操作時間及び着脱時間に見込んだ時間  
※2：中央制御室から機器操作室までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間  
※3：機器の操作時間に見込んだ時間

第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる  
使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピット  
への補給 タイムチャート

- 【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）  
・タイムチャート  
と操作手順番号  
を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加
- 【女川】  
記載内容の相違  
・炉型の相違によ  
る対応手段の相  
違

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第L13.20図 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（使用済燃料ビット駆戻経路含む） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1422 965 1960 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>装置の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>加圧器逃がしタンク補給水タイン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>A-1格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/A内側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-1格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	装置の変化	①	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	②	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	③	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開	④	加圧器逃がしタンク補給水タイン止め弁	全閉→全開	⑤	A-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	⑥	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/A内側隔離弁	全閉→全開	⑦	B-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	装置の変化																									
①	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
②	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
③	加圧器逃がしタンクドレン弁	全閉→全開																									
④	加圧器逃がしタンク補給水タイン止め弁	全閉→全開																									
⑤	A-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									
⑥	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/A内側隔離弁	全閉→全開																									
⑦	B-1格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防護用具着脱時間を含む。</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込まれた時間</p> <p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>



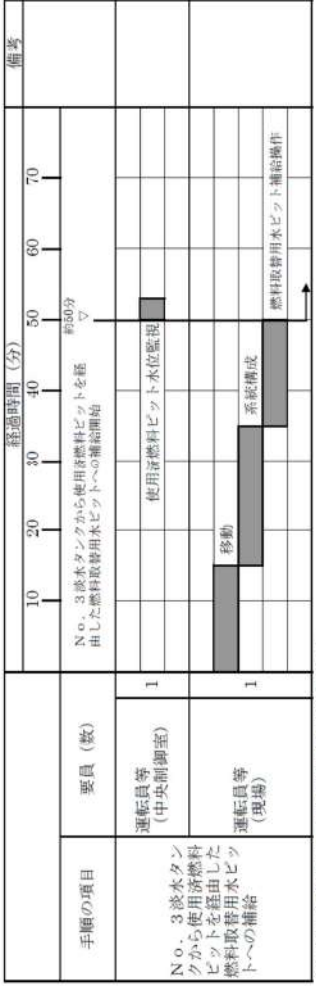
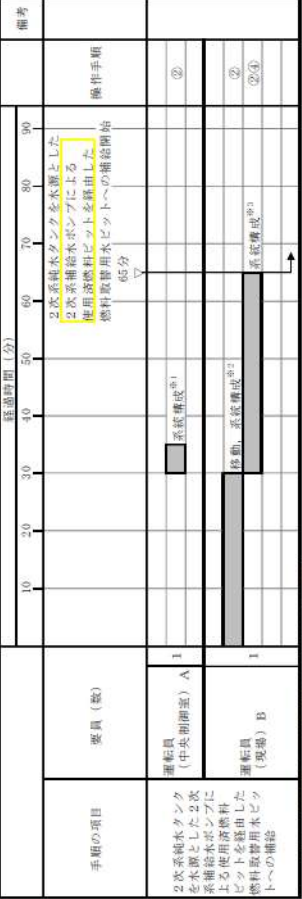
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.22図 No. 3 凝水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1411 981 1960 1077"> <thead> <tr> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の变化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-2 2次系凝水ポンプ</td> <td>起動機変更</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A-1 使用済燃料ビットポンプ</td> <td>起動機変更</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-1 使用済燃料ビットウォータ出口燃料取替用水ビット水浄化装置ライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A-1 使用済燃料ビット凝縮器*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-1 使用済燃料ビット凝縮器*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B-1 使用済燃料ビット凝縮器*</td> <td>全閉→全開機</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.14 図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給 概要図</p>	操作内容	操作対象機器	設備の变化	①	A-2 2次系凝水ポンプ	起動機変更	②	A-1 使用済燃料ビットポンプ	起動機変更	③	A-1 使用済燃料ビットウォータ出口燃料取替用水ビット水浄化装置ライン切替弁	全閉→全開	④	A-1 使用済燃料ビット凝縮器*	全閉→全開	⑤	B-1 使用済燃料ビット凝縮器*	全閉→全開	⑥	B-1 使用済燃料ビット凝縮器*	全閉→全開機	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作内容	操作対象機器	設備の变化																						
①	A-2 2次系凝水ポンプ	起動機変更																						
②	A-1 使用済燃料ビットポンプ	起動機変更																						
③	A-1 使用済燃料ビットウォータ出口燃料取替用水ビット水浄化装置ライン切替弁	全閉→全開																						
④	A-1 使用済燃料ビット凝縮器*	全閉→全開																						
⑤	B-1 使用済燃料ビット凝縮器*	全閉→全開																						
⑥	B-1 使用済燃料ビット凝縮器*	全閉→全開機																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

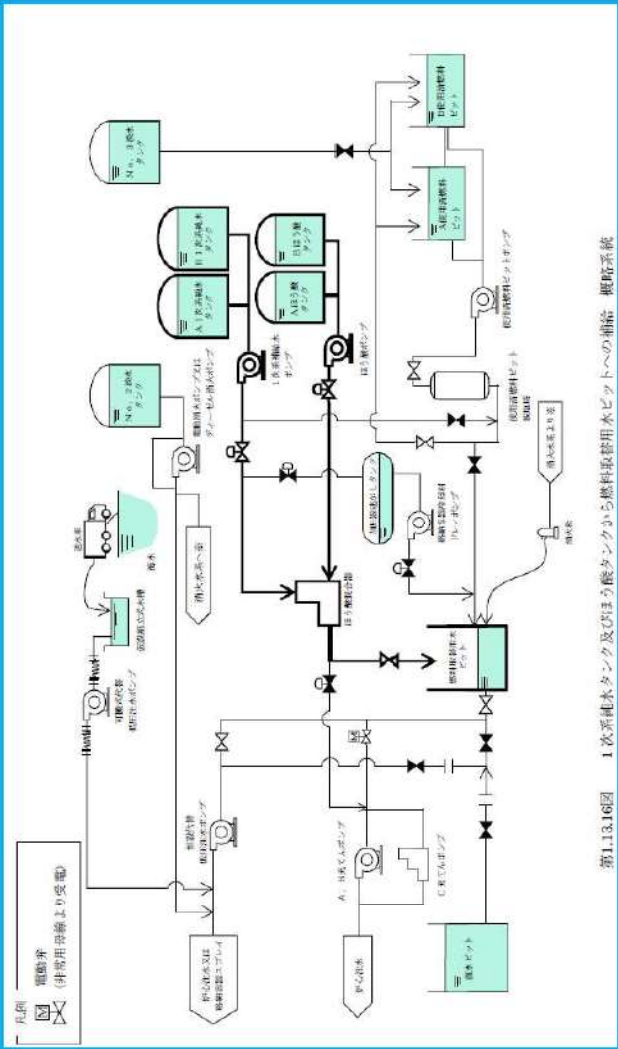
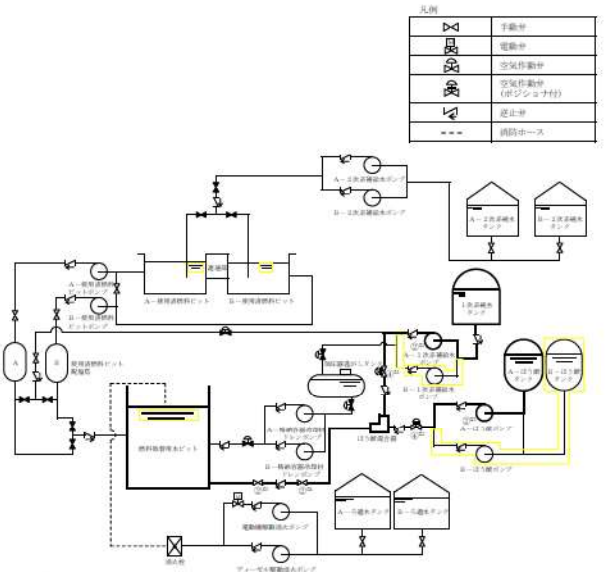
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.13図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※：現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.15図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p>  <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 949 1937 1077"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>1)</sup></td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>A-ほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>3)</sup></td> <td>ほう酸混合器出口自動補給ラインほう酸補給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>4)</sup></td> <td>ほう酸混合器出口燃料取替用水ピット補給ライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③<sup>1)</sup></td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>2)</sup></td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>1)</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>2)</sup>	A-ほう酸ポンプ	停止→起動	② <sup>3)</sup>	ほう酸混合器出口自動補給ラインほう酸補給止め弁	全閉→全開	② <sup>4)</sup>	ほう酸混合器出口燃料取替用水ピット補給ライン切替弁	全開→全閉	③ <sup>1)</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全開→調整開	③ <sup>2)</sup>	ほう酸補給ライン流量制御弁	全開→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
② <sup>1)</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																						
② <sup>2)</sup>	A-ほう酸ポンプ	停止→起動																						
② <sup>3)</sup>	ほう酸混合器出口自動補給ラインほう酸補給止め弁	全閉→全開																						
② <sup>4)</sup>	ほう酸混合器出口燃料取替用水ピット補給ライン切替弁	全開→全閉																						
③ <sup>1)</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全開→調整開																						
③ <sup>2)</sup>	ほう酸補給ライン流量制御弁	全開→調整開																						

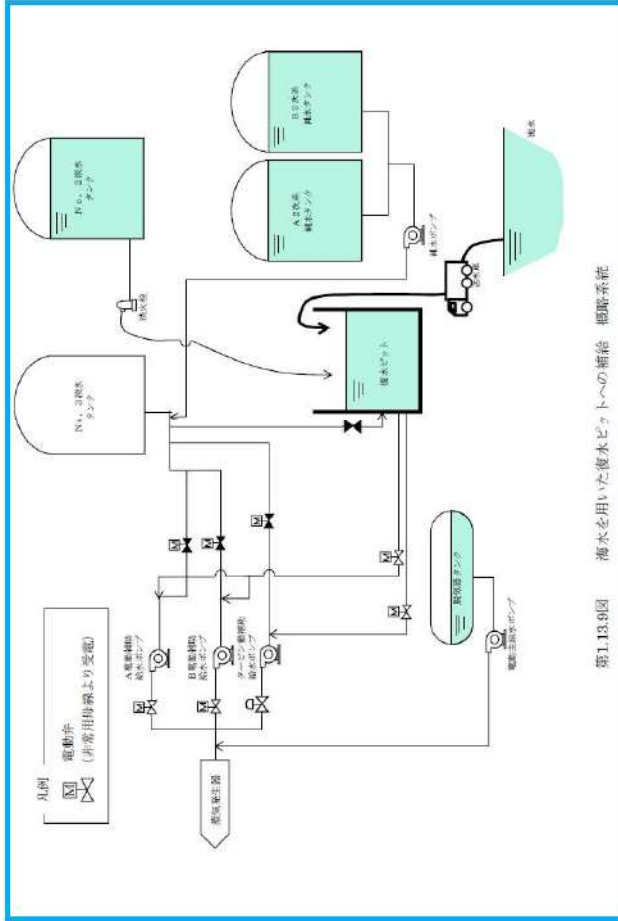
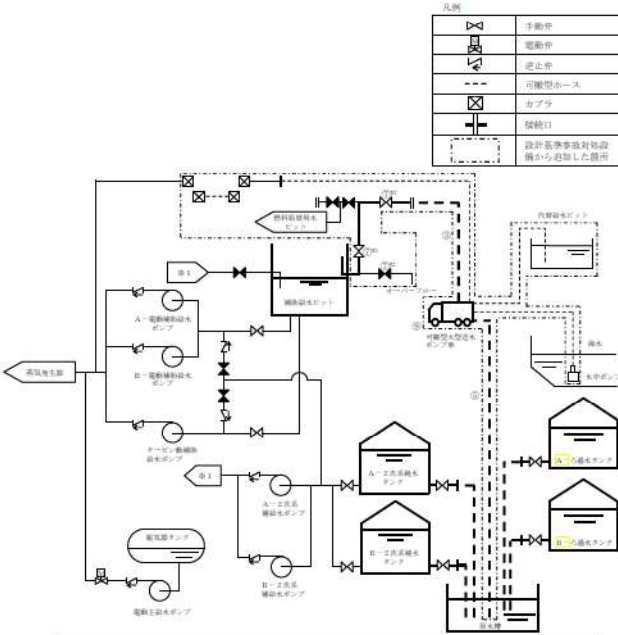
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防護器具着用時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の稼働時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働時間に見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

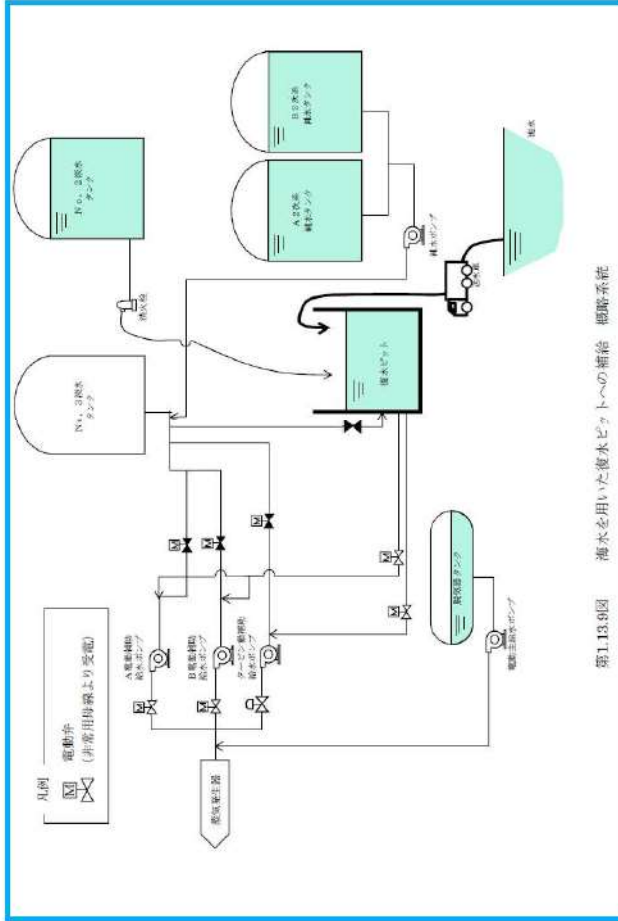
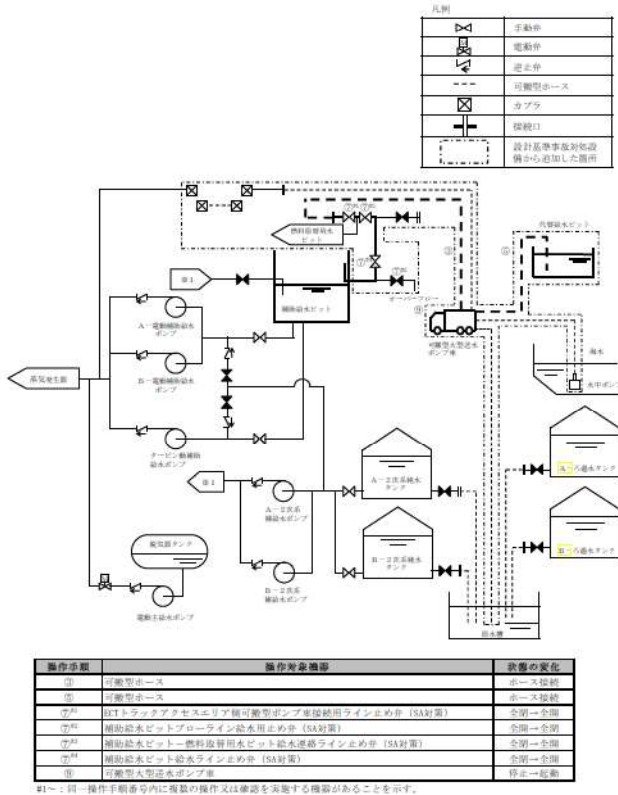
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.9図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 997 1960 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③<sup>注1)</sup></td> <td>送水車種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④<sup>注1)</sup></td> <td>補助給水ビットコーライン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>注1)</sup></td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.13.18 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による 補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③ <sup>注1)</sup>	送水車種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	④ <sup>注1)</sup>	補助給水ビットコーライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤ <sup>注1)</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③ <sup>注1)</sup>	送水車種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
④ <sup>注1)</sup>	補助給水ビットコーライン給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑤ <sup>注1)</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						





灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.20図 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を織りつけ</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

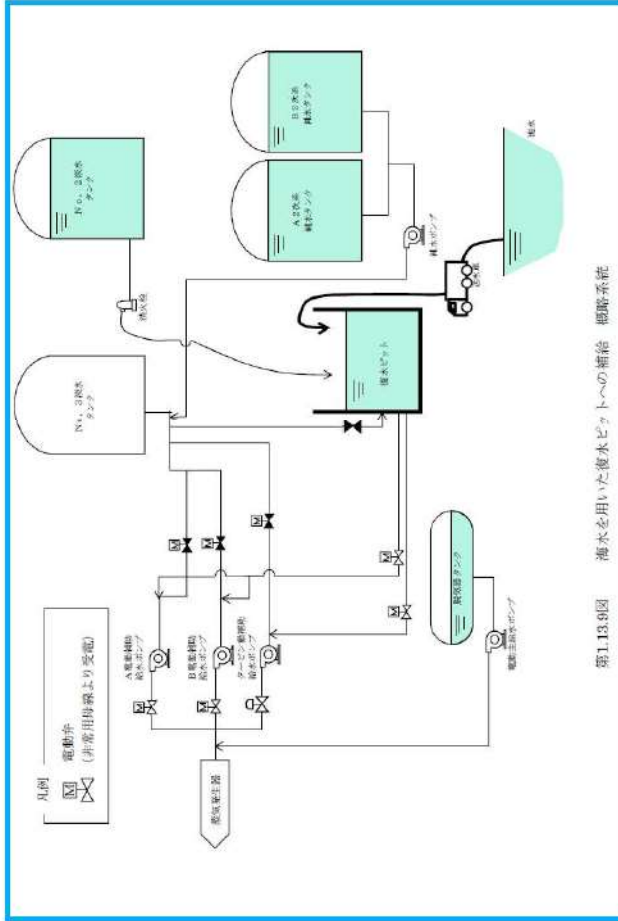
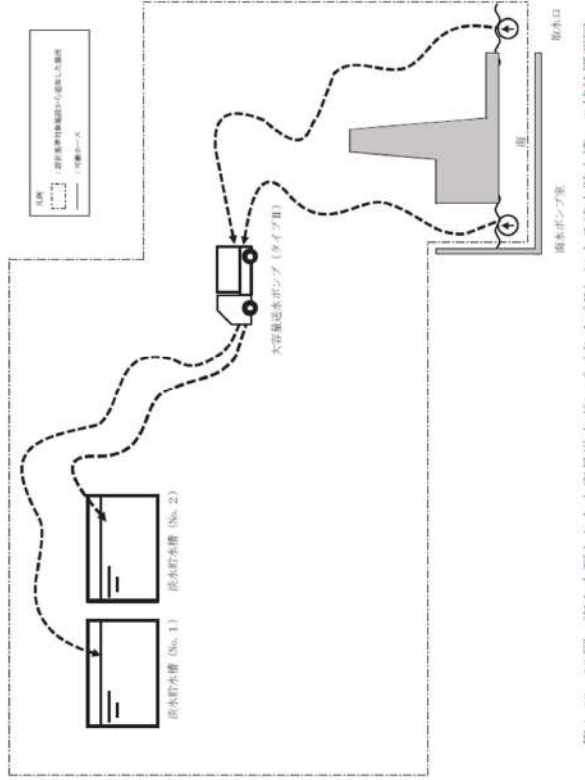
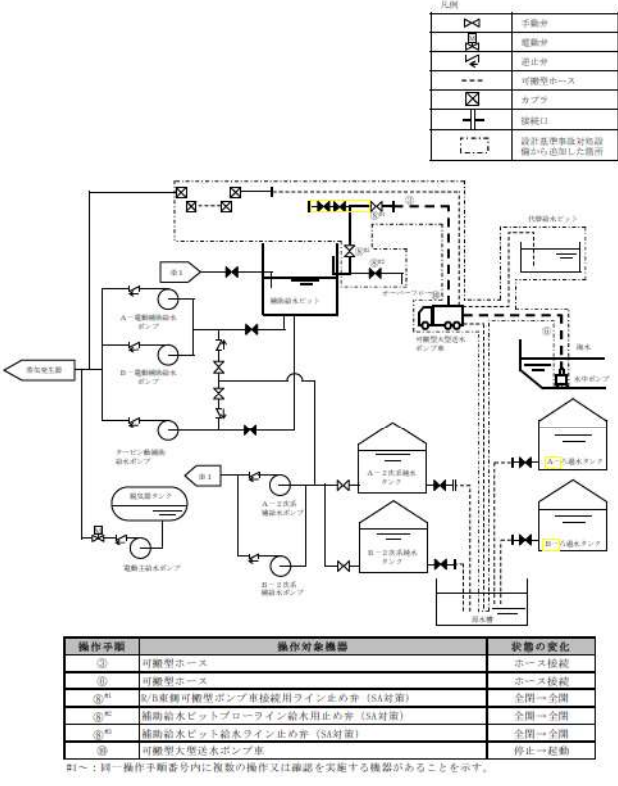
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.21 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車 による補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ</li> <li>・補足の充実</li> <li>・備考欄の追加</li> </ul>	



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ピットへの補給 概略系統</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13-26図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給概略図</p>	 <table border="1" data-bbox="1433 1005 1960 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>互換車種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>補助給水ピットフローライン給水用止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>補助給水ピット給水ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大容量送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.22図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 概略図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③*	互換車種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	④*	補助給水ピットフローライン給水用止め弁（SA対策）	全開→全閉	⑤*	補助給水ピット給水ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉	⑥	可搬型大容量送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を結びつけ</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③*	互換車種可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																						
④*	補助給水ピットフローライン給水用止め弁（SA対策）	全開→全閉																						
⑤*	補助給水ピット給水ライン止め弁（SA対策）	全開→全閉																						
⑥	可搬型大容量送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

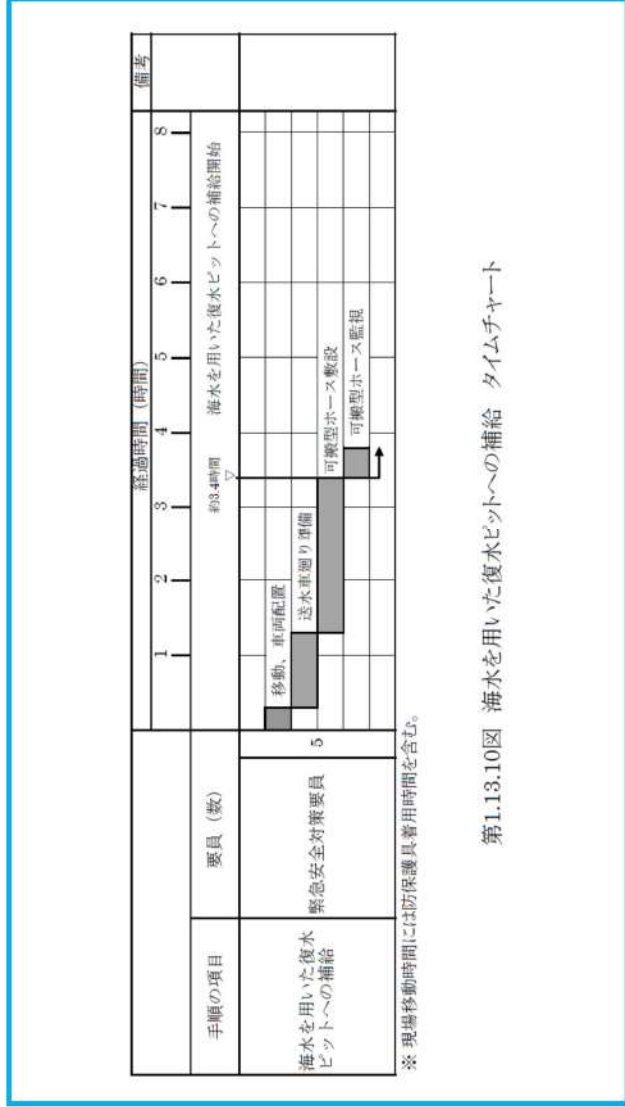
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

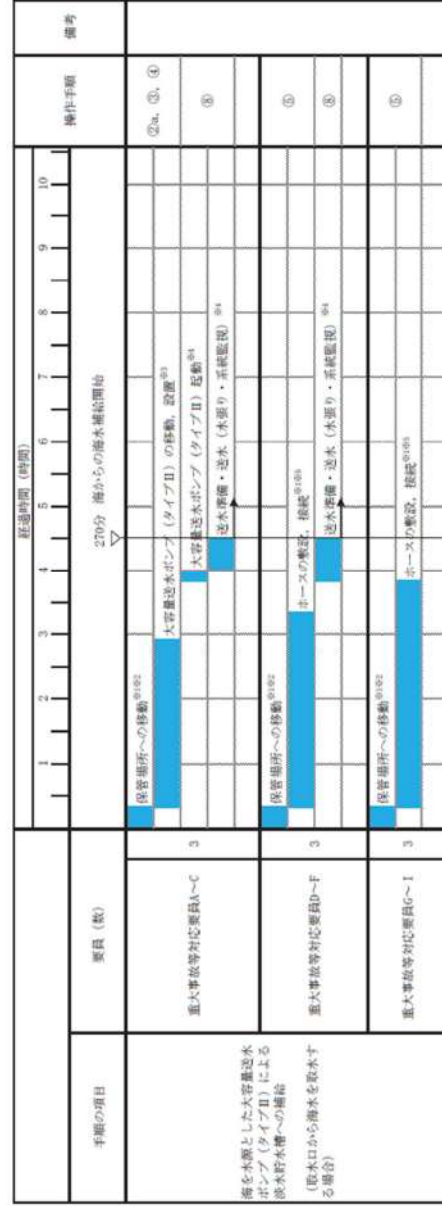
泊発電所3号炉

相違理由

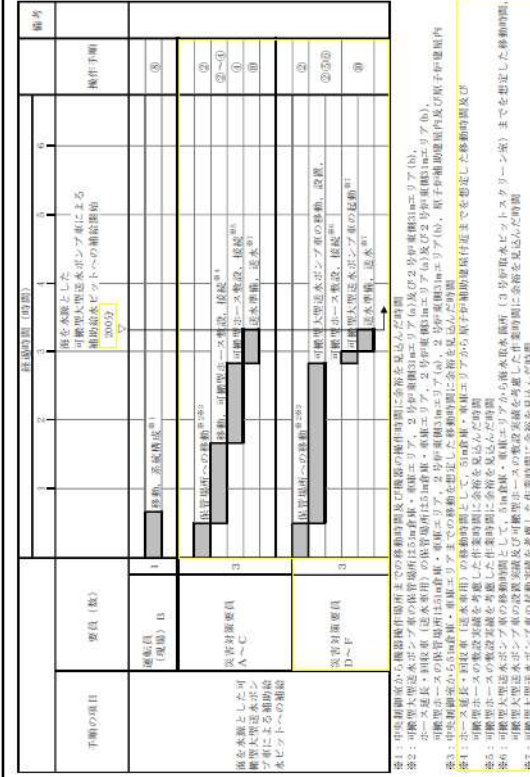
【比較のため、再掲】



第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート



第1.13-27図 海水を水源とした大容量海水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給タイムチャート（1/2）  
（取水口から海水を取水する場合）



第1.13.23図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による

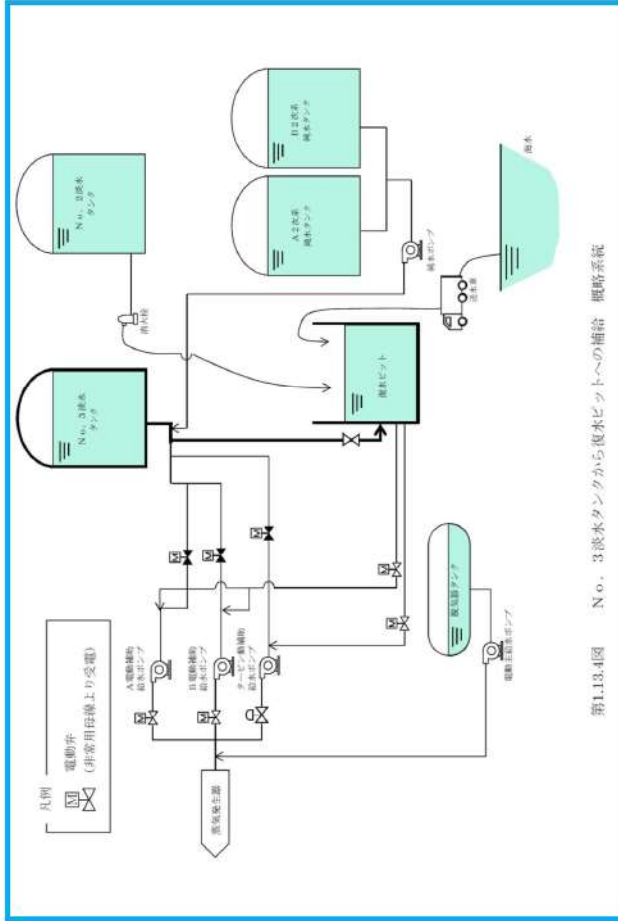
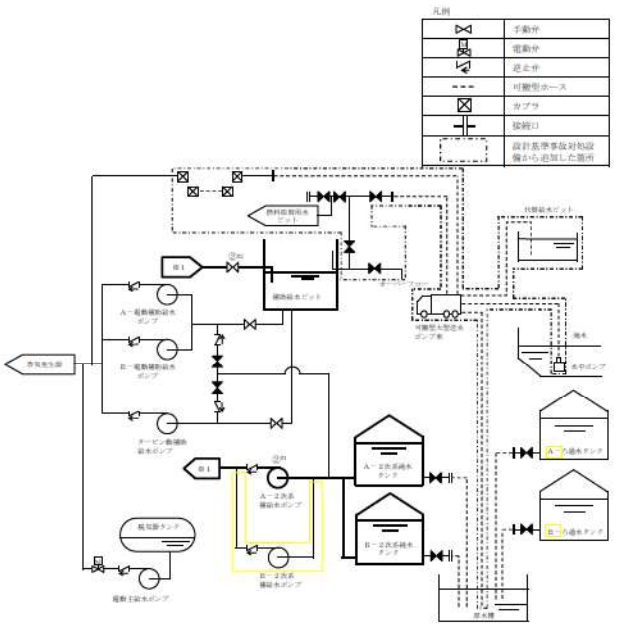
補助給水ピットへの補給 タイムチャート

- ・【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）
- ・タイムチャート  
と操作手順番号  
を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.4図 No. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1444 1061 1982 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>A-2 次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>補助給水ビット脱塩水補給ライン逆基絞り弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	A-2 次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>2)</sup>	補助給水ビット脱塩水補給ライン逆基絞り弁	全閉→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化										
① <sup>1)</sup>	A-2 次系補給水ポンプ	停止→起動										
② <sup>2)</sup>	補助給水ビット脱塩水補給ライン逆基絞り弁	全閉→調整開										



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

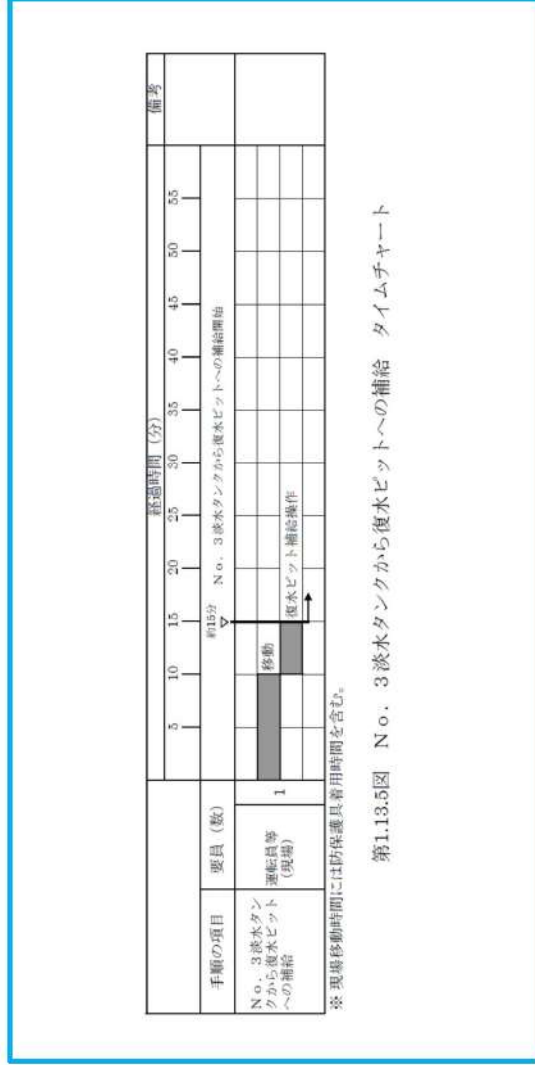
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

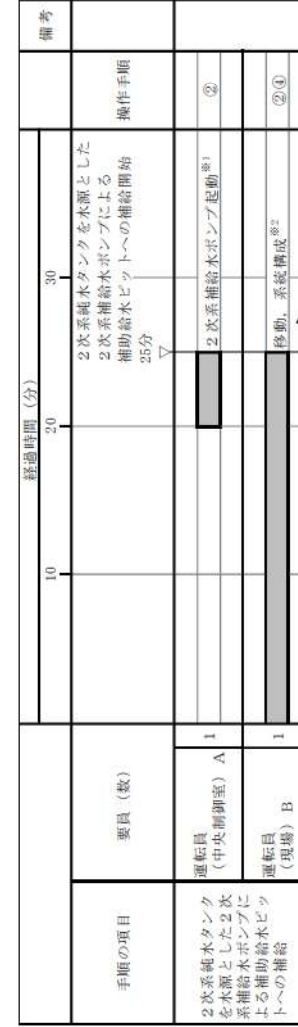
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし



【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)  
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加

【女川】  
記載内容の相違  
・炉型の相違による対応手段の相違



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="846 767 1256 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 383 1993 1133"> <table border="1" data-bbox="1803 391 1993 550"> <caption>凡例</caption> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>ラインパワー弁</td></tr> <tr><td></td><td>遮止弁</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型コース</td></tr> <tr><td></td><td>破綻口</td></tr> <tr><td></td><td>設計基準書等相違点品類から追加した箇所</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1411 965 1948 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">①</td> <td>A-1ろ過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>A-2二次純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>B-2二次純水タンク排水弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②</td> <td>可搬型コース</td> <td>コース接続</td> </tr> <tr> <td>A-1ろ過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">③</td> <td>B-1ろ過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2二次純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2二次純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>*：いずれか一方を開とする。</p> </div>		手動弁		電動弁		ラインパワー弁		遮止弁		可搬型コース		破綻口		設計基準書等相違点品類から追加した箇所	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認	B-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認	A-2二次純水タンク排水弁	全閉確認	B-2二次純水タンク排水弁	全閉確認	②	可搬型コース	コース接続	A-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開	③	B-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開	A-2二次純水タンク排水弁*	全閉→全開	B-2二次純水タンク排水弁*	全閉→全開	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
	手動弁																																								
	電動弁																																								
	ラインパワー弁																																								
	遮止弁																																								
	可搬型コース																																								
	破綻口																																								
	設計基準書等相違点品類から追加した箇所																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
①	A-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認																																							
	B-1ろ過水タンク排水弁	全閉確認																																							
	A-2二次純水タンク排水弁	全閉確認																																							
	B-2二次純水タンク排水弁	全閉確認																																							
②	可搬型コース	コース接続																																							
	A-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開																																							
③	B-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開																																							
	A-2二次純水タンク排水弁*	全閉→全開																																							
	B-2二次純水タンク排水弁*	全閉→全開																																							

第 1.13.26 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給概要図

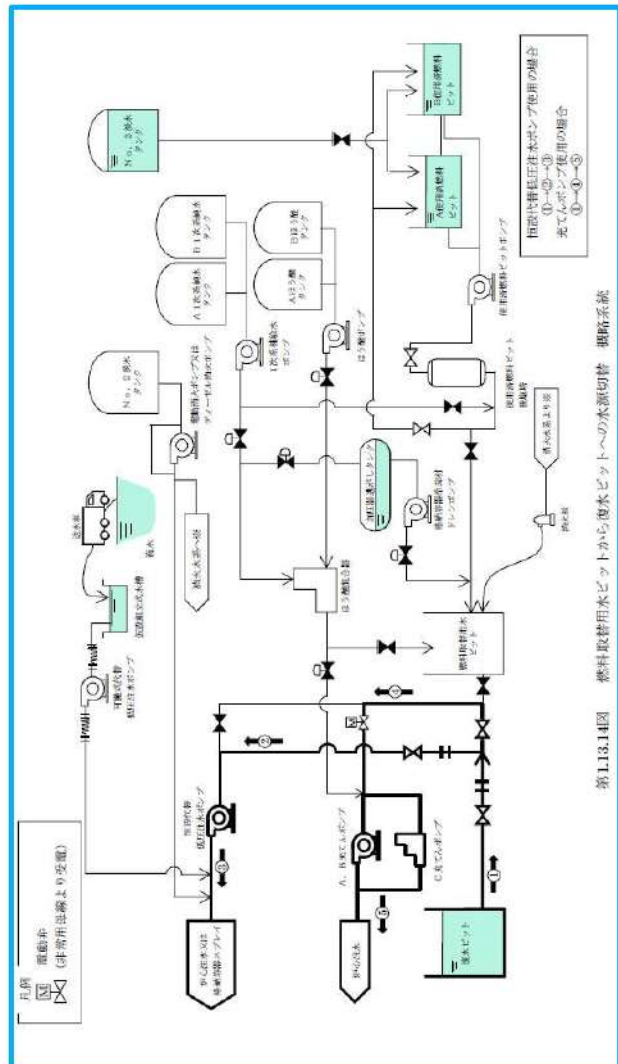
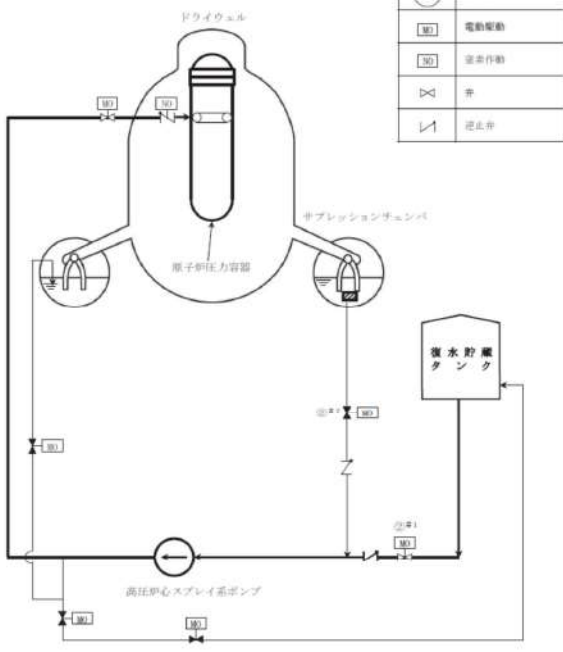
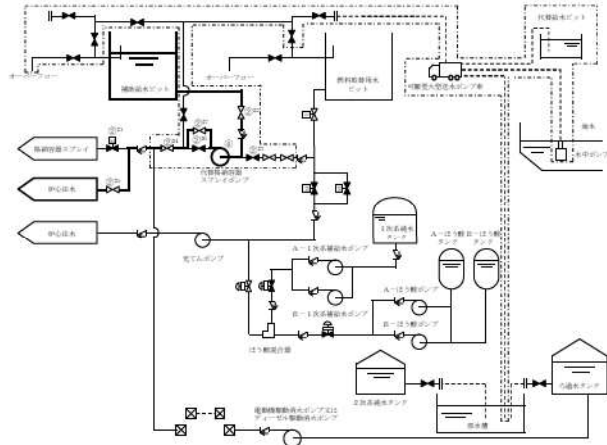
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">第 1.13.27 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクからの原水槽への補給 タイムチャート</p> <p>※1：ボース延長・回収車（送水車用）の保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア(a)及び2号炉東側31mエリア(b)、可搬型ボースの保管場所は51m倉庫・車庫エリア、2号炉東側31mエリア(a)及び2号炉東側31mエリア(b)          ※2：中央制御室から回収車（送水車用）の移動時間を見込んだ時間          ※3：ボース延長・回収車（送水車用）の移動時間として、51m倉庫・車庫エリアから原水槽付近までを想定した移動時間及び可搬型ボースの転送時間を考慮した作業時間として、51m倉庫・車庫エリアから原水槽付近までを想定した移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間          ※5：原水槽への送水を見込んだ時間</p>	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由③）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.14図 燃料取扱替用水ピットから復水ピットへの水源切替 概略系統</p>	 <p>第1.13-29図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概要図</p> <table border="1" data-bbox="896 1053 1187 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②P1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②P2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	弁名称	②P1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②P2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	 <p>第1.13.28図 燃料取扱替用水ピットから補助給水ピットへの切替 (原子炉容器への注水中の場合) 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1013 1971 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②P</td> <td>炉一熱納器スプレイ冷却器出口CV外筒隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ入口ストップ止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>炉一全熱除去冷却器出口熱納器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ出口熱納器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②P</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>代替熱納器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	②P	炉一熱納器スプレイ冷却器出口CV外筒隔離弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ入口ストップ止め弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉	②P	炉一全熱除去冷却器出口熱納器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ出口熱納器スプレイ用絞り弁	全開→全閉	②P	代替熱納器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全開→調整開	①	代替熱納器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容 充実</li> <li>・概要図と操作内 容を紐づけ</li> </ul>
操作手順	弁名称																																			
②P1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																			
②P2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
②P	炉一熱納器スプレイ冷却器出口CV外筒隔離弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ補助給水ピット側入口止め弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ入口ストップ止め弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉																																		
②P	炉一全熱除去冷却器出口熱納器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ出口熱納器スプレイ用絞り弁	全開→全閉																																		
②P	代替熱納器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全開→調整開																																		
①	代替熱納器スプレイポンプ	停止→起動																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

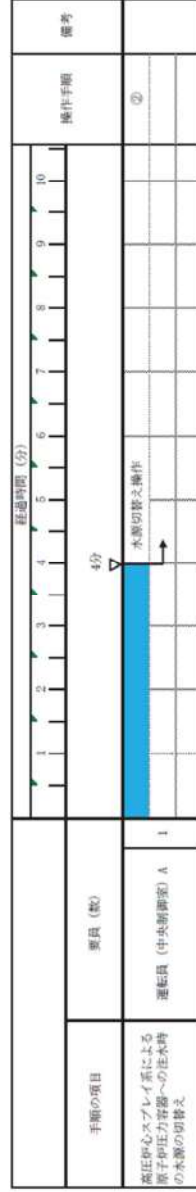
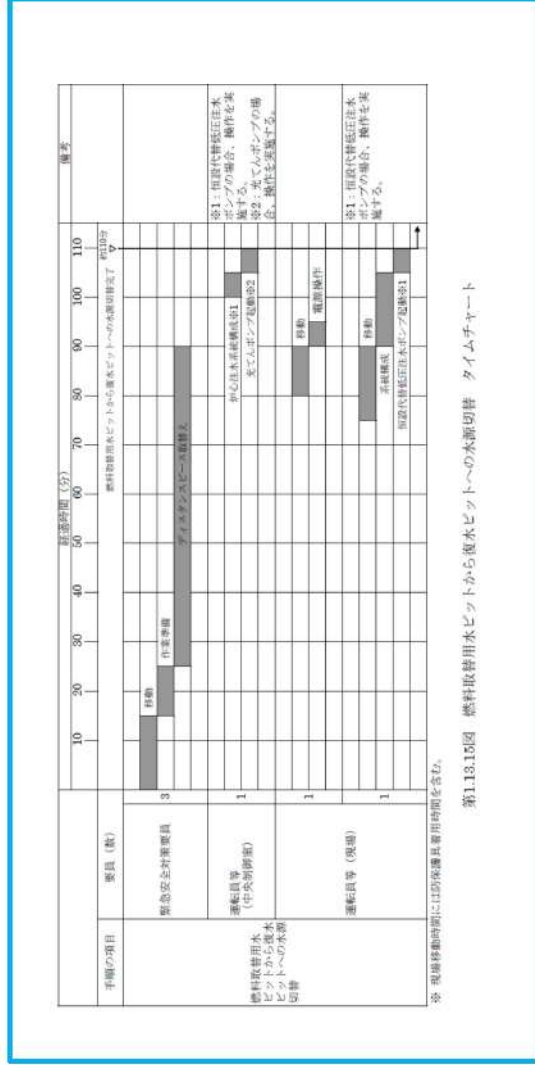
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

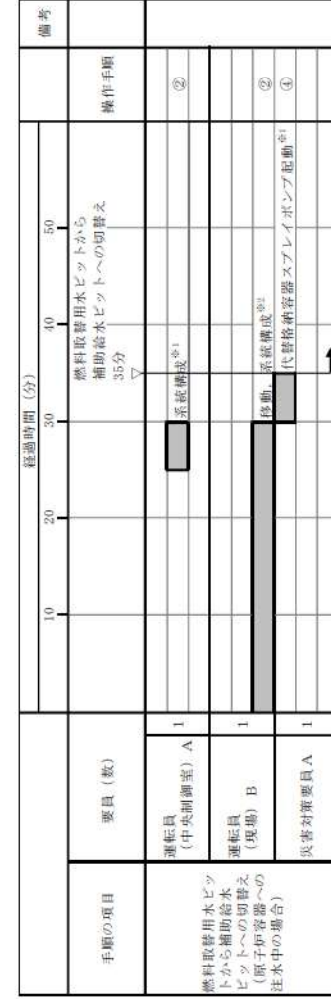
泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



第 1.13-30 図 高圧炉心スプレイス系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替えタイムチャート



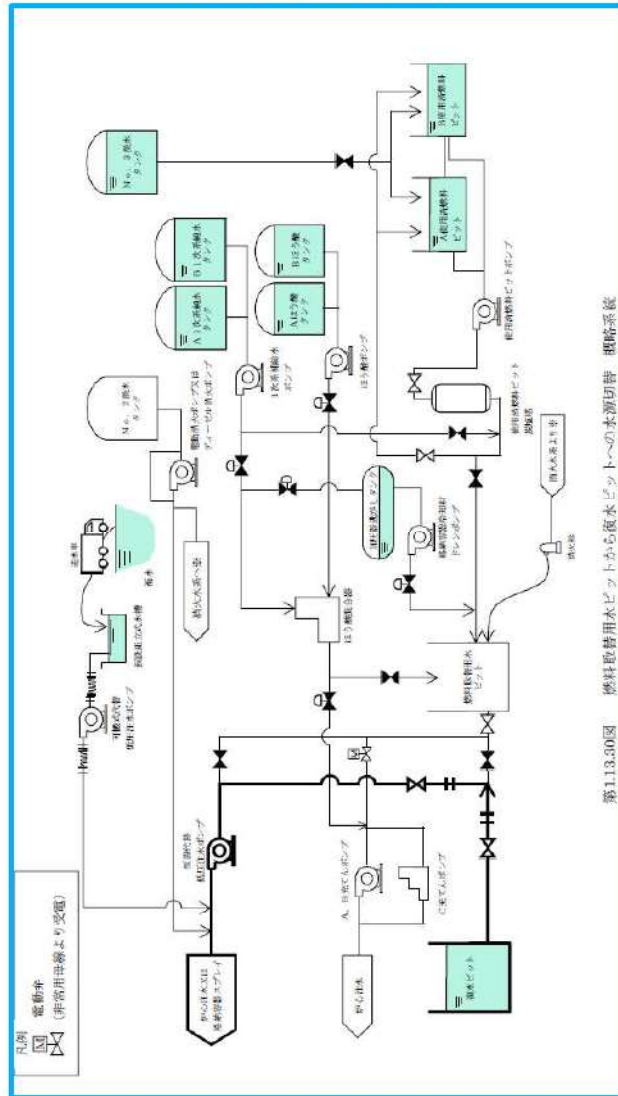
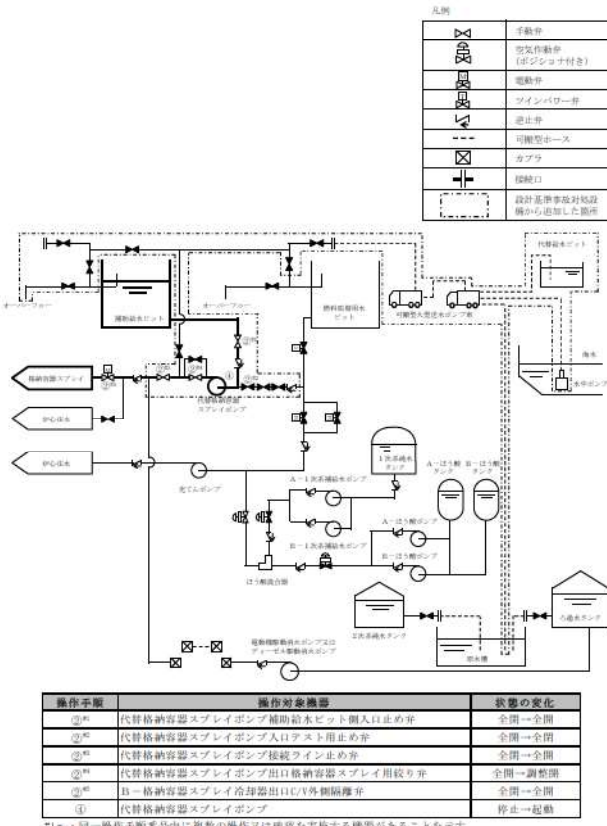
※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間  
※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間

【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の  
反映)  
・タイムチャート  
と操作手順番号  
を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.30図 燃料取替用水ビットから補水ビットへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 1037 1960 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口アスト用止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.30図 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合） 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	全開→全開	②	代替格納容器スプレイポンプ入口アスト用止め弁	全開→全開	③	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開	④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開	⑤	格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開→全開	⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	全開→全開																						
②	代替格納容器スプレイポンプ入口アスト用止め弁	全開→全開																						
③	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開																						
④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開																						
⑤	格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開→全開																						
⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

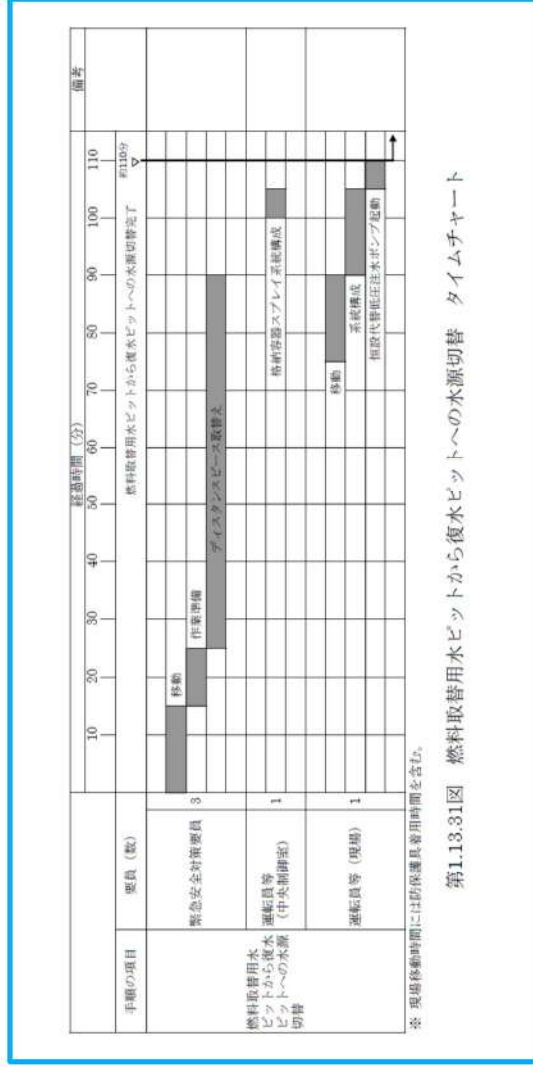
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



泊3号炉との比較対象なし

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え (原子炉格納容器内へスプレイ中の場合)	運転員 (中央制御室) A	1	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分 △
	運転員 (現場) B	1	
	災害対策要員 A	1	
		移動	
		系統構成 <sup>※1</sup>	②
		系統構成 <sup>※2</sup>	
		災害格納容器スプレイポンプ起動 <sup>※3</sup>	② ④

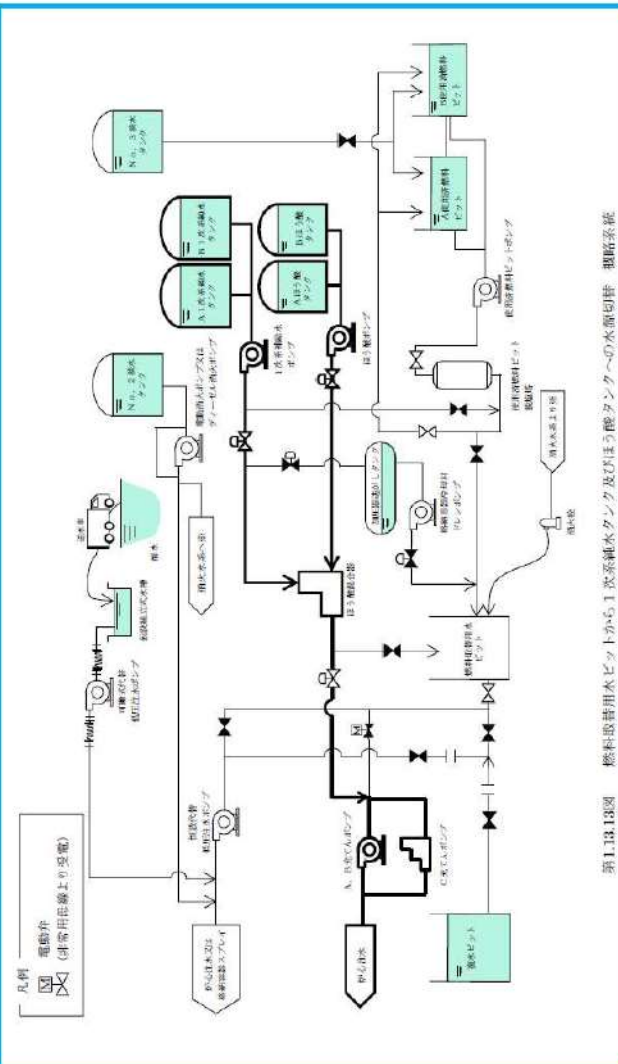
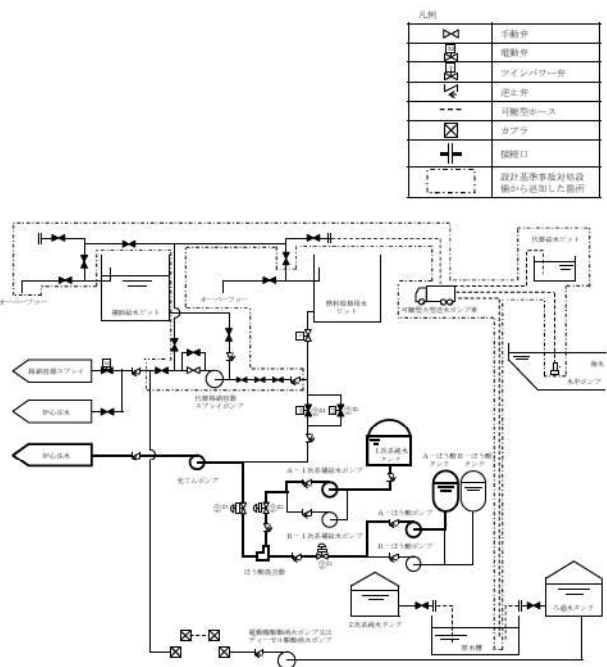
※1：機器の搬入時間及び動作時間に見込んだ時間  
※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間

第 1.13.31 図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え  
(原子炉格納容器内へスプレイ中の場合) タイムチャート

- 【大飯】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)  
・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
・補足の充実  
・備考欄の追加
- 【女川】  
記載内容の相違  
・炉型の相違による対応手段の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.13図 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水價切替 概略系図</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1422 1013 1960 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>※</sup></td> <td>ほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>※</sup></td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>※</sup></td> <td>体積制御タンク出口側補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>※</sup></td> <td>左でんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>※</sup></td> <td>左でんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.32図 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>※</sup>	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	② <sup>※</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	② <sup>※</sup>	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開	② <sup>※</sup>	左でんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁A	全閉→全開	② <sup>※</sup>	左でんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁B	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
② <sup>※</sup>	ほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																			
② <sup>※</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																			
② <sup>※</sup>	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開																			
② <sup>※</sup>	左でんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁A	全閉→全開																			
② <sup>※</sup>	左でんポンプ入口燃料取替用ビット側入口弁B	全閉→全開																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.2図 復水ピットからNo.3洗水タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1433 1005 1971 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>設備の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>A、B-1電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>3)</sup></td> <td>補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>4)</sup></td> <td>補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	設備の変化	① <sup>1)</sup>	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全開→全開	② <sup>2)</sup>	A、B-1電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全開→全開	③ <sup>3)</sup>	補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全開	④ <sup>4)</sup>	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を結びつけ</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	設備の変化																
① <sup>1)</sup>	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全開→全開																
② <sup>2)</sup>	A、B-1電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	全開→全開																
③ <sup>3)</sup>	補助給水ピット電動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全開																
④ <sup>4)</sup>	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	全開→全開																

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由											
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 770 1254 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1480 233 1778 1391" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順の項目</th> <th style="width: 20%;">要員(数)</th> <th style="width: 40%;">経過時間(分)</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td>要員(数)</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転員(現場) B</td> <td style="text-align: center;">40分</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">移動、系統構成*</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.13.34 図 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え タイムチャート</p>	手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考	電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	要員(数)	50		運転員(現場) B	40分	②	<p>【大飯】 設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違(女川審査実績の反映) ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考											
電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	要員(数)	50												
	運転員(現場) B	40分	②											

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

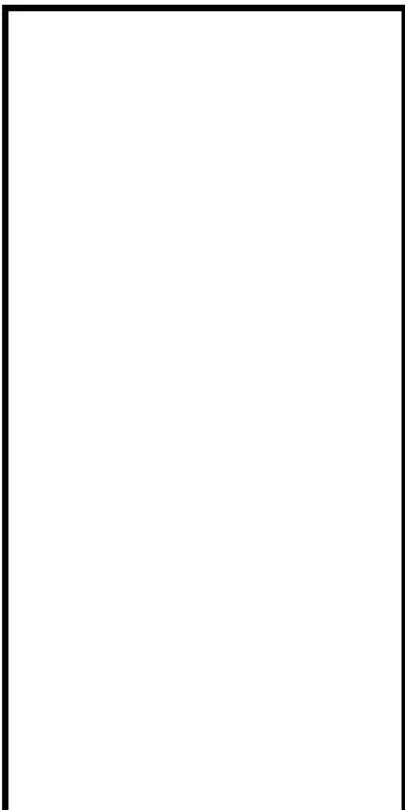
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1375 400 1892 1177" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1899 480 1960 1214" style="font-size: small;">                     第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給                      ホース敷設ルート図(1/2)                 </div> <div data-bbox="1966 456 1995 903" style="font-size: x-small;">                     □：特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2013 722 2163 802" style="color: red;"> <b>【大飯】</b>                      設備の相違(相違理由⑥)                 </div>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin-left: 10px; display: inline-block;"></div> <p style="font-size: x-small; margin-left: 5px;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="text-align: center; color: red;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1375 421 1883 1169" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">                     第1.13.36図 代替給水ピットを水源とした可換型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピット                      への補給ホース敷設ルート図(1/2) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">  </span>：詳細みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】</p> <p>設備の相違(相違理由⑥)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1384 435 1877 1157" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1899 435 1995 1225" style="font-size: small;">                         第1.13.36図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取貯野用水ピット                          への補給ホース敷設ルート図(2/2)  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </p>	<p data-bbox="2018 754 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                         【大飯】                          設備の相違(相違理由⑥)                     </p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1375 421 1879 1166" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1892 470 1998 1109" style="font-size: small;">                         第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピット                          への補給 ポース敷設ルート図（1/3）  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </p>	<p data-bbox="2018 754 2163 834" style="font-size: small;">                         【大飯】                          設備の相違（相違理由⑥）                     </p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1422 368 1839 1225" style="border: 2px solid black; width: 186px; height: 537px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1877 443 1944 1102" style="text-align: center; font-size: small;">                         第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱普用水ピット への補給 ポース敷設ルート図 (2/3)                     </p> <p data-bbox="1966 341 1995 807" style="text-align: center; font-size: x-small;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </p>	<p data-bbox="2018 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                         【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)                     </p>

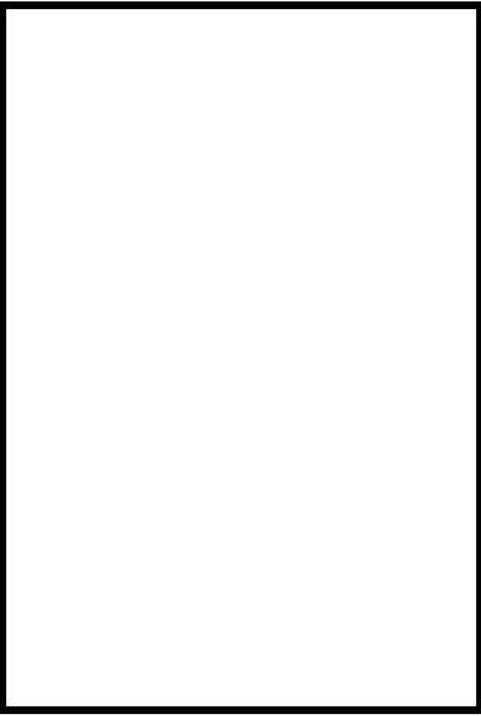


泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：詳細な内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 649 1257" style="border: 2px solid black; height: 543px; width: 242px;"></div> <div data-bbox="651 402 685 944" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 10px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="683 466 716 1209" style="margin-left: 10px;">                     第1.13.26図 N.o. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート                 </div>		<div data-bbox="1391 491 1906 1169" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1915 470 1982 1236" style="margin-left: 10px;">                     第 1.13.38 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼセル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図                 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 419 1877 1169" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1899 427 1995 1102" style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     第1.13.39図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット                      への補給 ポース敷設ルート図（1/2）                      □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2018 754 2163 831" style="font-size: small;">                     【大飯】                      設備の相違（相違理由④）                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1395 363 1812 1225" style="border: 2px solid black; width: 186px; height: 540px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1861 520 1888 1182" style="font-size: small;">第1.13.39 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット</p> <p data-bbox="1899 751 1926 1058" style="font-size: small;">への補給 ポース敷設ルート図 (2/2)</p> <p data-bbox="1957 416 1984 884" style="font-size: small;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2018 754 2163 831" style="font-size: small;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">第1.13.10図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホームス数設ルート図 (1/2)</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

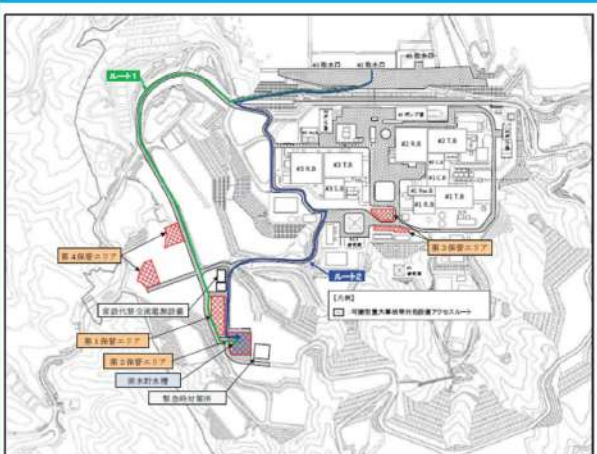
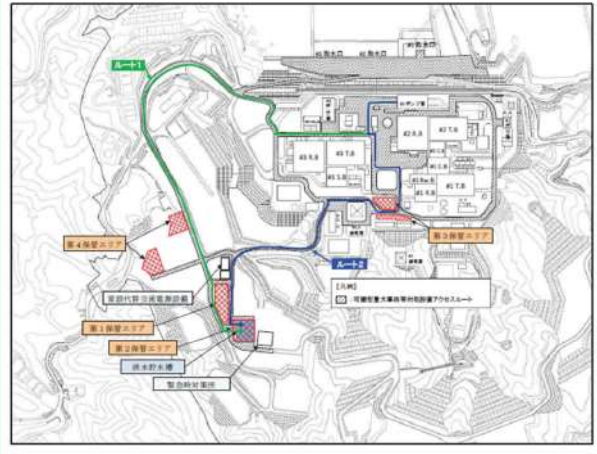
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.10図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/2) <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13-33図 海から淡水貯水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>	<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (1/22)</p>			
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)</p>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (2/22)</p>			
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p>第1.13-34図 海から淡水貯水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (3/22)</p>			
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 ホース敷設ルート (4/22)</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

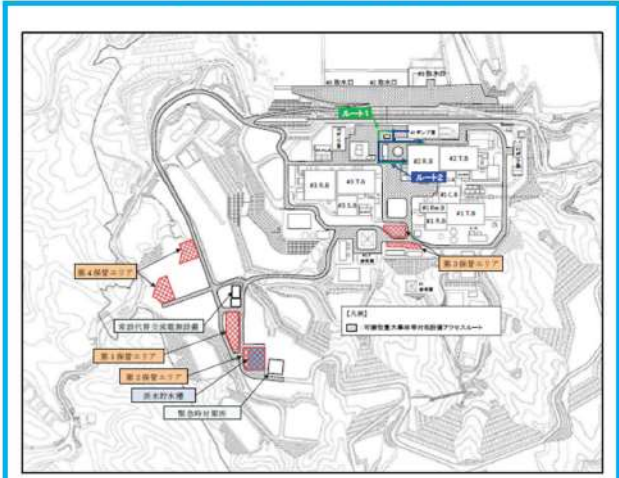
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 151 705 486" style="border: 1px solid black; height: 210px; width: 264px;"></div> <div data-bbox="291 491 705 513" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<div data-bbox="907 247 1187 274" style="text-align: center;">                     【比較のため、記載順序入れ替え】                 </div> <div data-bbox="743 319 1348 778" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="833 790 1258 813" style="text-align: center;">                     第1.13-35図 淡水貯水槽から各種注水ルート図                 </div>	<div data-bbox="1460 367 1877 1220" style="border: 1px solid black; height: 535px; width: 186px;"></div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22)</p>			
<div data-bbox="114 609 705 954" style="border: 1px solid black; height: 216px; width: 264px;"></div> <div data-bbox="291 960 705 983" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<div data-bbox="743 861 1348 1321" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="779 1327 1303 1351" style="text-align: center;">                     第1.13-36図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水)                 </div>	<div data-bbox="1921 343 1998 1273" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3)                      □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22)</p>			
<div data-bbox="114 1072 705 1369" style="border: 1px solid black; height: 186px; width: 264px;"></div> <div data-bbox="291 1375 705 1398" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22)</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p> 		
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</p>	<p>第1.13-37図 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</p>			
<p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</p>			

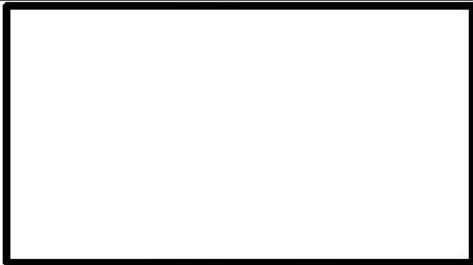


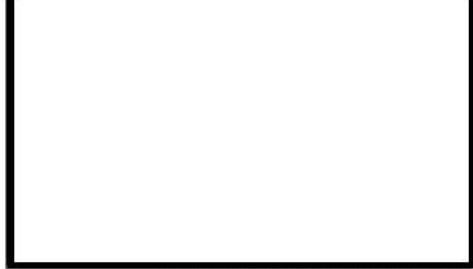
第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)  
 □：特開みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (12/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (13/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (14/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース搬送ルート (15/22)</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>			
 <p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>大飯3/4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p>			
 <p>特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 145 642 405" style="border: 2px solid black; height: 163px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 410 642 427" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                     特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="190 469 622 488" style="font-size: small;">                     第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22)                 </div> <div data-bbox="174 493 642 762" style="border: 2px solid black; height: 169px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 767 642 785" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                     特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="190 788 622 807" style="font-size: small;">                     第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (98/99)                 </div> <div data-bbox="174 812 642 1082" style="border: 2px solid black; height: 169px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 1086 642 1104" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                     特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="190 1107 622 1126" style="font-size: small;">                     第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22)                 </div> <div data-bbox="174 1147 642 1417" style="border: 2px solid black; height: 169px; width: 209px;"></div> <div data-bbox="315 1422 642 1439" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                     特開みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="190 1442 622 1461" style="font-size: small;">                     第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22)                 </div>		<div data-bbox="1451 758 1928 858" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                     大飯3/4号炉との比較対象は                      泊3号炉の第1.13.41図参照                 </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.42図 2次系純水タンク又はろ過水タンクを水源とした原水槽への補給 ホーンス数設ルルト図 ：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違（相違理由⑧）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>		<p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（補助給水ビットへの供給手順）(1)</p>	
<p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>		<p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（補助給水ビットへの供給手順）(2)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.29図 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手順</p>	<p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（炉心注水時の燃料取替用水ピットへの補給手順）（1/3）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.29図参照                 </div>	<div data-bbox="750 311 1310 1268"> <p style="text-align: center;">第1.13-32図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種補給用）</p> </div>	<div data-bbox="1388 383 1915 1204"> </div>	<p>相違理由</p> <div data-bbox="1948 550 2004 1197" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（炉心注水時における燃料取替手順）（2/3）                 </div> <div data-bbox="2004 718 2161 837" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>			<p>【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

第1.13.44図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（炉心注水時における燃料貯留用大用送水ポンプへの供給手順）（3/3）

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>第1.13.45図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（格納容器スプレイ時における燃料取扱用海水ピットへの補給手順）（1/3）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p>

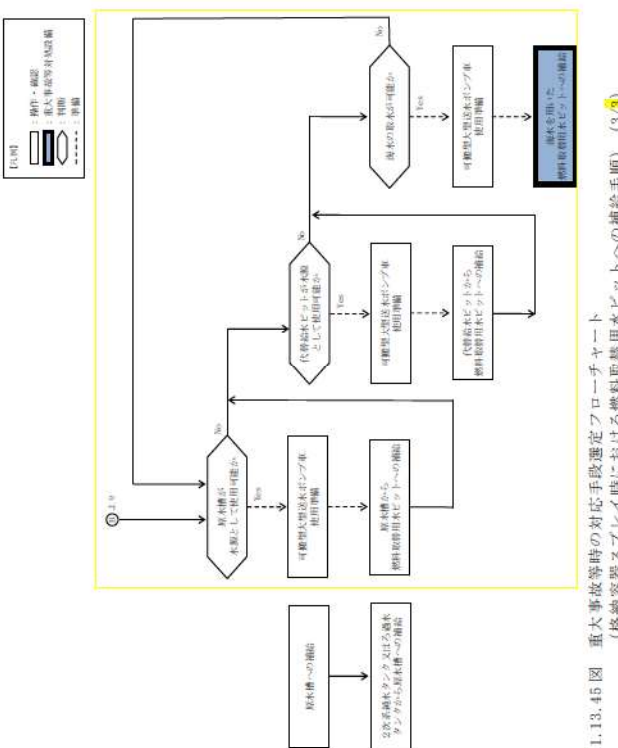
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 743 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto;"> <p>泊3号炉との比較対象は 大飯3/4号炉の第1.13.32図参照</p> </div>			<p>第1.13.45図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（格納容器スプレイトへの補給手順）(2/3)</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 734 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は                      大飯3/4号炉の第1.13.32図参照                 </div>			<p>【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

第1.13.45図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート（格納容器スプレイ時における燃料冷却器用水ピットへの補給手順）（3/3）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
【比較のため女川の添付資料1.13.1を掲載】				添付資料1.13.1-1(1)					
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)				審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)				<p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PWR と BWR に対する要求事項相違による附番の相違</li> <li>・審査基準の改正による記載内容の相違</li> </ul> <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</li> <li>・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。</li> <li>・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>	
技術的能力審査基準 (L13)	番号	設置許可基準規則 (56条)	技術基準規則 (71条)	技術的能力審査基準 (L13)	番号	設置許可基準規則 (五十六条)	技術基準規則 (七十一条)		
【本文】 発電用原子炉設置者において、設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	①	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 1 発電用原子炉施設において、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備から、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対処するために必要な量の水を貯留できるものとする。	①	【本文】 1 発電用原子炉施設には、次に掲げる場所より、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対処するために必要な量の水を貯留できるものとする。	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げる場所より、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対処するために必要な量の水を貯留できるものとする。		⑦
【解釈】 1 「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等の効果を有する措置を行うための手順等をいう。	—	【解釈】 1 第56条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等の効果を有する措置を行うための設備をいう。	【解釈】 1 第71条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要な十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等の効果を有する措置を行うための設備をいう。	【本文】 2 発電用原子炉施設において、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に対処するために必要な設備に供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	②	【本文】 2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に対処するために必要な設備に供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 2 発電用原子炉施設には、海その他の水源（前項の水源を除く。）から、想定される重大事故等の収束に必要な量の水を取水し、当該重大事故等に対処するために必要な設備に供給するために必要な設備を設けなければならない。		⑧
a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できる手順等を整備すること。	②	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	【解釈】 1 第1項に規定する「想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備から、想定される重大事故等に対処するために必要な設備に必要量の水を供給するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等の効果を有する措置を行うための手順等をいう。	—	【解釈】 1 第1項に規定する「必要な量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。	【解釈】 1 第1項に規定する「必要な量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。		—
b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	③	b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	b) 複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	【本文】 2 一次冷却炉喪失時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある常設用原子炉施設には、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対処するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器と水をとする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	—	【本文】 2 一次冷却炉喪失時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある常設用原子炉施設には、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対処するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器と水をとする再循環設備を代替することができる設備を設けること。	【本文】 2 一次冷却炉喪失時に原子炉格納容器に水を切り替える必要がある常設用原子炉施設には、第1項第2号に規定する「想定される重大事故等に対処するために必要な設備に供給できるもの」として、原子炉格納容器と水をとする再循環設備を代替することができる設備を設けること。		⑨
c) 海を水源として利用できること。	④	c) 海を水源として利用できること。	c) 海を水源として利用できること。	e) 第1項に規定する「想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備」及び第2項に規定する「海その他の水源」から、想定される重大事故等の収束までの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水を供給できる手順等を整備すること。この場合において、以下の事項を考慮すること。	③	—	—		—
d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑤	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	【本文】 1 第2項に規定する「海その他の水源」として、海及び複数の代替淡水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	④	—	—		⑩
e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑥	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	【本文】 1 各水源からの移送ルートを確認し、移送ホース、ポンプその他の設備を用いた水の供給ができるものとする。	⑤	—	—		⑪
f) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替え手順等を定めること。	⑦	—	—	【本文】 a) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替えができるようにすること。	⑥	—	—		—

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間 対応人数
女川発電所 （女川発電所）	取水貯留タンク	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	ろ過水タンク	既設	—	—
	高圧代替注水系（高圧代替注水ポンプ）	既設	—	ろ過水系（ろ過水ポンプ）	既設	—	—
	原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却ポンプ）	既設	—	大飯発電所 （大飯発電所）	—	—	—
	高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	既設	—				
	制御棒駆動水圧系（制御棒駆動水ポンプ）	既設	—				
	低圧代替注水系（既設）（復水移送ポンプ）	既設	—				
	低圧代替注水系（既設）（原液移動代替注水ポンプ）	既設	—				
	原子炉格納容器冷却スプレッド系（既設）（復水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉格納容器下注水系（既設）（復水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉格納容器上部注水系（既設）（燃料プール補助水ポンプ）	既設	—				
サブレンジンジェン	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺					
高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	既設	—					
制御棒駆動水系（既設）（既設）	既設	—					
低圧炉心スプレー系（既設）（既設）	既設	—					
代替格納容器系（代替格納容器ポンプ）	既設	—					
原子炉格納容器下注水系（既設）（代替格納容器ポンプ）	既設	—					

※1：本条文【解釈】1 b)項を満足するための代替注水源（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(2)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	必要時間内に 使用可能な 対応可能な 人数で 使用可能な
燃料取扱用 水ビットを 水庫とした 対応	燃料取扱用ウォータービット	既設	①③⑤⑥⑦	水ろ過と水タンク対応	ろ過水タンク	既設	—
	充てんポンプ	既設			電機駆動消防ポンプ	既設	
	高圧注入ポンプ	既設			ディーゼル駆動消防ポンプ	既設	
	代替格納容器スプレッドポンプ	既設			1次系純水タンク	既設	
	1次系格納容器スプレッドポンプ	既設			1次系補給水ポンプ	既設	
	格納容器スプレッドポンプ	既設			2次系純水タンク	既設	
	全熱除去ポンプ	既設			2次系補給水ポンプ	既設	
	燃料取扱用ウォータービット	既設			2次系純水タンク	既設	
	—	—			2次系補給水ポンプ	既設	
	—	—			2次系補給水ポンプ	既設	
補助給水 水ビットを 水庫とした 対応	補助給水ビット	既設	①③⑤⑥⑦	水ろ過と水タンク対応	酸素タンク	既設	—
	電動補助給水ポンプ	既設			電動主給水ポンプ	既設	
	タービン駆動補助給水ポンプ	既設			—	—	
	50直結給水用高圧ポンプ	既設			—	—	
	—	—			—	—	

【女川】  
 設備の相違による  
 対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の  
 反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉										泊発電所3号炉										相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																											
【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】										添付資料1.13.1-(4)										【女川】 設備の相違による 対応手段の相違  【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・大飯の比較対象 となる添付資料 1.13.2は後段に 掲載している。 ・泊は女川の審査 実績を踏まえた 構成としている ため、本資料の 比較対象は女川 としている。																																																																																																																																																																																																																																																																																											
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/6)										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/8)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備 (設計基準拡張)										■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備 (設計基準拡張)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を有した対応手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可能</th> <th>必要時間内に 使用可能なか</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能なか</th> <th>備考</th> </tr> </thead> </table>										重大事故等対処設備を有した対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策						対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	既設 可能	必要時間内に 使用可能なか	対応可能な 人数で 使用可能なか	備考	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応 番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可能</th> <th>必要時間内に 使用可能なか</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能なか</th> <th>備考</th> </tr> </thead> </table>										重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策						対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	既設 可能	必要時間内に 使用可能なか	対応可能な 人数で 使用可能なか	備考																																																																																																																																																																																																																																																
重大事故等対処設備を有した対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	既設 可能	必要時間内に 使用可能なか	対応可能な 人数で 使用可能なか	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
対応 手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	既設 可能	必要時間内に 使用可能なか	対応可能な 人数で 使用可能なか	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1"> <tbody> <tr><td rowspan="20">機</td><td>水質浄化ポンプ(タイプ1)</td><td>既設</td><td rowspan="20">①②③④⑤⑥⑦</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td><td rowspan="20">-</td></tr> <tr><td>水質浄化ポンプ(タイプ2)</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ホース延長回収車</td><td>既設</td></tr> <tr><td>貯留槽</td><td>既設</td></tr> <tr><td>排水口</td><td>既設</td></tr> <tr><td>排水路</td><td>既設</td></tr> <tr><td>海水ポンプ車</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ホース・注水用ヘッド・接続口</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料代替水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器下置注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器頂置注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>燃料プールのスプレイ系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>燃料プールのスプレイ系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器排水系(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換器ユニット、ホース延長回収車、ホース・排熱用ヘッド・接続口等)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>大容量送水ポンプ(タイプ2)</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>ホース延長回収車</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>排水路</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>ホース</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>出湯人員対応台設置</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>										機	水質浄化ポンプ(タイプ1)	既設	①②③④⑤⑥⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	水質浄化ポンプ(タイプ2)	既設	ホース延長回収車	既設	貯留槽	既設	排水口	既設	排水路	既設	海水ポンプ車	既設	ホース・注水用ヘッド・接続口	既設	燃料補給設備	既設	燃料代替水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原子炉格納容器下置注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原子炉格納容器頂置注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プールのスプレイ系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プールのスプレイ系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	原子炉格納容器排水系(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換器ユニット、ホース延長回収車、ホース・排熱用ヘッド・接続口等)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大容量送水ポンプ(タイプ2)	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ホース延長回収車	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	排水路	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ホース	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	出湯人員対応台設置	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料補給設備	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<table border="1"> <tbody> <tr><td rowspan="14">水は 磨 り 削 り た ん た ん を</td><td>注水タンク</td><td>既設</td><td rowspan="14">①③⑤⑦</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td><td rowspan="14">-</td></tr> <tr><td>注水ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>充てんポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>格納容器再蒸発タンク</td><td>既設</td><td rowspan="14">①③⑤⑦⑧</td></tr> <tr><td>B-格納容器スプレイポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>A-高圧注入ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>可搬型大容量送水ポンプ車</td><td>新設</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車(送水車用)</td><td>新設</td></tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td><td>新設</td></tr> <tr><td>非常用取水設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>冷却除去ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>高圧注入ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>格納容器再蒸発タンクを水磨とした対応</td><td>-</td></tr> <tr><td>格納容器再蒸発タンク</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>										水は 磨 り 削 り た ん た ん を	注水タンク	既設	①③⑤⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	注水ポンプ	既設	充てんポンプ	既設	格納容器再蒸発タンク	既設	①③⑤⑦⑧	B-格納容器スプレイポンプ	既設	A-高圧注入ポンプ	既設	可搬型大容量送水ポンプ車	新設	ホース延長・回収車(送水車用)	新設	可搬型ホース・接続口	新設	非常用取水設備	既設	燃料補給設備	既設	冷却除去ポンプ	既設	高圧注入ポンプ	既設	格納容器スプレイポンプ	既設	格納容器再蒸発タンクを水磨とした対応	-	格納容器再蒸発タンク	-
機	水質浄化ポンプ(タイプ1)	既設	①②③④⑤⑥⑦	-	-	-	-	-	-		-	-												-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	水質浄化ポンプ(タイプ2)	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	ホース延長回収車	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	貯留槽	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	排水口	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	排水路	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	海水ポンプ車	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	ホース・注水用ヘッド・接続口	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	燃料補給設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	燃料代替水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																											
	原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	原子炉格納容器下置注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	原子炉格納容器頂置注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	燃料プール代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	燃料プールのスプレイ系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイノズル等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	燃料プールのスプレイ系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイノズル等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	原子炉格納容器排水系(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換器ユニット、ホース延長回収車、ホース・排熱用ヘッド・接続口等)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	大容量送水ポンプ(タイプ2)	既設																								-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
	ホース延長回収車	既設								-			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																								
排水路	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ホース	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
出湯人員対応台設置	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
燃料補給設備	既設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
水は 磨 り 削 り た ん た ん を	注水タンク	既設	①③⑤⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	注水ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	充てんポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	格納容器再蒸発タンク	既設												①③⑤⑦⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B-格納容器スプレイポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	A-高圧注入ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	可搬型大容量送水ポンプ車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	ホース延長・回収車(送水車用)	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	可搬型ホース・接続口	新設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	非常用取水設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	燃料補給設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	冷却除去ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	高圧注入ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	格納容器スプレイポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
格納容器再蒸発タンクを水磨とした対応	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
格納容器再蒸発タンク	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
※1：本条文【解釈】1 b)項を満足するための代替注水源（措置）																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (5/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				
	機器名称	既設新設	解説 対応番号	対応 手段	機器名称	既設 新設	所要時間	対応人数	備考
シラカセを確保しての対応	ほうろく水注入系貯蔵タンク	既設	①②③④	—	—	—	—	—	—
	ほうろく水注入系（ほうろく水注入系ポンプ）	既設			—	—	—	—	—
ポンプ（二）による取水（マンマ）の確保	汲水貯水槽（No.1）ホ1	新設	①②③④ ⑤⑥⑦⑧	汲水貯水タンク（No.1）ホ1 汲水貯水タンク（No.2）ホ1 大容量送水ポンプ（タイプ1） ホース延長回収車 ホース・送水用ヘッド・接続口 補助水系 配管・弁 管水貯蔵タンク 燃料補給設備	ろ過水タンク	既設	380分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照
	汲水貯水槽（No.2）ホ1	新設			純水タンク	既設			
	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設			送水タンク	既設			
	ホース延長回収車	既設			大容量送水ポンプ（タイプ1）	可設			
	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			ホース延長回収車	可設			
	補助水系 配管・弁	既設			ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			
	管水貯蔵タンク	既設			補助水系 配管・弁	既設			
	燃料補給設備	既設			ろ過水系 配管・弁	既設			
	—	—			給排水処理設備配管・弁	既設			
	—	—			管水貯蔵タンク	既設			
水貯蔵マンマの確保	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設	①②③④ ⑤⑥⑦⑧	耐震性貯水タンク 化学消防自動車 ホース 管水貯蔵タンク	耐震性貯水タンク	既設	45分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照
	ホース延長回収車	既設			化学消防自動車	可設			
	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			ホース	可設			
	補助水系 配管・弁	既設			管水貯蔵タンク	既設			
	管水貯蔵タンク	既設			—	—			
	管水貯蔵タンク	既設			—	—			
	取水口	既設			—	—			
	取水ポンプ	既設			—	—			
	取水ポンプ室	既設			—	—			
	燃料補給設備	既設			—	—			

※1：本文【解説】1 b)項を満足するための代替水源（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(5)

審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (5/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

対応手段	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				
	機器名称	既設新設	解説 対応番号	対応 手段	機器名称	既設 新設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
可設型大型送水ポンプによる取水（マンマ）の確保	燃料取扱用水ビット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	可設型大型送水ポンプを水源とした燃料取扱用水ビットによる取水	取水槽	既設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	可設型大型送水ポンプ車	既設			ろ過水タンク	既設			
	ホース延長・回収車（送水車用）	既設			2次系純水タンク	既設			
	可設型ホース・接続口	既設			燃料取扱用水ビット	既設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設			可設型大型送水ポンプ車	可設			
	非常用取水設備	既設			可設型ホース・接続口	可設			
	燃料補給設備	既設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設			
	—	—			非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設			
	—	—			給水処理設備 配管・弁	既設			
	—	—			燃料補給設備	既設			
可設型大型送水ポンプを水源とした燃料取扱用水ビットによる取水	代替給水ビット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	可設型大型送水ポンプを水源とした燃料取扱用水ビットによる取水	代替給水ビット	既設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照
	燃料取扱用水ビット	既設			燃料取扱用水ビット	既設			
	可設型大型送水ポンプ車	既設			可設型大型送水ポンプ車	可設			
	可設型ホース・接続口	既設			可設型ホース・接続口	可設			
	ホース延長・回収車（送水車用）	既設			ホース延長・回収車（送水車用）	可設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設			
	燃料補給設備	既設			燃料補給設備	既設			
	—	—			—	—			
	—	—			—	—			
	—	—			—	—			
又はポンプを水源とした燃料取扱用水ビットによる取水	ろ過水タンク	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪	又はポンプを水源とした燃料取扱用水ビットによる取水	ろ過水タンク	既設	30分	2名	自主対策とする理由は本文参照
	燃料取扱用水ビット	既設			燃料取扱用水ビット	既設			
	電動機駆動消火ポンプ	既設			電動機駆動消火ポンプ	既設			
	ディーゼル駆動消火ポンプ	既設			ディーゼル駆動消火ポンプ	既設			
	消防ホース	既設			消防ホース	可設			
	大気防護設備（消火栓設備）配管・弁	既設			大気防護設備（消火栓設備）配管・弁	既設			
	給水処理設備 配管・弁	既設			給水処理設備 配管・弁	既設			
	—	—			—	—			

相違理由

【女川】  
 設備の相違による  
 対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の  
 反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要項に適合するための手段		自主対策							
対応手段	機器名称	現設 新設	類別 対応番号	対応手段	機器名称	現設 新設	所要時間	対応人数	備考
女川発電所3号炉	大飯発電所ポンプ（ダイブ量）	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	ボース冠形冷却機	新設							
	ボース	新設							
	減圧貯水罐 (No. 1) 等1	新設							
	減圧貯水罐 (No. 2) 等1	新設							
	貯留槽	現設							
	取水口	現設							
	燃料補給設備	現設							
	燃料補給設備	現設							
	燃料補給設備	現設							
女川発電所4号炉	大飯発電所ポンプ（ダイブ量）	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	ボース冠形冷却機	新設							
	ボース	新設							
	減圧貯水罐 (No. 1) 等1	新設							
	減圧貯水罐 (No. 2) 等1	新設							
	貯留槽	現設							
	取水口	現設							
	燃料補給設備	現設							
	燃料補給設備	現設							
	燃料補給設備	現設							
女川発電所5号炉	減圧貯水タンク	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	サブプレッシャポンプ	現設							
	減圧貯水タンク（減圧貯水タンク）	現設							
	減圧貯水タンク（減圧貯水タンク）	現設							
女川発電所6号炉	大飯発電所ポンプ（ダイブ量）	新設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	ボース冠形冷却機	新設							
	ボース	新設							
	減圧貯水罐 (No. 1) 等1	新設							
	減圧貯水罐 (No. 2) 等1	新設							
	貯留槽	現設							
	取水口	現設							
	燃料補給設備	現設							
	燃料補給設備	現設							
	燃料補給設備	現設							
女川発電所7号炉	減圧貯水タンク	現設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	-	-	-	-	-
	サブプレッシャポンプ	現設							
	減圧貯水タンク（減圧貯水タンク）	現設							
	減圧貯水タンク（減圧貯水タンク）	現設							

※1：本表【解釈】1)項目を満足するための代替減水源（措置）

泊発電所3号炉

添付資料1.13.1-(6)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要項に適合するための手段		自主対策							
対応手段	機器名称	現設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	現設 新設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
燃料取扱装置用 水ピットへの補給	1次系純水タンク	現設	-	-	1次系純水タンク	現設	使用済燃料ピット 浄化ライン経 由：55分	2名	自主対策とする 理由は本文 参照
	燃料取扱装置用 水ピット	現設			燃料取扱装置用 水ピット	現設			
	1次系補給水ポンプ	現設			1次系補給水ポンプ	現設			
	加圧器速がしタンク	現設			加圧器速がしタンク	現設			
	格納容器冷却材ドレンポンプ	現設			格納容器冷却材ドレンポンプ	現設			
	1次冷却設備 配管・弁	現設			1次冷却設備 配管・弁	現設			
	化学体積制御設備 配管・弁	現設			化学体積制御設備 配管・弁	現設			
	給水処理設備 配管・弁	現設			給水処理設備 配管・弁	現設			
	庄体廃棄物処理設備 配管・弁	現設			庄体廃棄物処理設備 配管・弁	現設			
	燃料取扱装置及び貯蔵設備 配管・弁	現設			燃料取扱装置及び貯蔵設備 配管・弁	現設			
	燃料取扱装置用 水ピット	現設			燃料取扱装置用 水ピット	現設			
	2次系純水タンク	現設			2次系純水タンク	現設			
	2次系補給水ポンプ	現設			2次系補給水ポンプ	現設			
	使用済燃料ピット	現設			使用済燃料ピット	現設			
	使用済燃料ピットポンプ	現設			使用済燃料ピットポンプ	現設			
給水処理設備 配管・弁	現設	給水処理設備 配管・弁	現設						
燃料取扱装置及び貯蔵設備 配管・弁	現設	燃料取扱装置及び貯蔵設備 配管・弁	現設						
燃料取扱装置用 水ピットへの補給	1次系純水タンク	現設	-	-	1次系純水タンク	現設	30分	2名	自主対策とする 理由は本文 参照
	ほう酸タンク	現設			ほう酸タンク	現設			
	燃料取扱装置用 水ピット	現設			燃料取扱装置用 水ピット	現設			
	1次系補給水ポンプ	現設			1次系補給水ポンプ	現設			
	ほう酸ポンプ	現設			ほう酸ポンプ	現設			
	化学体積制御設備 配管・弁	現設			化学体積制御設備 配管・弁	現設			
	非常用炉心冷却設備 配管	現設			非常用炉心冷却設備 配管	現設			
	給水処理設備 配管・弁	現設			給水処理設備 配管・弁	現設			

【女川】  
設備の相違による  
対応手段の相違

【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）

・大飯の比較対象  
となる添付資料  
1.13.2は後段に  
掲載している。  
・泊は女川の審査  
実績を踏まえた  
構成としている  
ため、本資料の  
比較対象は女川  
としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																
	添付資料1.13. 1-(7)																																																																																																																		
	審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (7/8) ■ : 重大事故等対処設備    ■ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)																																																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可設</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">可搬型大型送水ポンプ車による補助給水とピットへの給水</td> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">可搬型大型送水ポンプ車とした補助給水ピットへの給水</td> <td>原水槽</td> <td>既設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">200分</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">7名</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>新設</td></tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td><td>新設</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>新設</td></tr> <tr><td>非常用防火冷却設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用取水設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">可搬型大型送水ポンプ車による補助給水</td> <td> </td> <td> </td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">可搬型大型送水ポンプ車とした補助給水ピットへの給水</td> <td>代替給水ピット</td> <td>既設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">115分</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">7名</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td><td>既設</td></tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td><td>可設</td></tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td><td>可設</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>可設</td></tr> <tr><td>非常用防火冷却設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">2次系純水タンク</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">補助給水ピットへの給水</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">25分</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">2名</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次系補給水ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">ろ過水タンク</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">原水槽からの給水</td> <td>原水槽</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">180分</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">3名</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>ろ過水タンク</td><td>既設</td></tr> <tr><td>可搬型ホース</td><td>可設</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車 (送水車用)</td><td>可設</td></tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> </tbody> </table>		重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水とピットへの給水	補助給水ピット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可搬型大型送水ポンプ車とした補助給水ピットへの給水	原水槽	既設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照	可搬型大型送水ポンプ車	新設	可搬型ホース・接続口	新設	ホース延長・回収車 (送水車用)	新設	非常用防火冷却設備 配管・弁	既設	非常用取水設備	既設	燃料補給設備	既設							可搬型大型送水ポンプ車による補助給水			可搬型大型送水ポンプ車とした補助給水ピットへの給水	代替給水ピット	既設	115分	7名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ピット	既設	可搬型大型送水ポンプ車	可設	可搬型ホース・接続口	可設	ホース延長・回収車 (送水車用)	可設	非常用防火冷却設備 配管・弁	既設	燃料補給設備	既設							2次系純水タンク	2次系純水タンク	既設	補助給水ピットへの給水	2次系純水タンク	既設	25分	2名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ピット	既設	2次系補給水ポンプ	既設	給水処理設備 配管・弁	既設	2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁	既設			ろ過水タンク	ろ過水タンク	既設	原水槽からの給水	原水槽	既設	180分	3名	自主対策とする理由は本文参照	2次系純水タンク	既設	ろ過水タンク	既設	可搬型ホース	可設	ホース延長・回収車 (送水車用)	可設	給水処理設備 配管・弁	既設	
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																															
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																										
可搬型大型送水ポンプ車による補助給水とピットへの給水	補助給水ピット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可搬型大型送水ポンプ車とした補助給水ピットへの給水	原水槽	既設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																										
	可搬型大型送水ポンプ車	新設																																																																																																																	
	可搬型ホース・接続口	新設																																																																																																																	
	ホース延長・回収車 (送水車用)	新設																																																																																																																	
	非常用防火冷却設備 配管・弁	既設																																																																																																																	
	非常用取水設備	既設																																																																																																																	
	燃料補給設備	既設																																																																																																																	
可搬型大型送水ポンプ車による補助給水			可搬型大型送水ポンプ車とした補助給水ピットへの給水	代替給水ピット	既設	115分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																											
	補助給水ピット	既設																																																																																																																	
	可搬型大型送水ポンプ車	可設																																																																																																																	
	可搬型ホース・接続口	可設																																																																																																																	
	ホース延長・回収車 (送水車用)	可設																																																																																																																	
	非常用防火冷却設備 配管・弁	既設																																																																																																																	
	燃料補給設備	既設																																																																																																																	
2次系純水タンク	2次系純水タンク	既設	補助給水ピットへの給水	2次系純水タンク	既設	25分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																											
	補助給水ピット	既設																																																																																																																	
	2次系補給水ポンプ	既設																																																																																																																	
	給水処理設備 配管・弁	既設																																																																																																																	
	2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁	既設																																																																																																																	
ろ過水タンク	ろ過水タンク	既設	原水槽からの給水	原水槽	既設	180分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																											
	2次系純水タンク	既設																																																																																																																	
	ろ過水タンク	既設																																																																																																																	
	可搬型ホース	可設																																																																																																																	
	ホース延長・回収車 (送水車用)	可設																																																																																																																	
	給水処理設備 配管・弁	既設																																																																																																																	
	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																											
	添付資料1.13. 1-(8)																																																																																												
	審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (8/8) ■ : 重大事故等対処設備    ■ : 重大事故等対処設備（設計基準拡張）																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応 番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">燃料取扱用本ビット (原子炉容器から補助給水ビットへの切替え)</td> <td>燃料取扱用本ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">燃料取扱用本ビット 燃料取扱用本ビットから1次系純水タンクへの切替え 燃料取扱用本タンク及び</td> <td>燃料取扱用本ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">10分</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">1名</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>補助給水ビット</td><td>既設</td></tr> <tr><td>代替格納容器スプレイポンプ</td><td>新設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>原子炉容器</td><td>既設</td></tr> <tr><td>1次冷却設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>可搬型代替交流電源設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>代替所内電気設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>代替所内電気設備</td><td>既設</td></tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">燃料取扱用本ビット (原子炉容器から補助給水ビットへの切替え)</td> <td>燃料取扱用本ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">電機補助給水ポンプ 水又はタンクの水をポンプで取り出し、原子炉容器に供給する</td> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">40分</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">2名</td> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>補助給水ビット</td><td>既設</td></tr> <tr><td>代替格納容器スプレイポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>スプレイノズル</td><td>既設</td></tr> <tr><td>スプレイリング</td><td>既設</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>可搬型代替交流電源設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>代替所内電気設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>代替所内電気設備</td><td>既設</td></tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	既設 新設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	燃料取扱用本ビット (原子炉容器から補助給水ビットへの切替え)	燃料取扱用本ビット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取扱用本ビット 燃料取扱用本ビットから1次系純水タンクへの切替え 燃料取扱用本タンク及び	燃料取扱用本ビット	既設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ビット	既設	代替格納容器スプレイポンプ	新設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設	原子炉容器	既設	1次冷却設備	既設	非常用交流電源設備	既設	常設代替交流電源設備	既設	可搬型代替交流電源設備	既設	代替所内電気設備	既設	代替所内電気設備	既設	燃料取扱用本ビット (原子炉容器から補助給水ビットへの切替え)	燃料取扱用本ビット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	電機補助給水ポンプ 水又はタンクの水をポンプで取り出し、原子炉容器に供給する	補助給水ビット	既設	40分	2名	自主対策とする理由は本文参照	補助給水ビット	既設	代替格納容器スプレイポンプ	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設	スプレイノズル	既設	スプレイリング	既設	原子炉格納容器	既設	非常用交流電源設備	既設	常設代替交流電源設備	既設	可搬型代替交流電源設備	既設	代替所内電気設備	既設	代替所内電気設備	既設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。</li> <li>・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																									
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	既設 新設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																				
燃料取扱用本ビット (原子炉容器から補助給水ビットへの切替え)	燃料取扱用本ビット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	燃料取扱用本ビット 燃料取扱用本ビットから1次系純水タンクへの切替え 燃料取扱用本タンク及び	燃料取扱用本ビット	既設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																				
	補助給水ビット	既設																																																																																											
	代替格納容器スプレイポンプ	新設																																																																																											
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																											
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設																																																																																											
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設																																																																																											
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設																																																																																											
	原子炉容器	既設																																																																																											
	1次冷却設備	既設																																																																																											
	非常用交流電源設備	既設																																																																																											
	常設代替交流電源設備	既設																																																																																											
	可搬型代替交流電源設備	既設																																																																																											
	代替所内電気設備	既設																																																																																											
	代替所内電気設備	既設																																																																																											
燃料取扱用本ビット (原子炉容器から補助給水ビットへの切替え)	燃料取扱用本ビット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	電機補助給水ポンプ 水又はタンクの水をポンプで取り出し、原子炉容器に供給する	補助給水ビット	既設	40分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																				
	補助給水ビット	既設																																																																																											
	代替格納容器スプレイポンプ	既設																																																																																											
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																											
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設																																																																																											
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設																																																																																											
	スプレイノズル	既設																																																																																											
	スプレイリング	既設																																																																																											
	原子炉格納容器	既設																																																																																											
	非常用交流電源設備	既設																																																																																											
	常設代替交流電源設備	既設																																																																																											
	可搬型代替交流電源設備	既設																																																																																											
	代替所内電気設備	既設																																																																																											
	代替所内電気設備	既設																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

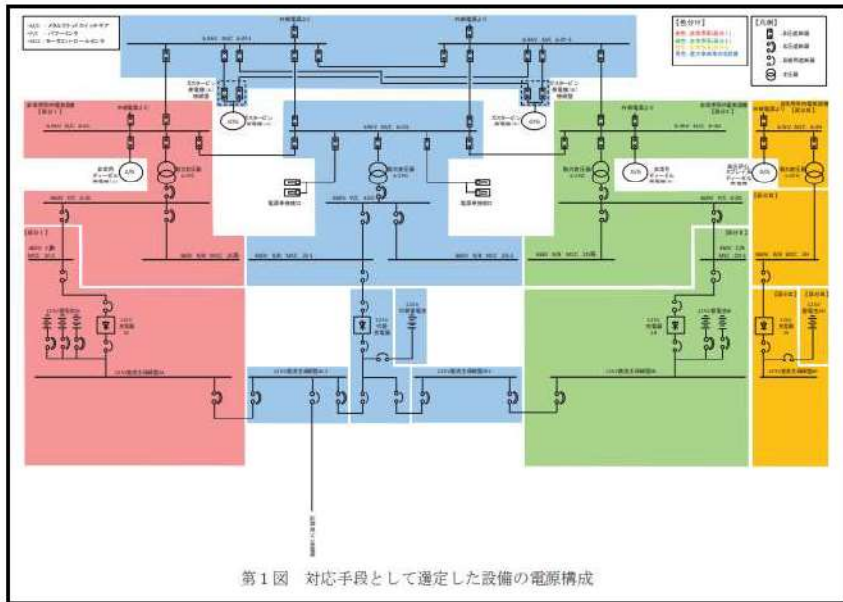
1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

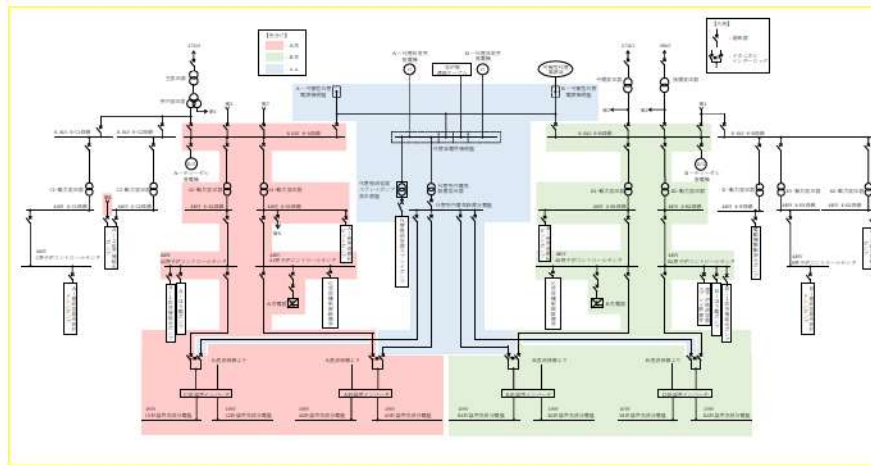
相違理由

【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】

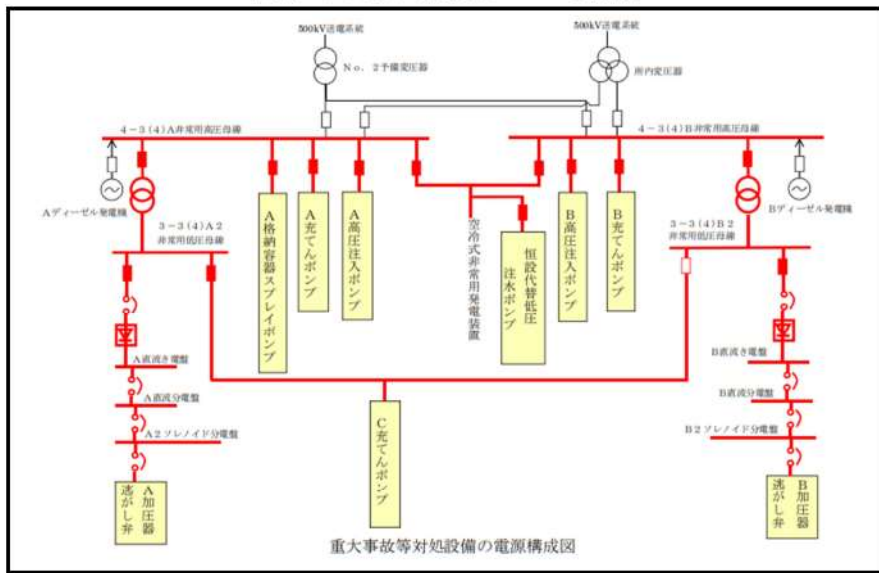


添付資料1.13.2-(1)

対応手段として選定した設備の電源構成図



【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】



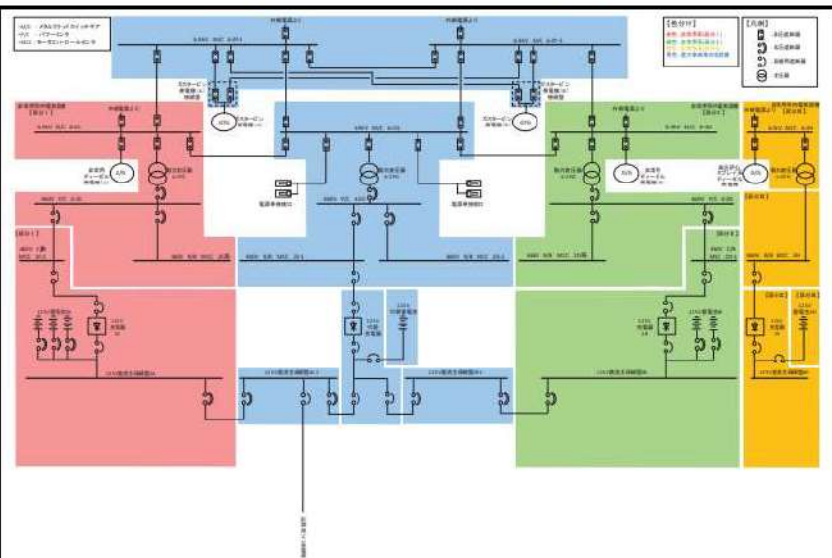
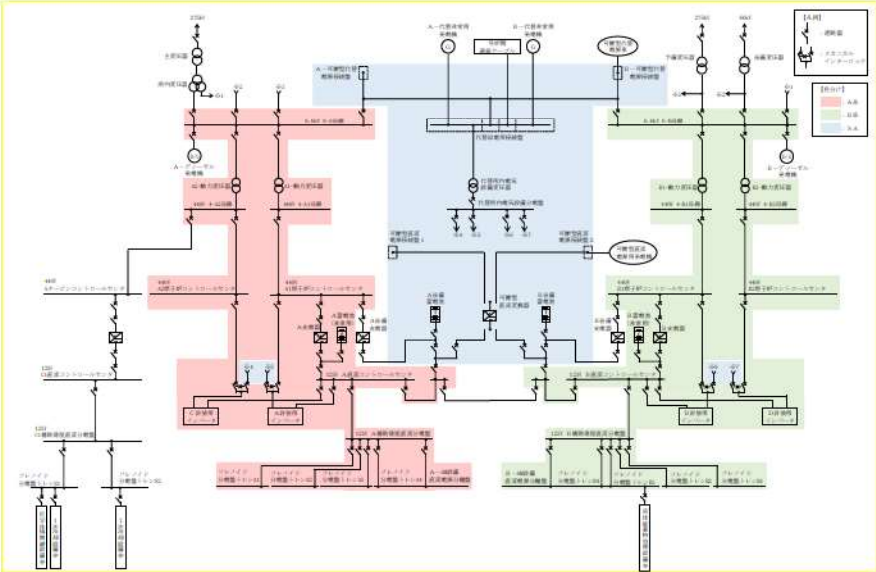
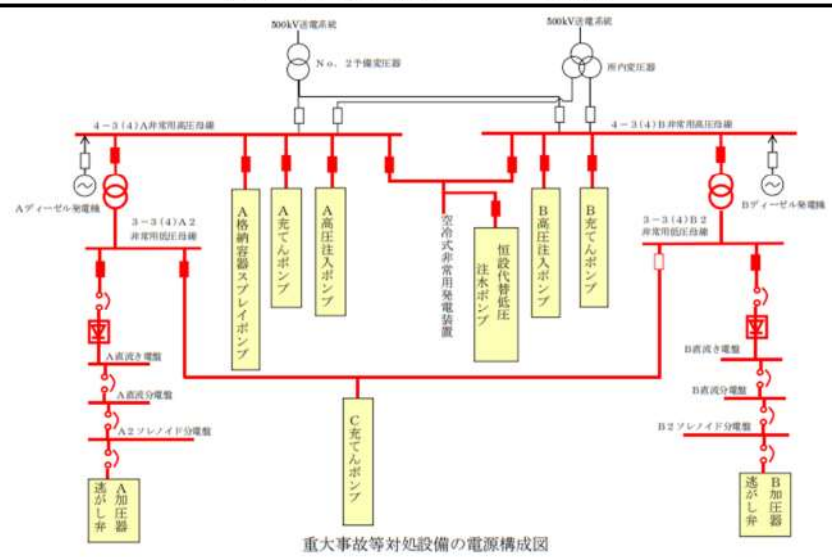
【女川】  
設備の相違による電源構成の相違

【大飯】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）

- ・泊は交流と直流で分割
- ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載



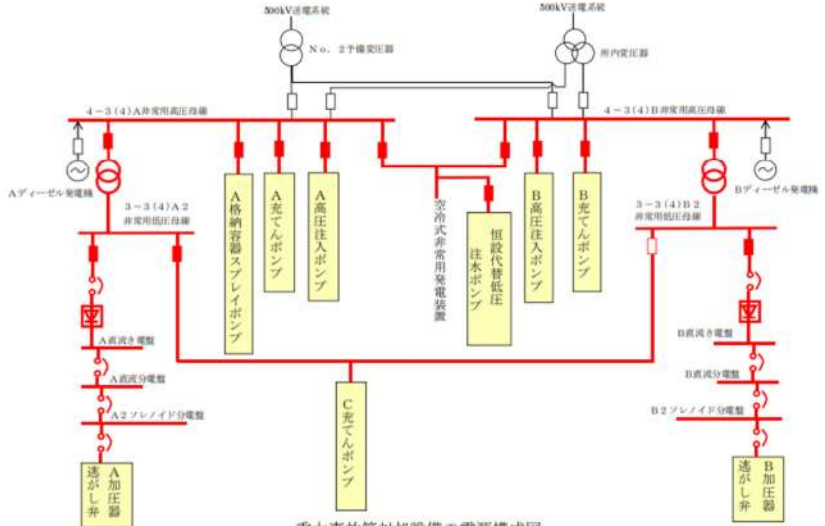
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.2-(2)</p>  <p>第2図 電源構成図（直流電源）</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は交流と直流で分割</li> <li>・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</li> </ul>
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p>		



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.1</p>  <p style="text-align: center;">重大事故等対処設備の電源構成図</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: yellow;">比較表 p 1.13.538 から p 1.13.539 にて比較</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


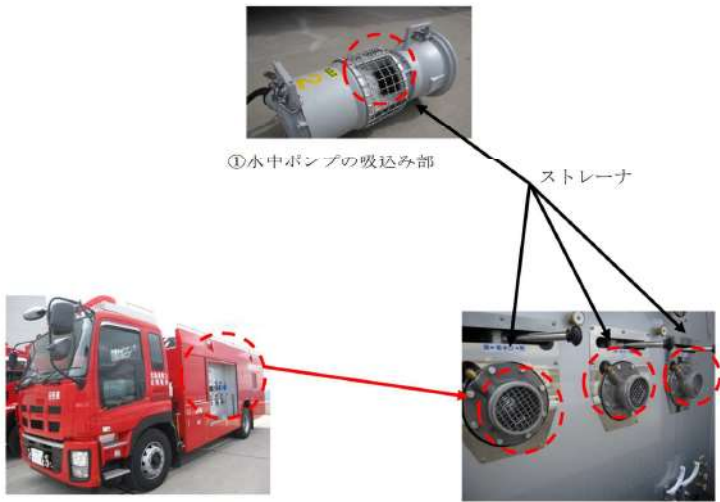
1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.13.3						添付資料1.13.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						記載表現の相違 （女川審査実績の 反映） ・多様性拡張設備 から自主対策設 備に変更。 ・設備名称のため 中央及び現場手 動操作の記載を 削除  設備の相違(相違 理由①)
機器名称	常設/ 可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設/ 可搬	耐震性	容量	揚程	台数	
No. 3 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m <sup>3</sup>	—	1基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup> （1基当たり）	—	2基	
電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約 140m <sup>3</sup> /h	約 950m	2台	タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約115m <sup>3</sup> /h	約900m	1台	
タービン動補助給水 ポンプ	常設	Sクラス	約 250m <sup>3</sup> /h	約 950m	1台	電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約90m <sup>3</sup> /h（1台当たり）	約900m	2台	
A、B 2次系純水タンク	常設	Cクラス	8,500m <sup>3</sup>	—	2基	代替給水ビット	常設	Cクラス	約473m <sup>3</sup>	—	1基	
純水ポンプ	常設	Cクラス	約 220m <sup>3</sup> /h	約 140m	3台	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m <sup>3</sup> /h（1台当たり）	吐出圧力 約1.3MPa〔gage〕	4台+予備 2台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約 600m <sup>3</sup>	—	1基	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m <sup>3</sup> /基	—	2基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約 3,300m <sup>3</sup> /h	約 620m	1台	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup> （1基当たり）	—	2基	
No. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m <sup>3</sup>	—	1基	燃料取替用水ビット	常設	Sクラス	約2,000m <sup>3</sup>	—	1基	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約 1,200m <sup>3</sup> /h	83m	1台	2次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	265m <sup>3</sup> /h	92m	2台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約 1,200m <sup>3</sup> /h	55m	1台	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m <sup>3</sup>	—	1基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m <sup>3</sup>	—	2基	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m <sup>3</sup> /h	95m	2台	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m <sup>3</sup> /h	80m	2台	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m <sup>3</sup> （1基当たり）	—	2基	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約 100m <sup>3</sup>	—	2基	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m <sup>3</sup> /h（1台当たり）	72m	2台	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約 17m <sup>3</sup> /h	80m	2台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m <sup>3</sup> /h	138m	1台	
A、B 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 45m <sup>3</sup> /h	1,770m	2台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m <sup>3</sup> /h	133m	1台	
C 充てんポンプ	常設	Sクラス	約 14m <sup>3</sup> /h	—	1台	使用済燃料ビットポンプ	常設	Bクラス	約550m <sup>3</sup> /h（1台当たり）	75m	2台	
加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m <sup>3</sup>	—	1基	加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	約37m <sup>3</sup>	—	1基	
格納容器冷却材 ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m <sup>3</sup> /h	90m	2台	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m <sup>3</sup> /h	95m	2台	
使用済燃料ビット ポンプ	常設	Bクラス	約 546m <sup>3</sup> /h	60m	2台							
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基							
格納容器再循環サンプ スクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基							
A 余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約 1,020m <sup>3</sup> /h	約 91m	1台							
ポンプ車	可搬	—	120m <sup>3</sup> /h	85m	1台							





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

<p>大飯発電所3 / 4号炉</p> <p>添付資料 1.13.4</p> <p>海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、炉心冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を送水車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、大容量ポンプを使用して海水を原子炉補機冷却水系に通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、送水ポンプ及び送水ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> 	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.4</p> <p>海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、発電用原子炉の冷却、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を可搬型大型送水ポンプ車で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、可搬型大型送水ポンプ車を使用して海水を原子炉補機冷却系統へ通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホースには影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> 	<p>相違理由</p> <p>記載表現の相違              (女川審査実績の反映)</p>
---	---	---

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.5</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</p> <p>【水源切替操作】</p> <p>1. 操作概要 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替準備のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉建屋T.P. 10. 3m, T.P. 24. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 40分 操作時間（訓練実績等） : 21分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="1173 970 1485 1209" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (原子炉建屋 T.P. 24. 8m)</p> </div> <div data-bbox="1547 970 1859 1209" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (原子炉建屋 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>設備の相違(相違理由⑨)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替え操作は現場作業を伴うため、作業の成立性について記載している。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた復水ビットへの補給</p> <p>【No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      No. 3淡水タンクを水源とした、復水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名/ユニット                      操作時間(想定): 15分                      操作時間(実績): 8分(現場移動時間を含む。)</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.6</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      2次系純水タンクを水源とした、2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉建屋T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名                      操作時間(想定) : 25分                      操作時間(訓練実績等): 12分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、各水源から復水ビットへの補給手段をまとめて記載している。</li> <li>・泊は、各水源から補助給水ビットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様)</li> </ul> <p>設備の相違(相違理由①)</p> <p>記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業場所の追加</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。(女川と同様)</li> <li>・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。(伊方、玄海と同様)</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="322 507 797 826" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="392 853 728 909">復水ビット補給弁開操作                  (原子炉周辺建屋 E.L.+26.0m)</p>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1346 507 1686 762" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1411 774 1624 837">補助給水ビット供給                  ライン系統構成                  (原子炉建屋 T.P. 24.8m)</p>	<p>記載表現の相違                  (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス性を移動経路と記載する。</li> <li>・建屋内照明消灯時でもアクセス可能であることを記載。</li> <li>・アクセスルート上に支障となる設備がないことを記載。</li> <li>・防護具は必要に応じて着用する記載としている。</li> <li>・連絡手段の記載充実。</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(2)</p> <p>【No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      No. 2 淡水タンクから復水ピットへ補給するため、消火栓から復水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：45分                      作業時間（実績）：35分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <table border="1" data-bbox="309 786 846 914"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 933 553 1061"> <p>① 消火栓接続口 (常時接続)</p> </div> <div data-bbox="602 933 768 1061"> <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p> </div> <div data-bbox="385 1098 553 1225"> <p>③ 可搬型ホース (40A) 接続口</p> </div> <div data-bbox="602 1098 768 1225"> <p>④ 可搬型ホース (40A) 接続後</p> </div> <div data-bbox="385 1270 553 1398"> <p>⑤ 可搬型ホース敷設</p> </div> <div data-bbox="602 1270 768 1398"> <p>⑥ 復水ピット入口扉</p> </div> </div>	号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	<p style="font-size: 24px; font-weight: bold; color: black;">比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由③）</p>
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数													
3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													
4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        原水槽水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。        原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P. 10.3m        原子炉建屋T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等） : 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることからアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="436 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1137 172 1899 268" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～ T.P.10m 東側接続口</td> <td>約 1,000m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 20本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1393 331 1644 517" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設              (屋外 T.P.10, 3m)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1209 603 1464 794" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1572 603 1827 794" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1209 874 1464 1066" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置                      原水槽への吸管挿入                      (屋外 T.P.10, 3m)</p> </div> <div data-bbox="1572 874 1827 1066" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車                      周辺のホース敷設                      (屋外 T.P.10, 3m)</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～ T.P.10m 東側接続口	約 1,000m×1系統	150A	約 20本×1系統	<p>設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～ T.P.10m 東側接続口	約 1,000m×1系統	150A	約 20本×1系統							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要          原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所          原子炉建屋T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間          必要要員数 : 1名          操作時間(想定) : 40分          操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性          移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。          作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。          操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。          操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。          連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>原水槽から補助給水ビットへの補給            系統構成            (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="436 750 689 805" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要        2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 3名        作業時間(想定) : 180分        作業時間(訓練実績等) : 135分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備(携帯型)、衛星電話設備(携帯型)を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクからの補給(屋外T.P. 10.3m) (作業風景は類似作業)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクからの補給(屋外T.P. 10.3m) (作業風景は類似作業)</p>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p style="text-align: center;">【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        代替給水ピット水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P.33.1m        原子炉建屋T.P.33.1m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 145分        作業時間（訓練実績等） : 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～ T.P.33m 西側接続口</td> <td>約 200m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 4本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>ホース延長・回収車(送水車用)による 可搬型ホース敷設 (屋外 T.P. 33.1m)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース (150 A) 接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース (150 A) 接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 (屋外 T.P. 33.1m) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 (屋外 T.P. 33.1m)</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～ T.P.33m 西側接続口	約 200m×1系統	150 A	約 4本×1系統	<p>設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～ T.P.33m 西側接続口	約 200m×1系統	150 A	約 4本×1系統							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要                  代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  原子炉建屋T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間(想定) : 40分                  操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。                  連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 949 1671 1190" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから                  補助給水ピットへの補給系統構成                  (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(3)</p> <p>【海水を用いた復水ビットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      海水を復水ビットに補給するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：5名/ユニット                      作業時間（想定）：3.4時間                      作業時間（実績）：3.4時間以内（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      なお、建屋への入口扉は2箇所からアクセス可能であり、これが両方とも使用できない場合でも、十分に距離のある別の入口扉からアクセス可能である。                      また、復水ビット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。</p> <p>作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：送水車の水中ポンプの設置要領は、他の水中ポンプ設置と同等であり、作業は実施可能である。                      また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要                      海水を補助給水ビットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。海水取水箇所へ水中ポンプを設置し、可搬型大型送水ポンプ車へ接続する。</p> <p>2. 作業場所                      屋外T.P.33.1m、T.P.10.3m                      原子炉建屋T.P.33.1m、T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：6名                      作業時間（想定）：200分                      作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                      移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。                      屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。                      また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。                      海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違                      ・大飯は添付資料1.5.6の中で水中ポンプ設置の記載をしている。                      泊は各添付資料にて記載する。                      記載内容は同様である。                      ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>運用の相違                      ・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違                      ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>設備の相違                      ・泊は結合金具式である。（女川同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉				相違理由								
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	可搬型ホース敷設箇所												
3号炉	海水ポンプ室前へ復水ビット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約48本	<table border="1"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P.10m 東側接続口</td> <td>約 800m × 1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 16 本 × 1 系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P.33m 西側接続口</td> <td>約 1,000m × 1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 20 本 × 1 系統</td> </tr> </tbody> </table>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P.10m 東側接続口	約 800m × 1 系統	150 A	約 16 本 × 1 系統	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P.33m 西側接続口	約 1,000m × 1 系統	150 A	約 20 本 × 1 系統
			敷設ルート			敷設長さ	ホース口径	本数									
			海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P.10m 東側接続口			約 800m × 1 系統	150 A	約 16 本 × 1 系統									
	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P.33m 西側接続口	約 1,000m × 1 系統	150 A	約 20 本 × 1 系統													
	150mm																
	200mm																
	吉見橋付近へ復水ビット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約47本													
			150mm														
			200mm														
	放水路ビット～復水ビット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約39本													
			150mm														
			200mm														
放水路ビット～復水ビット (D/G室前経由)	約300m	100mm	約17本														
		150mm															
		200mm															
4号炉	海水ポンプ室前へ復水ビット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約43本													
			150mm														
			200mm														
	吉見橋付近へ復水ビット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約42本													
			150mm														
			200mm														
	放水路ビット～復水ビット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約37本													
			150mm														
			200mm														
	放水路ビット～復水ビット (D/G室前経由)	約700m	100mm	約25本													
			150mm														
			200mm														



① 送水車外観



② 可搬型ホース接続（接続前）



③ 可搬型ホース接続（接続後）



④ 復水ビット入口扉



⑤ 可搬型ホース～復水ビット

②、③の写真はイメージ



ホース延長・回収車（送水車用）による  
可搬型ホース敷設  
(屋外 T.P. 10.3m)



ホース延長・回収車（送水車用）による  
可搬型ホース敷設  
(屋外 T.P. 33.1m)



可搬型ホース（150A）接続前



可搬型ホース（150A）接続後




可搬型大型送水ポンプ車の設置  
ポンプ車周辺のホース敷設  
(屋外 T.P. 10.3m)



海水取水箇所への水中ポンプ設置  
(屋外 T.P. 10.3m)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要                  海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  原子炉建屋T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間(想定) : 40分                  操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。                  連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>海から補助給水ビットへの補給                      系統構成                      (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>運用の相違                  ・泊は可搬型ホースを給水ラインに接続後, 系統構成を実施する必要がある。                  (伊カ3号炉同様)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.6</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ビットから代替水源への水源切替</p> <p>【燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要                      燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：90分                      作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ ディスタンスピース取替え （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ ベンディングホース接続 （原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m）</p> </div> </div>	<p style="font-size: 24px; font-weight: bold; color: black;">比較対象なし</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">大飯発電所3/4号炉</p> <p style="text-align: right;">添付資料1.13.10</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え                      (原子炉容器への注水・原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（炉心注水））】</p> <p>1. 操作概要                      炉心注水のため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      [恒設代替低圧注水ポンプの水源とする場合]                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）                      [充てんポンプの水源とする場合]                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：26分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)      ② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え                      (原子炉容器への注水・原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                      燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.14.5m                      原子炉建屋T.P.17.8m、T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      (1) 原子炉容器への注水時                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      (2) 原子炉格納容器内へのスプレイ時                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：23分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット                      水源切替系統構成                      (原子炉建屋T.P.17.8m)</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。</li> <li>泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替（系統構成（格納容器スプレイ））】</p> <p>1. 操作概要                      格納容器スプレイのため、燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ビット水源切替系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ビット水源切替系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯は、炉心注入が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。</li> <li>泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等













大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.7</p> <p>復水ビットから燃料取替用水ビット間のディスタンスピースの必要性及び取替え作業の確実性について</p> <p>復水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるためディスタンスピースによる隔離を選択した。</p> <p><b>【ディスタンスピースの必要性】</b>                  ○復水ビットと燃料取替用水ビットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置することにより、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p><b>【ディスタンスピース取替え作業の確実性】</b>                  ○ディスタンスピース取替え作業は、一般的なガスケット取替え作業と同様であるため、適切な工具を使用すれば、容易かつ確実に作業が可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、ダブルチェックにより確実に実施可能である。                  ○さらに、訓練用モックアップ（新設）又は実機によるディスタンスピース取替え作業及び系統構成作業について、定期的な訓練を実施し、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. ディスタンスピースの必要性</p> <p>復水ビット（純水内包）と燃料取替用水ビット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として信頼性の高いディスタンスピースを設置した。</p> <p>バルブによる隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、ディスタンスピースは物理的障壁として信頼性が高く、2次側への放射性物質の混入による汚染拡大を確実に防止可能であり、通常時の管理区域の区分設定を厳格に管理できる。</p> <p>PWRプラントには、設計思想として、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する配管は設けない。ただし、一部機器の洗浄ラインやポンプのシール水ラインについては、放射性物質を含む系統と接続しているものの、非放射性側の系統圧力を高くすることで、放射性物質の漏えい防止を図っている。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.11</p> <p>補助給水ビットから燃料取替用水ビット間の接続配管について</p> <p>補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため直列に2個設置した隔離弁による隔離を選択した。</p> <p><b>【補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離】</b>                  補助給水ビットと燃料取替用水ビットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として直列に2個設置した隔離弁により、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p><b>【切替えの容易性】</b>                  運転員が実施する弁操作による系統構成作業は、通常時に行う弁操作と同様であるため、容易かつ確実に実施可能である。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、確実に実施可能である。                  さらに、系統構成作業について、定期的な訓練を実施するとともに、通常時に行う弁操作経験を積むことにより、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める。</p> <p>1. 補助給水ビットと燃料取替用水ビットとの隔離</p> <p>補助給水ビット（純水内包）と燃料取替用水ビット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として隔離弁を直列に2個設置した。</p> <p>弁による隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、直列に2個設置した隔離弁で隔離し、通常時閉鎖操作をしないことから異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと及び施設管理をすることで誤操作を防止できることから、ディスタンスピース及びスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できると考えている。</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。（直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<div data-bbox="465 762 712 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(1) 放射性物質を含む配管と含まない配管との接続に対する設計上の考慮</p> <p>泊3号炉の既設設備における放射性物質を含む系統と放射性物質を含まない系統が接続している場合の隔離は、以下の通りとしている。</p> <p>①放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統に導く配管</p> <p>放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管については、放射性物質が放射性物質を含まない系統に逆流することを防止するため、逆止弁を設置し隔離する設計としていることから、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）第三十条について満足している。</p> <table border="1" data-bbox="1227 432 1848 778"> <tr> <td>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 (逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。</td> <td>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈 第30条 (逆止め弁) 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。</td> </tr> </table> <p>既設の系統における同様な例との比較を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1111 879 1966 1102"> <thead> <tr> <th></th> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>逆流防止の系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">既設の例*</td> <td>蓄圧タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統（窒素ガス）</td> <td>窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用</td> <td>4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁および空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク</td> <td>原子炉補給水系統（1次系純水）</td> <td>加圧器逃がしタンク減圧用</td> <td>0.7MPa/170℃</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td>体積制御タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統等（水素ガス）</td> <td>水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用</td> <td>1.4MPa/65℃</td> <td>空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>今回設置</td> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0.5MPa/95℃</td> <td>逆止弁 補助給水ピット側 逆止弁および手動弁（1個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：他にも、タンク等へに補給（2次系純水）およびカバーガス（窒素ガス等）等の例が多数ある。</p>	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 (逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈 第30条 (逆止め弁) 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成	既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁および空気作動弁（1個）	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃	逆止弁	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	1.4MPa/65℃	空気作動弁（1個）	今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0.5MPa/95℃	逆止弁 補助給水ピット側 逆止弁および手動弁（1個）	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉における復水ピットと燃料取替用水ピットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。（直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>
実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則 (逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈 第30条 (逆止め弁) 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。																															
	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成																											
既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁および空気作動弁（1個）																											
	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃	逆止弁																											
	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	1.4MPa/65℃	空気作動弁（1個）																											
今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0.5MPa/95℃	逆止弁 補助給水ピット側 逆止弁および手動弁（1個）																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p data-bbox="1093 140 1664 162">②放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管</p> <p data-bbox="1093 169 1962 277">泊3号炉の既設の系統には、上記の例とは逆に、非常時に放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管として、燃料取替用水ピットから原子炉補機冷却水サージタンクに補給する配管がある。この場合は、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない系統に誤って漏えいすることを防止するため、直列に2個設置した隔離弁で隔離を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="1099 323 1955 443"> <thead> <tr> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>原子炉補機冷却水系統</td> <td>原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</td> <td>1.4MPa/95℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>燃料取替用水ピット側手動弁（3個）</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1093 517 1962 687">代替格納容器スプレイポンプの入口配管である燃料取替用水ピットと補助給水ピットが接続されている重大事故等対処設備の配管も、上記と同様に放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管であることから、逆止弁を設けるとともに、手動弁1個を常時閉止することとしており、「技術基準」第三十条について満足している。さらに、燃料取替用水ピット側の配管に直列に2個設置した隔離弁を常時閉止することで、ディスタンスピースやスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できる。</p> <table border="1" data-bbox="1099 751 1955 1171"> <thead> <tr> <th></th> <th>ディスタンスピース</th> <th>手動弁</th> <th>スプールピース</th> <th>フレキシブル配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隔離の信頼性</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>非常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業性</td> <td>作業内容 ディスタンスピース取替作業 手操作（2箇所）</td> <td>手操作（2箇所）</td> <td>スプールピース取付作業 手操作（2箇所）</td> <td>カプラ接続作業 手操作（2箇所）</td> </tr> <tr> <td>評価 手操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>手操作のみであり、作業性に優れる</td> <td>手操作に加えてスプールピース取付作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>手操作に加えてカプラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成	燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁				0.98MPa/65℃	手動弁	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）		ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管	概要図					隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	非常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	作業性	作業内容 ディスタンスピース取替作業 手操作（2箇所）	手操作（2箇所）	スプールピース取付作業 手操作（2箇所）	カプラ接続作業 手操作（2箇所）	評価 手操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作のみであり、作業性に優れる	手操作に加えてスプールピース取付作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作に加えてカプラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る	評価結果	○	◎	○	○	<p data-bbox="2002 384 2092 403">設備の相違</p> <ul data-bbox="2002 411 2143 1161" style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ピットと燃料取替用水ピットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。（直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>
放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成																																															
燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁																																															
			0.98MPa/65℃	手動弁																																															
代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）																																															
	ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管																																															
概要図																																																			
隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	非常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと、直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏洩管理を行うことで漏洩を防止できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能																																															
作業性	作業内容 ディスタンスピース取替作業 手操作（2箇所）	手操作（2箇所）	スプールピース取付作業 手操作（2箇所）	カプラ接続作業 手操作（2箇所）																																															
	評価 手操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作のみであり、作業性に優れる	手操作に加えてスプールピース取付作業が必要のため、手動弁より劣る	手操作に加えてカプラ接続作業が必要のため、手動弁より劣る																																															
評価結果	○	◎	○	○																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="309 146 810 651" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="322 667 745 686" data-label="Caption"> <p>復水ビットから燃料取替用水ビット間ディスタンスピース設置箇所（1/2）</p> </div> <div data-bbox="501 703 1012 735" data-label="Text"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <div data-bbox="342 836 719 1225" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="353 1257 770 1276" data-label="Caption"> <p>復水ビットから燃料取替用水ビット間ディスタンスピース設置箇所（2/2）</p> </div>	<div data-bbox="1120 199 1975 794" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1272 802 1814 826" data-label="Caption"> <p>補助給水ビットから燃料取替用水ビット間弁設置箇所（1/2）</p> </div> <div data-bbox="1108 866 1975 1321" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1272 1281 1814 1305" data-label="Caption"> <p>補助給水ビットから燃料取替用水ビット間弁設置箇所（2/2）</p> </div> <div data-bbox="1379 1366 1948 1393" data-label="Text"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="2004 387 2094 406" data-label="Section-Header"> <p>設備の相違</p> </div> <div data-bbox="2004 419 2139 1165" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。（直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul> </div>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>比較対象なし</p>	<p>(2) 放射性物質を含む配管と含まない配管の隔離に用いる弁の施設管理</p> <p>放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管に設置する逆止弁等の施設管理は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1097 263 1960 502"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>系統圧力/温度</th> <th>対象隔離弁</th> <th>隔離弁点検内容</th> <th>頻度(回/定期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">常圧タンク 窒素ガスライン</td> <td rowspan="2">4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁(玉形弁)</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン</td> <td rowspan="2">0.7MPa/170℃ 1.8MPa/65℃</td> <td>空気作動弁(玉形弁)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">既設の弁</td> <td rowspan="2">0.5MPa/95℃</td> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁(ゴムダイヤフラム弁)</td> <td>分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)</td> <td>1/7</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ピットからの 原子炉補機冷却水サーージタンク 補給水ライン</td> <td>1.8MPa/95℃ 0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁(玉形弁)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/20 1/10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今回設置</td> <td rowspan="2">0MPa/95℃</td> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td>分解点検 (シート面の当り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁(仕切弁)</td> <td></td> <td>(検討中)</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、今回設置する代替格納容器スプレイポンプ入口配管については、上記に加えて、直列に2個設置した隔離弁の間にリーク確認用のドレン配管を設けており、弁を分解点検した場合は、水張り後に漏えい確認を行うこととしている。</p>	系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁点検内容	頻度(回/定期)	常圧タンク 窒素ガスライン	4.9MPa/132℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	空気作動弁(玉形弁)		1/6	加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン	0.7MPa/170℃ 1.8MPa/65℃	空気作動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	逆止弁(スイング式)		1/6	既設の弁	0.5MPa/95℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	手動弁(ゴムダイヤフラム弁)	分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)	1/7	燃料取扱用水ピットからの 原子炉補機冷却水サーージタンク 補給水ライン	1.8MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/20 1/10	今回設置	0MPa/95℃	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10	手動弁(仕切弁)		(検討中)	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉における復水ピットと燃料取扱用水ピットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。 (直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映)</li> </ul>
系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁点検内容	頻度(回/定期)																																								
常圧タンク 窒素ガスライン	4.9MPa/132℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																								
		空気作動弁(玉形弁)		1/6																																								
加圧器連がしタンク 1次系補給水ライン	0.7MPa/170℃ 1.8MPa/65℃	空気作動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																								
		逆止弁(スイング式)		1/6																																								
既設の弁	0.5MPa/95℃	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																								
		手動弁(ゴムダイヤフラム弁)	分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)	1/7																																								
	燃料取扱用水ピットからの 原子炉補機冷却水サーージタンク 補給水ライン	1.8MPa/95℃ 0.98MPa/65℃	手動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/20 1/10																																							
今回設置	0MPa/95℃	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の当り確認含む。)	1/10																																								
		手動弁(仕切弁)		(検討中)																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
<p>2. ディスタンスピース取替え作業の確実性</p> <p>(1) ディスタンスピース取替え作業</p> <p>ディスタンスピースの取替え作業は、以下のとおり一般的なガスケット取替え作業と同様であり、系統の圧力もかからないため容易に実施することができる。</p> <p>○作業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ボルト緩め(8本)及びボルト取外し(そのうち4本)</li> <li>②フランジ面間を広げる(シノ使用)</li> <li>③ディスタンスピース及びガスケット取替え(閉止水⇒通水用)</li> <li>④ボルト取付け及びボルト締付け</li> </ol> <p>〔ボルト材質はSCM435(クロモリ鋼)であり管理区域内の湿度及び温度が一定の場所に設置されているため腐食の懸念はほとんどなく、また、日常パトロール及び定期的な訓練での取替え作業にて健全性は確認可能である。〕</p> <p>ディスタンスピース(通水用)及び工具が入った工具箱は、作業場所付近に固縛して備え付け、速やかに取替え作業ができるようにしている。また、工具の員数については日常パトロール等で確認している。</p> <div data-bbox="291 702 716 861"> <table border="1"> <tr> <th>通常時</th> <th>使用時</th> </tr> <tr> <td>ディスタンスピース (閉止水)</td> <td>ディスタンスピース (通水用)</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="257 877 851 1021"> </div>	通常時	使用時	ディスタンスピース (閉止水)	ディスタンスピース (通水用)	<p>2. 切替えの容易性</p> <p>(1) 水源切替え操作</p> <p>弁操作は、通常時に行う運転操作と同様であり、容易に実施することができる。</p> <p>操作内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの水源切替として、補助給水ビット側の入口止め弁を「開」とする。</li> <li>②燃料取替用水ビット側の入口止め弁を「閉」とする。</li> </ol> <div data-bbox="1164 430 1948 941"> </div>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。              (直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映)</li> </ul>
通常時	使用時					
ディスタンスピース (閉止水)	ディスタンスピース (通水用)					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>(2) 工具の最適性</p> <p>○ボルト緩め及び締付け工具（作業①、④）</p> <p>ボルトの緩め及び締付け作業を実施するためには、一般工具である片ロメガネレンチ及びソケットレンチが最適である。</p> <table border="1" data-bbox="268 295 828 462"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>作業時間（緩め）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ</td> <td>5分</td> <td>・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="257 478 548 614"> <p>片ロメガネレンチ(30mm)</p> </div> <div data-bbox="560 478 851 614"> <p>ソケットレンチ(30mm)</p> </div> </div> <p>○フランジ面間を広げる工具（作業②）</p> <p>シノは、フランジ面に接着し押し広げることにより、セッティング及び取外しが可能であり、一般工具であるシノで確実かつ信頼性の高い作業が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="257 790 851 957"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>原理</th> <th>作業時間（セッティング、面間広げ）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シノ</td> <td>上流側と下流側のフランジの面間を広げる</td> <td>2分</td> <td>・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="302 989 593 1109"> <p>シノ付きラチェット(30mm)</p> </div>	工具	作業時間（緩め）	作業性	評価	・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎	工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価	・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。（直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>
工具	作業時間（緩め）	作業性	評価																	
・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎																	
工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価																
・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉		相違理由
(3) ディスタンスピースの検討							
概略図	分離型		一体型				
取替要領	閉止用を引き抜き、通水用を差し込む。		閉止用と通水用をつなげて、引き抜いて方向を変えて差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、ボルトを支点に回すことで取替え作業を実施。	配管上にバーを設置し、そこを支点に回すことで取替え作業を実施。		
設備面	一体でないため紛失の恐れ有。ただし、通水側は保管しているため傷がつくおそれは少ない。	△	地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損の恐れ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	×	重量が重くなり、ボルトにかかる負担が大きくなり、ボルト損傷の可能性大。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	×	地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損のおそれ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。
作業性	取替えはガスケットを含み2分程度。ボルトは8本中4本は取り外さない。	◎	引き抜いて差し込む作業は変わらないが、重量が重く、作業性が悪いため作業時間は長くなる。	×	取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルト2本を除き取外す必要があるためトータルの作業時間はほとんど変わらない。	×	取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルトを全て取外す必要があるためトータルの作業時間は長くなる。
評価	◎		×	×	×	×	
<p>ディスタンスピースの形状について検討を行った結果、閉止用と通水用とを分離しておくことが、取替えの作業性及び取替え時間に関して最適であることを確認した。</p>							
<div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>							
<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。（直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>							



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4) ディスタンスピース取替え作業の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ディスタンスピースの訓練用モックアップを新規に製作した。</li> <li>○今後、訓練用モックアップの使用も含めて、重大事故等対策要員が年1回以上の頻度で訓練を実施し、習熟度の向上及び確実な作業の技能維持を図る。</li> </ul>  <p>ディスタンスピース訓練用モックアップ</p> <p>写真はイメージ</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。                      （直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>[参考] 作業詳細</p> <p>① 燃料取替用水ビット側閉止用ディスタンスピース締付けボルト緩め及び取外し。(8本中上部4本抜き取り)</p> <p>a. 取替え前のフランジ面間寸法測定</p> <div data-bbox="286 263 875 710"> <p>燃料取替用水補給ライン</p> <p>作業箇所</p> <p>閉止板</p> <p>フランジ</p> <p>幅目安:220mm</p> <p>測定した値は記録すること</p> <p>フランジ間幅値の測定</p> <p>直尺(150mm)</p> <p>直尺を用いてフランジの上下左右の4点で幅値を測定し記録してください。</p> <p>記録した値は、ディスタンスピース取り付け時のボルト締め付けの際に参考値として使用する。</p> </div> <p>b. 片口メガネレンチ及びソケットレンチにてボルト緩め</p> <div data-bbox="264 829 855 1276"> <p>閉止板を取外すのでボルトナットを全て緩めます。</p> <p>メガネレンチで一方を固定し、ソケットレンチでナットを緩める。</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを取り外す。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方を固定</p> </div>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。                      (直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映)</li> </ul>

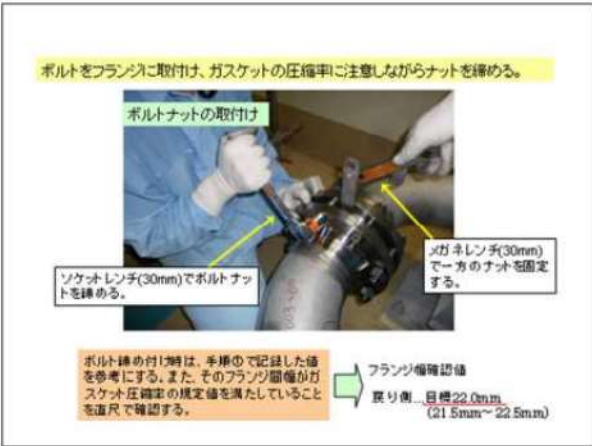
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>② ディスタンスピース（閉止用）及びガスケット取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ上部より抜き出す。</li> </ul>  <p>閉止板を先に抜き取り、その後ガスケット2枚を取り外す。</p> <p>閉止板及びガスケットの取出し</p> <p>フランジ 閉止板 フランジ</p> <p>ガスケット</p> <p>ガスケットは新品と取替えるため、閉止板とともに取り外す。(旧品は再使用しない)</p>	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> </ul>
<p>③ ディスタンスピース（通水用）及びガスケット取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ上部から挿入し、ボルト上部に乗せるだけで位置決め完了。(シート面を傷つけないよう注意する。)</li> </ul>  <p>ガスケット及びディスタンスピースをフランジ溝間に挿入する。</p> <p>ディスタンスピース及びガスケットの取付け</p> <p>ガスケット ディスタンスピース(穴空側) ガスケット</p> <p>フランジ</p> <p>ガスケットでディスタンスピースを挟み込むように組み、その状態で挿入する。</p> <p>1. ガスケットは新品と取替える。(旧品を再使用しない)          2. ディスタンスピース取付けの際はガスケットのツル部を傷つけないように注意する。取り付けづらい際はシノ等でフランジ間隙を広げながら取り付けを行う。</p>	<p>比較対象なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。                  (直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映)</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>④ 締め付けボルト取付け及び締め付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・締め付けボルト取付け（8本中上部4本取付け）</li> <li>・片締めにならないよう対角に締め付ける。</li> </ul> 	<p>比較対象なし</p>	<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉における復水ビットと燃料取替用水ビットとの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統をディスタンスピースで分離する設計であり、ディスタンスピースの取替え作業が必要。</li> <li>・泊3号炉は、放射性物質を含む系統と含まない系統を直列に2個設置した隔離弁で分離する設計であり、弁操作により系統構成を実施する。                  （直列に2個設置した隔離弁の表現は女川審査実績の反映）</li> </ul>






赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（実績）：20分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.12</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段をまとめて記載している。</li> <li>・泊は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様)</li> <li>・以下、添付資料1.13.12～19まで同様の相違であるため相違理由を省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p style="text-align: center;">比較のため、下段の添付資料 1.13.8-(3)を再掲</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：70分                      操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.13</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.17.8m                      原子炉建屋T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：55分                      操作時間（訓練実績等）：33分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる 補給系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる補給 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> </div>	<p>記載表現の相違</p>




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(2)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器逃がしタンク経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（実績）：47分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.14</p> <p>1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉建屋T.P.21.2m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（訓練実績等）：17分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉建屋 T.P.21.2m)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（使用済燃料ビット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ビット脱塩塔を経由した燃料取替用水ビットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：70分                      操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ビット                      補給ライン系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p>添付資料1.13.13にて比較</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(4)</p> <p>【No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      No. 3淡水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間(想定)：50分                      操作時間(実績)：38分(現場移動時間を含む。)</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.15</p> <p>2次系純水タンクを水源とした2次系補給ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      2次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉建屋T.P.24.8m, T.P.10.3m                      原子炉補助建屋T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間(想定)：65分                      操作時間(訓練実績等)：42分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p> </div>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(5)</p> <p>【No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、消火栓から燃料取替用水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：45分                      作業時間（実績）：36分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の方法が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.16</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクを水源とした                      電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 作業概要                      ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、屋内から燃料取替用水ピットまで消防ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 作業場所                      屋外T.P.10.3m                      原子炉建屋T.P.40.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：1名                      作業時間（想定）：30分                      作業時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備または携行して作業を行う。                      作業性：消防ホースの接続はカブラ接続であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の方法が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉					泊発電所3号炉				相違理由																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>号 炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット</td> <td>60m</td> <td>40A</td> <td>4本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット</td> <td>60m</td> <td>40A</td> <td>4本</td> </tr> </tbody> </table>					号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径		本数	3号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	4号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">消防ホース敷設箇所</th> </tr> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋内消火栓 (HC-64) ～ 燃料取替用水ピット</td> <td>約 10m</td> <td>65A</td> <td>1本</td> </tr> </tbody> </table>				消防ホース敷設箇所				敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	屋内消火栓 (HC-64) ～ 燃料取替用水ピット	約 10m	65A	1本
号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数																																
3号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本																																
4号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本																																
消防ホース敷設箇所																																				
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数																																	
屋内消火栓 (HC-64) ～ 燃料取替用水ピット	約 10m	65A	1本																																	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>① 消火栓接続口 (常時接続)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>② 消火栓～可搬型ホース施設</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>③ 可搬型ホース (40A) 接続口</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>④ 可搬型ホース (40A) 接続後</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>⑤ 燃料取替用水ピット入口扉</p> </div> </div>					<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>消火ポンプ起動 (原子炉建屋 T.P. 40. 3m)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>消火栓接続口 (常時接続)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>消防ホース (40A) 接続前</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>消防ホース (40A) 接続後</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>ろ過水タンクによる補給 (原子炉建屋 T.P. 40. 3m)</p> </div> </div>																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(1)</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        原水槽水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P. 10.3m        原子炉建屋T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等） : 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることからアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は凡用の結合金具であり、容易に接続可能である。        原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1131 172 1899 268"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～ T.P.10m 東側接続口</td> <td>約 1,000m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 20本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1391 363 1639 549" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設              (屋外 T.P.10.3m)</p> <div data-bbox="1205 635 1458 820" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1570 635 1823 820" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1205 906 1458 1091" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置              原水槽への吸管挿入              (屋外 T.P.10.3m)</p> <div data-bbox="1563 900 1832 1101" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車              周辺のホース敷設              (屋外 T.P.10.3m)</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～ T.P.10m 東側接続口	約 1,000m×1系統	150 A	約 20本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～ T.P.10m 東側接続口	約 1,000m×1系統	150 A	約 20本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                  原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  原子炉建屋T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間(想定) : 40分                  操作時間(訓練実績等) : 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。                  連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1364 938 1655 1158" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ビットへの補給                  系統構成                  (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p>	<p>相違理由</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要        2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 3名        作業時間(想定) : 180分        作業時間(訓練実績等) : 135分(現場移動、放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具(全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備(携帯型)、衛星電話設備(携帯型)を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ろ過水タンクからの補給(屋外T.P.10.3m) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>2次系純水タンクからの補給(屋外T.P.10.3m) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	<p>設備の相違(相違理由⑥)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表


1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(1)</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        代替給水ピット水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P.33.1m        原子炉建屋T.P.33.1m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 145分        作業時間（訓練実績等） : 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、はヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1131 172 1899 268" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～ T.P.33m 西側接続口</td> <td>約 200m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 4本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1384 363 1641 555" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設          (屋外 T.P.33.1m)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1205 639 1458 826" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 639 1823 826" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 911 1458 1098" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 (屋外 T.P.33.1m) (作業風景は類似作業)</p> </div> <div data-bbox="1570 911 1823 1098" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 (屋外 T.P.33.1m)</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～ T.P.33m 西側接続口	約 200m×1系統	150 A	約 4本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～ T.P.33m 西側接続口	約 200m×1系統	150 A	約 4本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要                  代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  原子炉建屋T.P.40.3m, T.P.33.1m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間(想定) : 40分                  操作時間(訓練実績等) : 14分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。                  連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1361 946 1659 1171" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ビットから                  補助給水ビットへの補給系統構成                  (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p>	<p>相違理由</p> <p style="color: red;">設備の相違(相違理由⑥)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表


1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(1)</p> <p style="text-align: center;">海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p style="text-align: center;">【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要        海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を行うため、可搬型大型送水ポンプ車の設置、海水取水箇所への水中ポンプ設置、可搬型ホース等の敷設等を行い、補給する。</p> <p>2. 作業場所        屋外T.P.33.1m, T.P.10.3m        原子炉建屋T.P.33.1m, T.P.10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等） : 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。        屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1137 167 1883 359"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P. 10m 東側接続口</td> <td>約 800m × 1系統</td> <td>150A</td> <td>約 16本 × 1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P. 33m 西側接続口</td> <td>約 1,000m × 1系統</td> <td>150A</td> <td>約 20本 × 1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外 T.P. 10.3m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外 T.P. 33.1m）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設 （屋外 T.P. 10.3m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水取水箇所への水中ポンプ設置 （屋外 T.P. 10.3m）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P. 10m 東側接続口	約 800m × 1系統	150A	約 16本 × 1系統	海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P. 33m 西側接続口	約 1,000m × 1系統	150A	約 20本 × 1系統	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数										
海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P. 10m 東側接続口	約 800m × 1系統	150A	約 16本 × 1系統											
海水取水箇所（3号炉取水ビットスクリーン室）～ T.P. 33m 西側接続口	約 1,000m × 1系統	150A	約 20本 × 1系統											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要                  海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  原子炉建屋T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間(想定) : 40分                  操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。                  連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 938 1671 1177" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ビットへの補給                  系統構成                  (原子炉建屋 T.P.17.8m)</p>	<p>設備の相違(相違理由⑥)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(6)</p> <p><b>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（ディスタンスピース接続）】</b></p> <p>1. 作業概要                      復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：90分                      作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア                              (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>② ディスタンスピース取替え                              (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 2px solid yellow; padding: 10px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由①）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(7)</p> <p><b>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（系統構成）】</b></p> <p>1. 操作概要                      復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（実績）：18分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<p style="font-size: 2em; border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.9</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</p> <p>(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイシシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続、高圧及び低圧再循環運転不能において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉及び格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に原子炉及び格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による1次冷却系減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏洩の程度（漏洩量）によらず、比較的小流量（約30m<sup>3</sup>/h）である1次系純水タンク及びほう酸タンクであっても有効と判断）</p> <p style="text-align: center;">【比較のため高浜3 / 4号炉の添付資料 1.13.9の抜粋を掲載】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>一方、格納容器バイパス事象以外の事故（LOCA等）については、燃料取替用水タンク水が格納容器再循環サンプに溜まり、基本的には再循環への切り替えが期待できるため格納容器バイパス事象ほどの緊急性はないものの、再循環切替失敗に対するリスクを考慮すると補給操作は事故対応上も考慮すべきである。運転員の事故対応の優先順位等も考慮し、事象や事故の規模（冷却材の漏洩量等）に関係なく対応できるよう「燃料取替用水タンクの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合」を補給の判断基準として取り込んでいる。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.20</p> <p>1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>泊3号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</p> <p>e. 1次系補給ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>(1) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び雷圧注入動作を確認した場合、インターフェイシシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉容器及び原子炉格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に発電用原子炉及び原子炉格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が原子炉格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉容器等への注水を継続しつつ、蒸気発生器2次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉容器等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏えいの程度（漏えい量）によらず、比較的小流量（約30m<sup>3</sup>/h）である1次系純水タンク及びほう酸タンクであっても有効と判断）</p>	<p>相違理由</p> <p>記載表現の相違                  （女川審査実績の反映）</p> <p>記載表現の相違                  （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】                  運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【高浜】                  設備名称の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉		添付資料 1.13.10	
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表			
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		
	番号	手順名称	
復水ビットへの供給に係る手順等	復水ビットからNo. 3 淡水タンクへの水源切替	1.13	本条文中整備
	A、B 2次系純水タンクからNo. 3 淡水タンクへの補給	1.13	本条文中整備
	復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水
	1次冷却系のフィードアンドブリード	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリード
	No. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給	1.13	本条文中整備
	No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	1.13	本条文中整備
	海水を用いた復水ビットへの補給	1.13	本条文中整備
炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	1.13	本条文中整備
	燃料取替用水ビットからNo. 2 淡水タンクへの水源切替	1.4	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水
	燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替	1.13	本条文中整備
	燃料取替用水ビットから海水への水源切替	1.4	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中整備
	1次系純水タンクから使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中整備
	No. 3 淡水タンクから使用済燃料ビットを経由した燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備
	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備
	復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備

泊発電所3号炉		添付資料1.13.21-(1)		相違理由	
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (1/5)					
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文			相違理由	
	番号	手順名称			
燃料取替用水ビットを水取とした炉心注水	1.1	ほう酸水注入		記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違。	
	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用炉心の冷却			
	1.3	1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の炉心注水			
	1.4	充てんポンプによる原子炉容器への注水			燃料取替用水ビットを水取とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の炉心注水
		日一格納容器スプレイポンプ（IBMS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水			
		代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水			
		日一充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水			
	1.8	日一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（IBMS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水			燃料取替用水ビットを水取とした原子炉格納容器内の冷却
		格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる炉内格納容器への注水			
		高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水			
燃料取替用水ビットからの重力注水による原子炉容器への注水					
燃料取替用水ビットを水取とした炉心注水	1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ		記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違。	
		代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
		日一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ			
		格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
	1.7	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			燃料取替用水ビットを水取とした原子炉格納容器内の除熱
		日一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器内へのスプレイ			
	1.8	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水			燃料取替用水ビットを水取とした原子炉格納容器下部への注水
		代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器下部への注水			
	1.11	日一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉格納容器下部への注水			燃料取替用水ビットを水取とした使用済燃料ビットへの注水
		燃料取替用水ビットによる使用済燃料ビットへの注水			
補助給水ビットを水取とした炉心注水	1.1	原子炉出力調整（自動）		記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違。	
	1.2	原子炉出力調整（手動）			補助給水ビットを水取とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水
		50直送給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水			
		電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
	1.3	復原手動操作によるタービン駆動補助給水ポンプの機能回復			補助給水ビットを水取とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水
		代替交流電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復			
		電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水			
	1.4	50直送給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水			補助給水ビットを水取とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水
		復原手動操作によるタービン駆動補助給水ポンプの機能回復			
		代替交流電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復			
1.5	電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水		補助給水ビットを水取とした最終冷却タンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水		
	50直送給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水				
	電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水				
ろ過水タンク対応手順	1.4	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水		ろ過水タンクを水取とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	
	1.6	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
	1.7	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ			
	1.8	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器下部への注水			
	1.11	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる使用済燃料ビットへの注水			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
1.13 手順名称			1.13 手順名称				
	1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文			1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文	
		番号	手順名称				番号
燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.6	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー	代替給水ピットを水源とした対応手順	代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.3	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.6	可搬型代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレー		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中整備		代替給水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.11	代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水
	水源とした再循環運転に係る手順等	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.4		高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	原水槽を水源とした対応手順	原水槽を水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水
A格納容器スプレーポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転		1.4	A格納容器スプレーポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	原水槽を水源とした原子炉格納容器圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.3		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
B高圧注入ポンプ（海水冷却）、大容量ポンプによる高圧代替再循環運転		1.4	B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.4		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転		1.4	A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原水槽を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水
使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした対応手順	原水槽を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.6	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋内消火栓） No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水（屋外消火栓）		原水槽を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー
	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.8	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水
	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水		原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.11	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水
	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水		原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる使用済燃料ピットへのスプレー		
	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.11	海水から使用済燃料ピットへの注水		原水槽を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレインゾルによる大気への放射性物質の拡散抑制

添付資料1.13.21-(2)

水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (2/5)

記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・各手段構成の相違による相違



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																
<p>1.13 手順名称</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">1.13 手順名称</th> <th colspan="2">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th>番号</th> <th>手順名称</th> <th>番号</th> <th>手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.11</td> <td>送水車による使用済燃料ピットへのスプレイ</td> <td>1.11</td> <td>送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレイ</td> </tr> <tr> <td>1.12</td> <td>送水車及びスプレイヘッドによる大気への拡散抑制</td> <td>1.11</td> <td>大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水</td> </tr> <tr> <td>1.12</td> <td>大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制</td> <td>1.12</td> <td>大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制</td> </tr> <tr> <td>1.12</td> <td>大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水</td> <td>1.12</td> <td>大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水</td> </tr> </tbody> </table>		1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文		番号	手順名称	番号	手順名称	1.11	送水車による使用済燃料ピットへのスプレイ	1.11	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレイ	1.12	送水車及びスプレイヘッドによる大気への拡散抑制	1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	<p>水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">1.13 手順名称</th> <th colspan="2">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th>番号</th> <th>手順名称</th> <th>番号</th> <th>手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.11</td> <td>1次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水</td> <td>1.11</td> <td>1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水</td> </tr> <tr> <td>1.11</td> <td>2次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水</td> <td>1.11</td> <td>2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水</td> </tr> <tr> <td>1.2</td> <td>脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> <td>1.2</td> <td>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.3</td> <td>脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> <td>1.3</td> <td>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.4</td> <td>脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> <td>1.4</td> <td>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>脱気器タンクを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水</td> <td>1.5</td> <td>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.2</td> <td>海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> <td>1.2</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.3</td> <td>海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> <td>1.3</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.4</td> <td>海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> <td>1.4</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.4</td> <td>海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> <td>1.4</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>海水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水</td> <td>1.5</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> </tr> <tr> <td>1.6</td> <td>海水を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> <td>1.6</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ</td> </tr> <tr> <td>1.7</td> <td>海水を水源とした原子炉格納容器内の除熱</td> <td>1.7</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ</td> </tr> <tr> <td>1.8</td> <td>海水を水源とした原子炉格納容器下部への注水</td> <td>1.8</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水</td> </tr> <tr> <td>1.11</td> <td>海水を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ</td> <td>1.11</td> <td>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>海水を水源とした原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保</td> <td>1.5</td> <td>原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保</td> </tr> </tbody> </table>		1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文		番号	手順名称	番号	手順名称	1.11	1次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	1.11	2次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	1.2	脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.3	脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.4	脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.5	脱気器タンクを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.2	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	1.3	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	1.4	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	1.4	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	1.5	海水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	1.6	海水を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	1.7	海水を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ	1.8	海水を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	1.11	海水を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ	1.5	海水を水源とした原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保	1.5	原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保	<p>添付資料1.13.21-(3)</p> <p>記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・各手段構成の相違による相違</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																																																																		
番号	手順名称	番号	手順名称																																																																																																	
1.11	送水車による使用済燃料ピットへのスプレイ	1.11	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレイ																																																																																																	
1.12	送水車及びスプレイヘッドによる大気への拡散抑制	1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水																																																																																																	
1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制																																																																																																	
1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水																																																																																																	
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																																																																		
番号	手順名称	番号	手順名称																																																																																																	
1.11	1次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水																																																																																																	
1.11	2次系純水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水																																																																																																	
1.2	脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.3	脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.4	脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.5	脱気器タンクを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.2	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.3	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.4	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水																																																																																																	
1.4	海水を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水																																																																																																	
1.5	海水を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード																																																																																																	
1.6	海水を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ																																																																																																	
1.7	海水を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ																																																																																																	
1.8	海水を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水																																																																																																	
1.11	海水を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレイ	1.11	海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレイノズルによる使用済燃料ピットへのスプレイ																																																																																																	
1.5	海水を水源とした原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保	1.5	原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
	添付資料1.13.21-(4)																																																								
	水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (4/5)																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1086 284 1534 311">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1534 284 1944 311">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1086 311 1534 327"></th> <th data-bbox="1534 311 1579 327">番号</th> <th data-bbox="1579 311 1944 327">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1086 327 1176 550" rowspan="4">海を水源とした対応手順</td> <td data-bbox="1176 327 1534 359">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td data-bbox="1534 327 1579 359">1.5</td> <td data-bbox="1579 327 1944 359">可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 359 1534 454">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却</td> <td data-bbox="1534 359 1579 454">1.5</td> <td data-bbox="1579 359 1944 454">可搬型大型送水ポンプ車によるA-副制御空気圧縮機への補機冷却水（海水）提供 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）提供 補機冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 454 1534 518">海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td data-bbox="1534 454 1579 518">1.12</td> <td data-bbox="1579 454 1944 518">可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 518 1534 550">海を水源とした航空機燃料火災への消火</td> <td data-bbox="1534 518 1579 550">1.12</td> <td data-bbox="1579 518 1944 550">可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡面合設備による航空機燃料火災への消火</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 550 1176 662">水源ほうし酸タンク対応手順</td> <td data-bbox="1176 550 1534 662">ほう酸タンクを水源とした発電用原子炉を隔離するための原子炉容器へのほう酸水注入</td> <td data-bbox="1534 550 1579 662">1.1</td> <td data-bbox="1579 550 1944 662">ほう酸水注入</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 662 1176 805" rowspan="3">格納容器再循環ポンプを水源とした再循環運転</td> <td data-bbox="1176 662 1534 710">格納容器再循環ポンプを水源とした再循環運転</td> <td data-bbox="1534 662 1579 710">1.4</td> <td data-bbox="1579 662 1944 710">高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 710 1534 758">格納容器再循環ポンプを水源とした格納容器スプレィ再循環運転</td> <td data-bbox="1534 710 1579 758">1.6</td> <td data-bbox="1579 710 1944 758">格納容器スプレィポンプによる原子炉格納容器内へのスプレィ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 758 1534 805">格納容器再循環ポンプを水源とした代替再循環運転</td> <td data-bbox="1534 758 1579 805">1.4</td> <td data-bbox="1579 758 1944 805">E-格納容器スプレィポンプ（RHR5-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 805 1176 933" rowspan="4">へ燃料水の取替用手順</td> <td data-bbox="1176 805 1534 837">可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 805 1579 837">1.13</td> <td data-bbox="1579 805 1944 837">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 837 1534 869">電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 837 1579 869">1.13</td> <td data-bbox="1579 837 1944 869">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 869 1534 901">1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 869 1579 901">1.13</td> <td data-bbox="1579 869 1944 901">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 901 1534 933">2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 901 1579 933">1.13</td> <td data-bbox="1579 901 1944 933">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 933 1176 1045" rowspan="2">水箱を補助給水ビットの手順</td> <td data-bbox="1176 933 1534 997">可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 933 1579 997">1.13</td> <td data-bbox="1579 933 1944 997">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 997 1534 1045">2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 997 1579 1045">1.13</td> <td data-bbox="1579 997 1944 1045">本文中で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	海を水源とした対応手順	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-副制御空気圧縮機への補機冷却水（海水）提供 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）提供 補機冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却	海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	海を水源とした航空機燃料火災への消火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡面合設備による航空機燃料火災への消火	水源ほうし酸タンク対応手順	ほう酸タンクを水源とした発電用原子炉を隔離するための原子炉容器へのほう酸水注入	1.1	ほう酸水注入	格納容器再循環ポンプを水源とした再循環運転	格納容器再循環ポンプを水源とした再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	格納容器再循環ポンプを水源とした格納容器スプレィ再循環運転	1.6	格納容器スプレィポンプによる原子炉格納容器内へのスプレィ	格納容器再循環ポンプを水源とした代替再循環運転	1.4	E-格納容器スプレィポンプ（RHR5-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	へ燃料水の取替用手順	可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備	電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備	水箱を補助給水ビットの手順	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	1.13	本文中で整備	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	1.13	本文中で整備	<p>記載方針の相違              （女川審査実績の反映）              ・各手段構成の相違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																							
		番号	手順名称																																																						
海を水源とした対応手順	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.5	可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却																																																						
	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大型送水ポンプ車によるA-副制御空気圧縮機への補機冷却水（海水）提供 可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）提供 補機冷却水（可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却）による余熱除去ポンプを用いた代替炉心冷却																																																						
	海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制																																																						
	海を水源とした航空機燃料火災への消火	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡面合設備による航空機燃料火災への消火																																																						
水源ほうし酸タンク対応手順	ほう酸タンクを水源とした発電用原子炉を隔離するための原子炉容器へのほう酸水注入	1.1	ほう酸水注入																																																						
格納容器再循環ポンプを水源とした再循環運転	格納容器再循環ポンプを水源とした再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転																																																						
	格納容器再循環ポンプを水源とした格納容器スプレィ再循環運転	1.6	格納容器スプレィポンプによる原子炉格納容器内へのスプレィ																																																						
	格納容器再循環ポンプを水源とした代替再循環運転	1.4	E-格納容器スプレィポンプ（RHR5-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転																																																						
へ燃料水の取替用手順	可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備																																																						
	電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備																																																						
	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備																																																						
	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本文中で整備																																																						
水箱を補助給水ビットの手順	可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	1.13	本文中で整備																																																						
	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	1.13	本文中で整備																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.21-(5)</p> <p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (5/5)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1086 287 1534 327">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1534 287 1937 311">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th data-bbox="1086 327 1176 359"></th> <th data-bbox="1176 327 1534 359"></th> <th data-bbox="1534 327 1579 359">番号</th> <th data-bbox="1579 327 1937 359">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1086 359 1176 438">水を原水槽へ供給する手順</td> <td data-bbox="1176 359 1534 438">2次系純水タンク又はろ過水タンクから取水槽への補給</td> <td data-bbox="1534 359 1579 438">1.13</td> <td data-bbox="1579 359 1937 438">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 438 1176 518">燃料取替用水ビットへの切替え</td> <td data-bbox="1176 438 1534 518">燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉容器へ注水時の場合）</td> <td data-bbox="1534 438 1579 518">1.13</td> <td data-bbox="1579 438 1937 518">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 518 1176 598">燃料取替用水ビットへの切替え</td> <td data-bbox="1176 518 1534 598">燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）</td> <td data-bbox="1534 518 1579 598">1.13</td> <td data-bbox="1579 518 1937 598">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 598 1176 758">1次系純水タンクへの切替え</td> <td data-bbox="1176 598 1534 758">燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替え</td> <td data-bbox="1534 598 1579 758">1.13</td> <td data-bbox="1579 598 1937 758">本文中で整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 758 1176 917">タービン補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプ</td> <td data-bbox="1176 758 1534 917">電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水取の切替え</td> <td data-bbox="1534 758 1579 917">1.13</td> <td data-bbox="1579 758 1937 917">本文中で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	水を原水槽へ供給する手順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから取水槽への補給	1.13	本文中で整備	燃料取替用水ビットへの切替え	燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉容器へ注水時の場合）	1.13	本文中で整備	燃料取替用水ビットへの切替え	燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）	1.13	本文中で整備	1次系純水タンクへの切替え	燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替え	1.13	本文中で整備	タービン補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水取の切替え	1.13	本文中で整備	<p>相違理由</p> <p>記載方針の相違                      （女川審査実績の反映）                      ・各手段構成の相違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																												
		番号	手順名称																											
水を原水槽へ供給する手順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから取水槽への補給	1.13	本文中で整備																											
燃料取替用水ビットへの切替え	燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉容器へ注水時の場合）	1.13	本文中で整備																											
燃料取替用水ビットへの切替え	燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉格納容器内へスプレイ中の場合）	1.13	本文中で整備																											
1次系純水タンクへの切替え	燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及び1次系純水タンクへの切替え	1.13	本文中で整備																											
タービン補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプ	電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水取の切替え	1.13	本文中で整備																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉					
添付資料 1.13.11-(1)					
各タンク等配置図及び仕様					
重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水に使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。					
No.	タンク等名称	容量	分類	用途	
				SA時	通常時
1	No. 2 淡水タンク※	8,000m <sup>3</sup>	淡水	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替炉心注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>復水ピット補給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火水供給</li> <li>淡水供給</li> </ul>
2	No. 3 淡水タンク※			2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>復水ピット補給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> </ul>
3	A 2次系純水タンク	8,500m <sup>3</sup>	2次系純水	No. 3 淡水タンク補給	2次系補給水供給
4	B 2次系純水タンク				
5	3号炉 脱気器タンク	約600m <sup>3</sup>	2次系純水	蒸気発生器注水	蒸気発生器注水
6	4号炉 脱気器タンク				
7	A 1次系純水タンク	328m <sup>3</sup>	1次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> </ul>	原子炉補給水供給
8	B 1次系純水タンク				
9	3号炉 Aほう酸タンク	約100m <sup>3</sup>	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補給水供給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>
10	3号炉 Bほう酸タンク				
11	4号炉 Aほう酸タンク				
12	4号炉 Bほう酸タンク				
13	3号炉 燃料取替用水ピット	約2,900m <sup>3</sup>	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水、代替炉心注水</li> <li>格納容器スプレー、代替格納容器スプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>格納容器スプレー</li> <li>使用済燃料ピット補給</li> </ul>
14	4号炉 燃料取替用水ピット	約2,100m <sup>3</sup>			
15	3号炉 復水ピット	約1,200m <sup>3</sup>	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>炉心注水、代替炉心注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>	蒸気発生器注水
16	4号炉 復水ピット				

※1号炉および2号炉建設時にNo.1～3 淡水タンクとして運用開始したが、その後、No.2、3 淡水タンクを純水タンクとして使用することになり、新規制基準下の溢水対策として現在の運用としている。

泊発電所3号炉					
添付資料1.13.22-(1)					
各タンク等配置図及び仕様					
重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）、原子炉容器への注水、原子炉格納容器内への注水・スプレー及び使用済燃料ピットへの注水・スプレーに使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。					
No.	タンク等名称	容量	分類	用途	
				SA時	通常時
1	A-1号過水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	<ul style="list-style-type: none"> <li>原水補給</li> <li>代替炉心注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> <li>使用済燃料ピットスプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火水供給</li> <li>淡水供給</li> </ul>
2	B-1号過水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	<ul style="list-style-type: none"> <li>原水補給</li> <li>代替炉心注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> <li>使用済燃料ピットスプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火水供給</li> <li>淡水供給</li> </ul>
3	A-2次系純水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>補助給水ピット補給</li> <li>原水補給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次系補給水供給</li> <li>使用済燃料ピット補給</li> </ul>
4	B-2次系純水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>補助給水ピット補給</li> <li>原水補給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次系補給水供給</li> <li>使用済燃料ピット補給</li> </ul>
5	脱気器タンク	約100m <sup>3</sup>	2次系純水	蒸気発生器注水	蒸気発生器注水
6	1次系純水タンク	約360m <sup>3</sup>	1次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補給水供給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>
7	A-1ほう酸タンク	約10m <sup>3</sup>	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補給水供給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>
8	B-1ほう酸タンク	約10m <sup>3</sup>	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉補給水供給</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> </ul>
9	燃料取替用水ピット	約2,000m <sup>3</sup>	ほう酸水	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水、代替炉心注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>格納容器スプレー、代替格納容器スプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心注水</li> <li>格納容器スプレー</li> <li>使用済燃料ピット補給</li> </ul>
10	補助給水ピット	約660m <sup>3</sup>	2次系純水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>代替炉心注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> </ul>	蒸気発生器注水
11	A-1原水槽	約5,000m <sup>3</sup>	淡水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>補助給水ピット補給</li> <li>代替炉心注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> <li>使用済燃料ピットスプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡水供給</li> </ul>
12	B-1原水槽	約5,000m <sup>3</sup>	淡水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>補助給水ピット補給</li> <li>代替炉心注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> <li>使用済燃料ピットスプレー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡水供給</li> </ul>
13	代替給水ピット	約470m <sup>3</sup>	淡水	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒸気発生器注水</li> <li>補助給水ピット補給</li> <li>代替炉心注水</li> <li>格納容器下部注水</li> <li>代替格納容器スプレー</li> <li>燃料取替用水ピット補給</li> <li>使用済燃料ピット注水</li> <li>使用済燃料ピットスプレー</li> </ul>	-

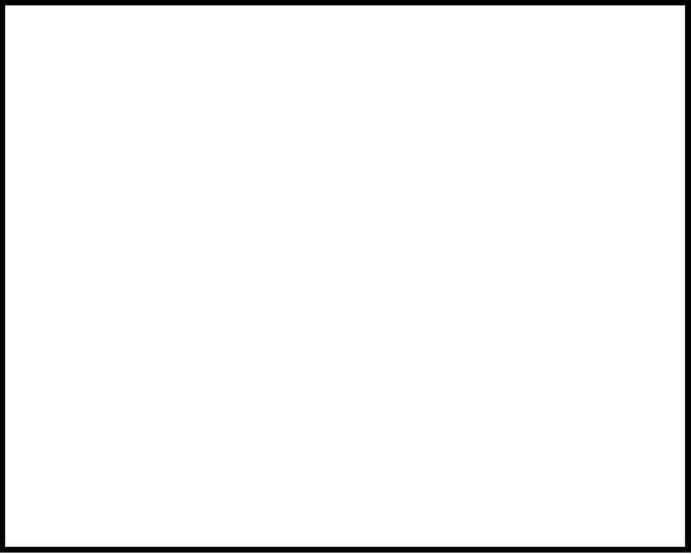

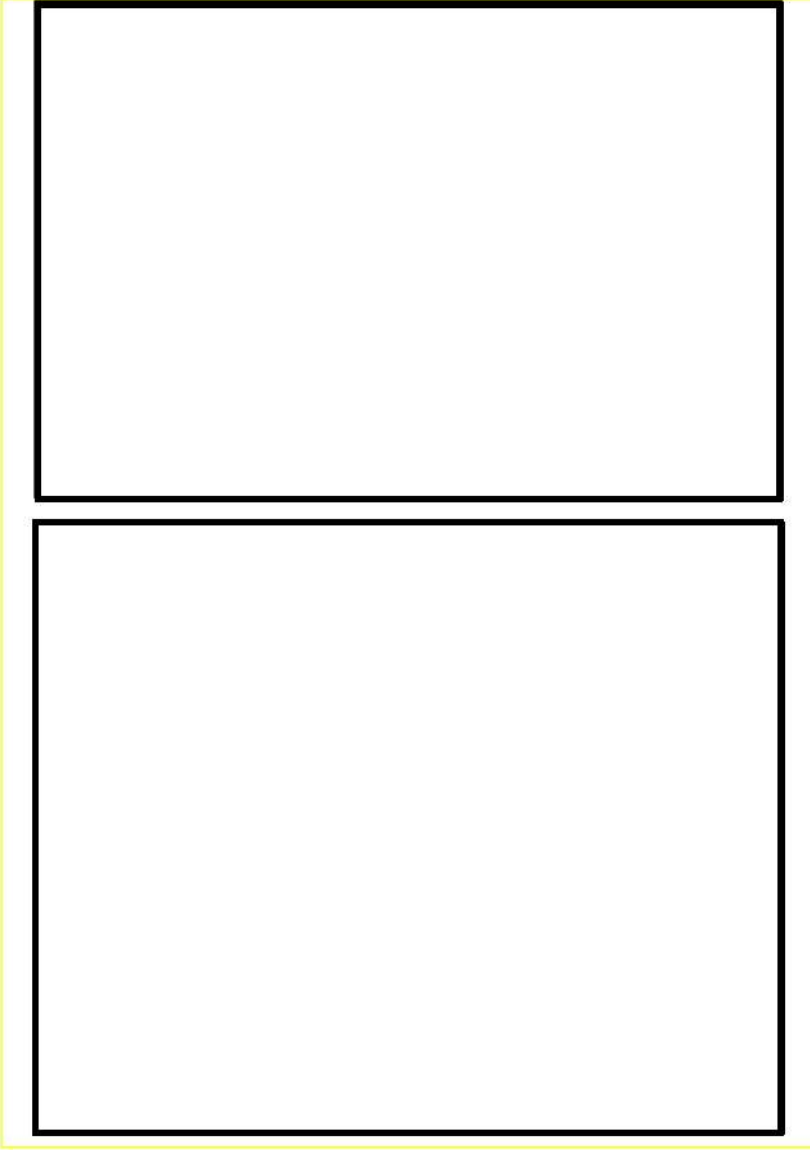
記載表現の相違  
 （女川審査実績の反映）

設備の相違（相違理由④⑥）



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(2)</p>  <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(3)</p> <p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様 (2 / 4)</p>  <p style="font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(2)</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(4)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">各タンク等配置図及び仕様（3/4）</div> <div style="border: 2px solid black; height: 250px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p> <div style="border: 2px solid black; height: 300px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 2px solid black; height: 300px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.11-(5)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">各タンク等配置図及び仕様（4/4）</div> <div style="border: 2px solid black; height: 250px; margin: 10px auto; width: 90%;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉 添付資料 1.13.12-(1)	泊発電所3号炉 添付資料1.13.23-(1)	相違理由																																																													
<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）に使用する復水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順の内、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。                  また、復水ビット及び燃料取替用水ビットは、上部点検扉を開放し可搬型ホースを導く。</p> <table border="1" data-bbox="136 534 981 699"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(2)</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td>送水車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td>1.13.12-(3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>ツイスター金具</td> <td>1.13.12-(5)</td> </tr> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(7)</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)	海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)		送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)	<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）に使用する補助給水ビット及び原子炉容器への注水、原子炉格納容器内へのスプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順のうち、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。                  また、ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時は、アクセスドアを開放し消防ホースを導く。                  原水槽、代替給水ビット又は海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給時は、可搬型ホースを代替給水・注水配管接続口へ接続する。</p> <table border="1" data-bbox="1081 544 1955 1038"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原水槽から補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td rowspan="4">1.13-7-(1) 1.13-17-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースとT.P.10m東側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フワンジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原水槽から燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>2次系純水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フワンジ接続</td> <td rowspan="2">1.13-8-(1) 1.13-18-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替給水ビットから補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースとT.P.33m西側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水を用いた補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td rowspan="3">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースとT.P.10m東側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海水を用いた燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースとT.P.33m西側接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">1.13-16</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>屋内消火栓と消防ホース接続</td> <td>差込み式</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	原水槽から補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースとT.P.10m東側接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フワンジ接続	原水槽から燃料取替用水ビットへの補給	2次系純水タンクと可搬型ホース接続	フワンジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	代替給水ビットから補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型ホースとT.P.33m西側接続口接続	結合金具接続	海水を用いた補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースとT.P.10m東側接続口接続	結合金具接続	海水を用いた燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースとT.P.33m西側接続口接続	結合金具接続	1.13-16	ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	差込み式	<p>記載内容の相違                  ・基準改正による相違</p> <p>設備の相違                  ・大飯3/4号炉は、No. 2 淡水タンク及び海水による補給は扉を開放して直接各ビットに補給する。                  ・泊3号炉はろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時のみ扉を開放して直接補給するが、その他補給手順は、可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p>
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																												
No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)																																																												
海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)																																																												
	送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)																																																												
No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)																																																												
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																												
原水槽から補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)																																																												
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																													
	可搬型ホースとT.P.10m東側接続口接続	結合金具接続																																																													
	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フワンジ接続																																																													
原水槽から燃料取替用水ビットへの補給	2次系純水タンクと可搬型ホース接続	フワンジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)																																																												
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式																																																													
代替給水ビットから補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																												
	可搬型ホースとT.P.33m西側接続口接続	結合金具接続																																																													
海水を用いた補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																												
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																													
	可搬型ホースとT.P.10m東側接続口接続	結合金具接続																																																													
海水を用いた燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースとT.P.33m西側接続口接続	結合金具接続	1.13-16																																																												
	ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続		差込み式																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;"><b>比較対象なし</b></p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(2)</p> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px 0;"></div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 1em; height: 1em; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。         </p>	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑤）</p>

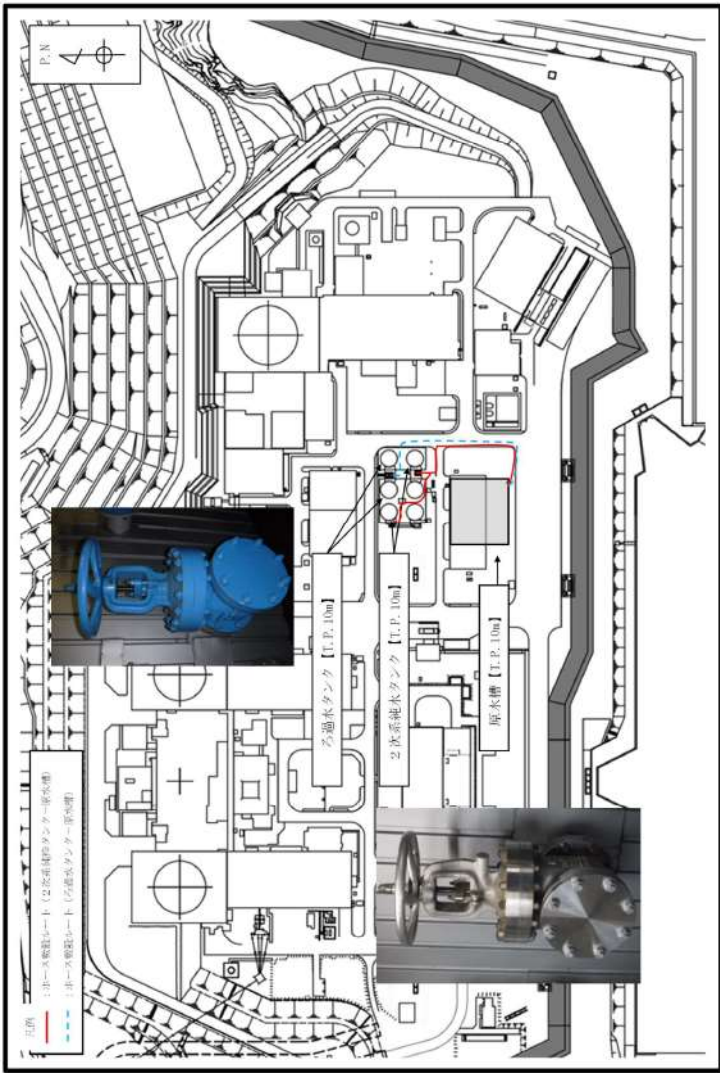


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: yellow;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(3)</p> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 20px auto;"></div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 1em; height: 1em; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: yellow;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(4)</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンク又は2次系純水タンクから原水槽への補給</p> 	<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(5)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: right;">[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(6)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。         </p>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由④⑤）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>作問みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 50px; top: 50px;">可搬型ホース接続口配置図 No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.12-(3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 280px; height: 670px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1/2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 60px; margin: 10px auto; text-align: center;">                 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。             </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(7)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/3)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 310px; height: 660px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(4)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> <p>可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ビットへの補給 (2/2)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%;"></div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(8)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給(2/3)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%;"></div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">相違理由</p> <p style="text-align: center; color: red;">設備の相違（相違理由①）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(9)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(3/3)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 1em; height: 1em; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(5)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     可搬型ホース接続口配置図                      4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1/2)                 </div> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%;"></div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; border: 1px solid black; padding: 2px;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                         比較対象なし                     </div>	

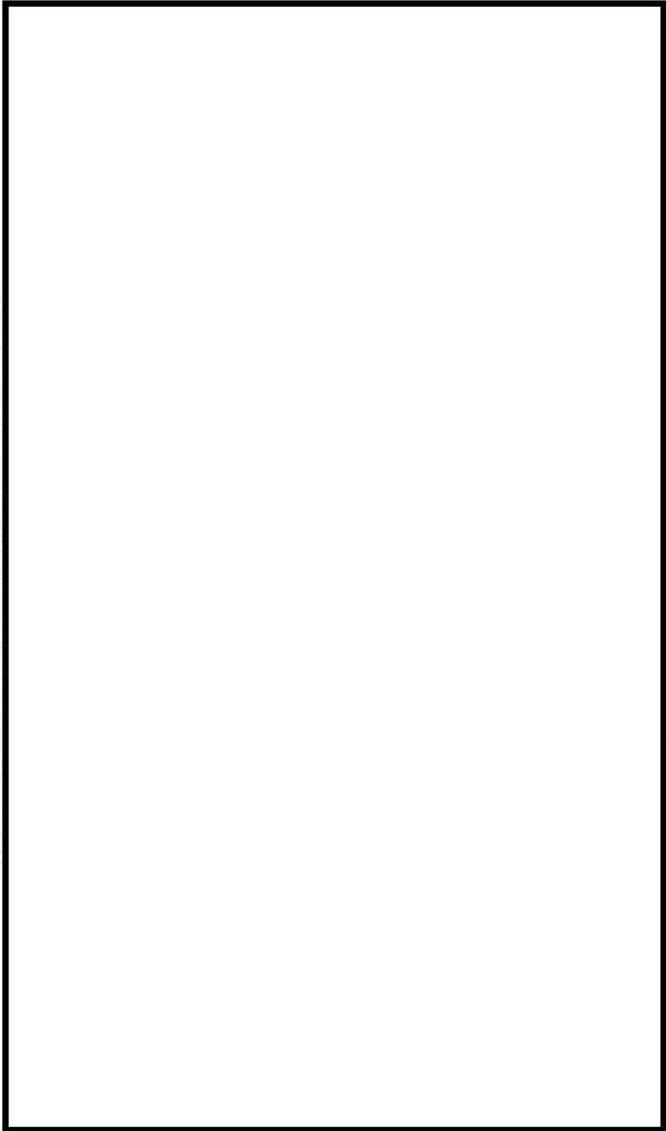
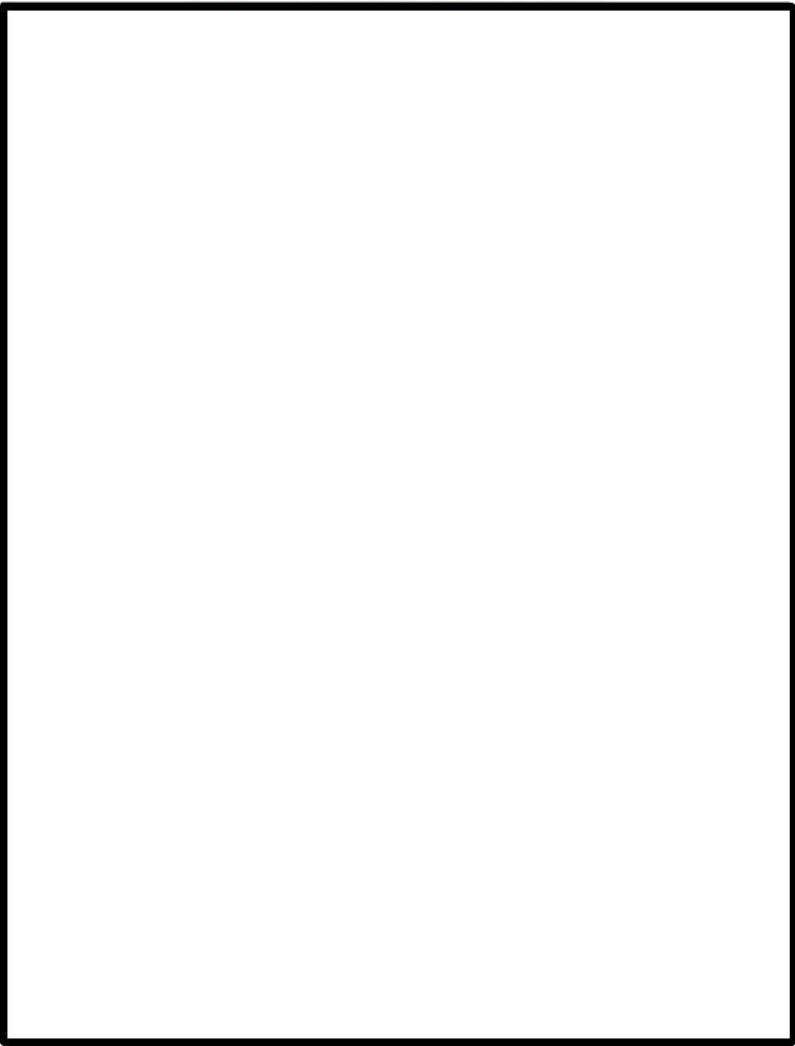
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(6)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">可搬型ホース接続口配置図</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: -20px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2 / 2）</p> </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: -40px; top: 50%; transform: translateY(-50%);">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することできません。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p data-bbox="465 108 667 130">添付資料 1.13.12-(7)</p> <p data-bbox="165 507 241 1104" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">可搬型ホース接続口配置図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p>  <p data-bbox="913 242 949 970" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開できません。</p>	<p data-bbox="1774 140 1975 162">添付資料1.13.23-(10)</p> <p data-bbox="1303 197 1729 220" style="color: green;">ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p>  <p data-bbox="1397 1362 1966 1388">□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.13</p> <p style="text-align: center;">復水ビットへの海水補給手段の多重性について</p> <p>復水ビットへの海水補給については、復水ビット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。具体的な補給手段について、以下に記載する。</p> <p>1. 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの復水ビット補給              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインに可搬型ホースを接続することで、復水ビット入口扉にアクセスすることなく復水ビットへの補給を実施する。              なお、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインについては、設計基準地震動により機能を喪失しない設計とする。</p> <div data-bbox="250 555 862 734" data-label="Diagram"> </div> <p>2. 作業時間について              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの補給作業時間については、復水ビット入口扉よりアクセスし補給する場合と同じ約3.4時間と想定しており、有効性評価における復水ビットを水源とするタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の復水ビット枯渇までの約18.7時間までに補給が可能であり、注水を継続することができる。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em; color: red;">比較対象なし</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。</li> <li>・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。</li> </ul>





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

大飯3 / 4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料1.13.4を掲載】

操作手順の解釈一覧

手順	操作手順記載内容	解釈
1.13.2.2 水循環へ水を供給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が1630 m <sup>3</sup> 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位2700m <sup>3</sup> 以上となった場合

1. 判断基準の解釈一覧(2/2)

手順	判断基準記載内容	解釈
1.13.2.2 水循環へ水を供給するための対応手順	(1) 燃料貯留タンクから燃料貯留ボットへの補給 (2) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給 (3) 復水貯蔵タンクへ水を供給するための対応手順 (4) 復水貯蔵タンクから燃料貯留ボットへの補給 (5) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給 (6) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給 (7) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給 (8) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給 (9) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給 (10) 燃料貯留ボットから燃料貯留タンクへの補給	1. 2次高純水タンク等から燃料貯留ボットへ供給する水の確保 2. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 3. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 4. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 5. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 6. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 7. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 8. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 9. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上 10. 2次高純水タンク水位が9,000mm以上

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違  
 ・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。  
 ・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

相違理由

大飯3 / 4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料1.13.4を掲載】

弁番号及び弁名称一覧

弁番号	弁名称	操作場所
P13-F041	復水貯蔵タンク外部注水入口弁	CST 連絡トレンチ/バルブ室
P70-D001-1	復水貯蔵タンク補給弁	屋外
FW-V-300	ろ過水タンク非常用接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外
FW-V-301	ろ過水タンク非常用戻り側接続端止め弁（大容量送水ポンプ用）	屋外

2. 弁番号及び弁名称一覧

弁番号	弁名称	操作場所
3V-RF-102	E C Tトラクタアクセスエリア側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.40.3m
3V-RF-100	燃料取替用水ビットオーバーフローライン海水供給止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.40.3m
3V-SF-101	燃料取替用水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.40.3m
3V-FW-664	R/B東側可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.17.8m
3V-FW-663	補助給水ビット-燃料取替用水ビット給水連絡ライン止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.17.8m
3V-SF-104A	A-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-SF-104B	B-使用済燃料ビット脱塩塔入口弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-SF-112	使用済燃料ビット脱塩塔逆洗水絞り弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-SF-114A	A-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-SF-114B	B-使用済燃料ビット脱塩塔逆洗弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-SF-127A	A-S F Fフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-SF-127B	B-S F Fフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-CS-050	脱塩塔補給水止め弁	原子炉補助建屋T.P.17.8m
3V-RC-073	加圧器逃がしタンクドレン弁	中央制御室
3V-RC-097	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	中央制御室
3V-WL-021	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	中央制御室
3V-SF-059A	A-使用済燃料ビット補給弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-SF-059B	B-使用済燃料ビット補給弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-SF-047	使用済燃料ビット脱塩水補給弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-CS-548	ほう酸混合器出口手動補給ラインほう酸補給止め弁	原子炉補助建屋T.P.14.5m
3V-CS-551	ほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	原子炉補助建屋T.P.14.5m
3FCV-223A	1次系純水補給ライン流量制御弁	中央制御室
3FCV-220A	ほう酸補給ライン流量制御弁	中央制御室
3V-FW-661	補助給水ビットブローライン給水用止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.17.8m
3V-FW-662	補助給水ビット給水ライン止め弁（SA対策）	原子炉建屋T.P.17.8m
3V-FW-650	補助給水ビット脱塩水補給ライン流量絞り弁	原子炉建屋T.P.24.8m
V-WF-905A	A-ろ過水タンク排水弁	屋外T.P.10.3m
V-WF-905B	B-ろ過水タンク排水弁	屋外T.P.10.3m
V-WF-952A	A-2次系純水タンク排水弁	屋外T.P.10.3m
V-WF-952B	B-2次系純水タンク排水弁	屋外T.P.10.3m
3V-RH-100	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入口止め弁（SA対策）	原子炉補助建屋T.P.14.5m
3V-CP-147	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-CP-132	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ビット側入口止め弁	原子炉建屋T.P.17.8m
3V-CP-135	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	原子炉建屋T.P.17.8m
3V-CP-144	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	原子炉補助建屋T.P.10.3m
3V-CP-141	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-CP-013B	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	中央制御室
3FCV-220B	体積制御タンク出口側補給弁	中央制御室
3LCV-121D	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁A	中央制御室
3LCV-121E	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット側入口弁B	中央制御室
3V-FW-608B	タービン動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-FW-608A	A、B-電動補助給水ポンプ2次系純水タンクライン入口弁	原子炉建屋T.P.10.3m
3V-FW-601	補助給水ビット電動補助給水ポンプ側出口弁	原子炉建屋T.P.24.8m
3V-FW-604	補助給水ビットタービン動補助給水ポンプ側出口弁	原子炉建屋T.P.24.8m

記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）

【女川】  
 設備の相違による  
 対応手段の相違

